

ガソリン税、自動車税など  
あなたの負担で道路、  
交通安全施設の整備をしています。



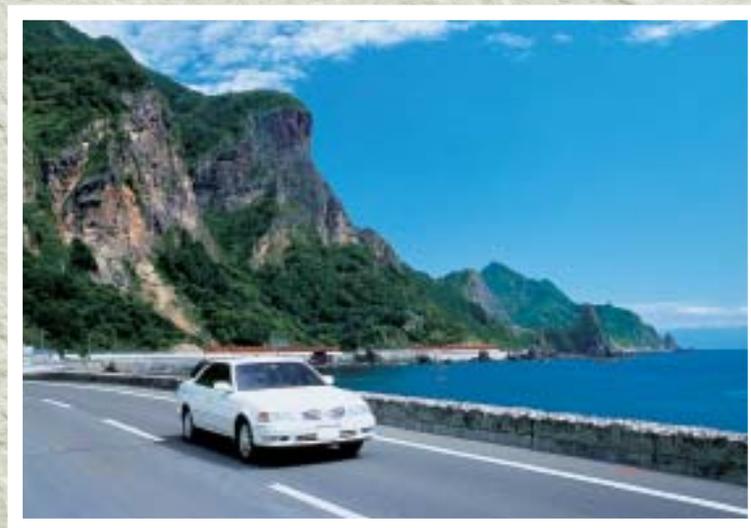
国道37号 白鳥大橋

## 平成13年度版 北海道の交通事故統計ポケットブック

- 監修・発行 ● 国土交通省  
北海道開発局道路維持課  
独立行政法人  
北海道開発土木研究所交通研究室
- 製作・印刷 ● (株) アイワード  
発行 ● 平成14年8月

## 北海道の交通事故

# 国道統計ポケットブック



平成13年度版

## はじめに

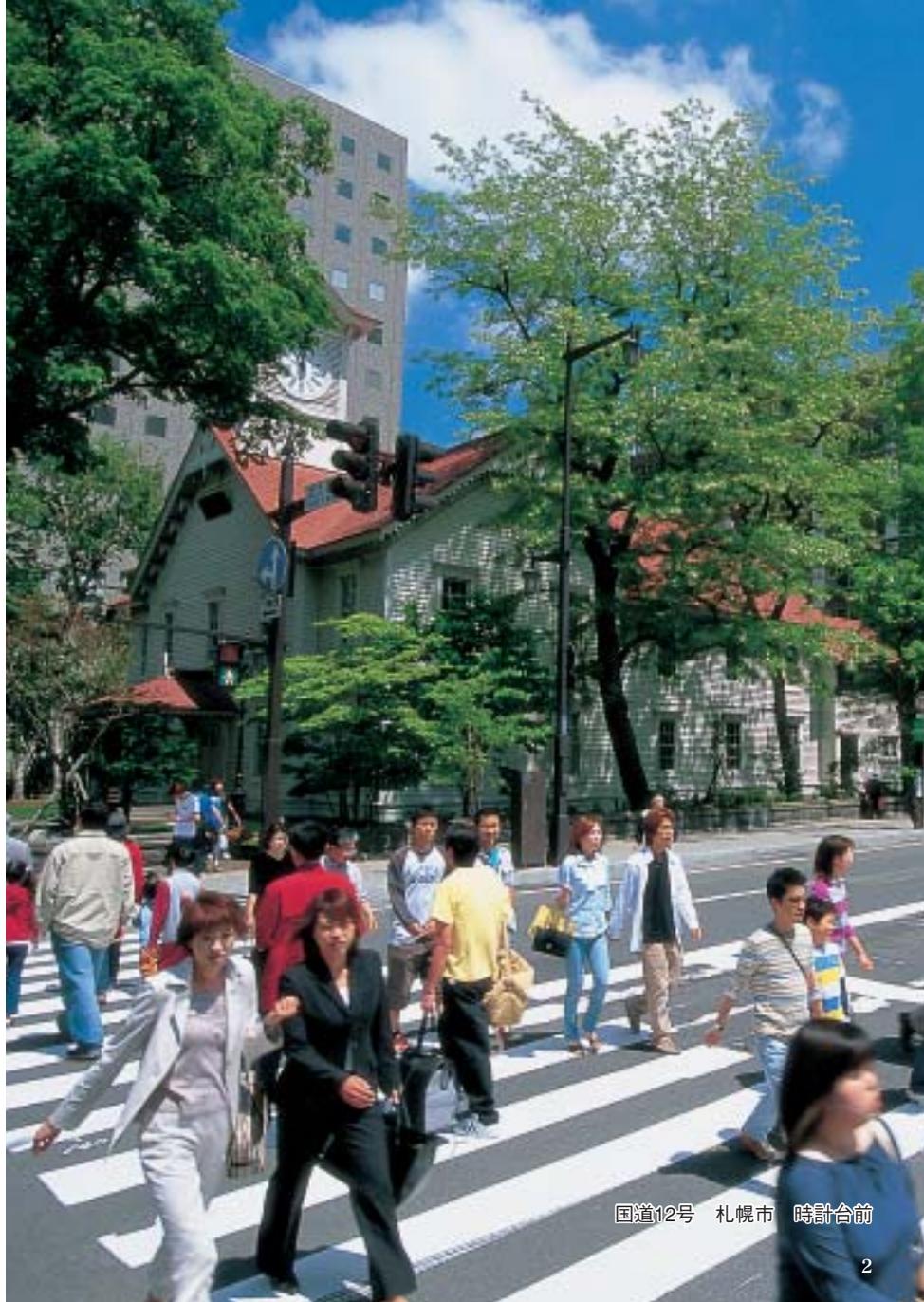
我が国における交通事故死者数はモータリゼーションの進展とともに年々増加し、昭和45年には16,765人と過去最悪の死者数となりました。しかしこの年に制定された交通安全対策基本法（昭和45法110）に基づき、その後の交通事故件数及び死者数は減少し、昭和54年には死者数が8,466人とほぼ半減するまでに至りました。それ以降の交通事故死者数は再び増加する傾向が見られ、昭和63年からは再び交通事故死者数が1万人を越える事態となっていました。平成10年の全国の交通事故死者数は9,211人と十数年ぶりに1万人を割り込みました。

全国同様、北海道においてもモータリゼーションの進展に伴う交通事故の多発、死者数の増加が見られ、平成12年の交通事故死者数は全国ワースト1位の548人となりました。北海道で発生する交通事故の特徴として人身事故の発生率（人口当たり、車両当たり）は全国平均に比較してやや低い水準にありますが死者数の絶対数が多いことや致死率が高いこと、積雪寒冷地であることによる冬期事故の発生等を挙げることができます。

したがって、道路管理者としては北海道特有の交通事故の発生状況等を十分把握し、事故要因を分析することで、交通事故を未然に防止するための効果的な交通安全対策を実施することが必要です。このようなことから、平成12年北海道の国道で発生した交通事故の諸データを用いて交通事故の概要をとりまとめ、今回平成13年度版の統計ポケットブックとして発行しました。

今後の交通安全対策の検討等に広く活用していただければ幸いです。

国道229号  
神恵内村



国道12号 札幌市 時計台前

# CONTENTS

## I 交通事故の発生状況

1. 都道府県別交通事故件数・死者数	5
2. 各種指標で見た事故の全国対比	6
3. 国道における交通事故の特徴	7
4. 交通事故の推移	15
5. 道路種別別発生状況	17
ROAD TOPICS 1	18
6. 道路種別別発生状況の推移	19
7. 月別発生状況	25
8. 事故類型別発生状況	27
9. 国道の事故率の推移及び月別修正事故率・致死率	29
ROAD TOPICS 2	30
10. 道路形状別発生状況(国道)	31
11. 道路形状別事故類型別発生状況(国道)	33
12. 曜日別発生状況(国道)	39
13. 第一当事者の年齢階層別発生状況(国道)	41
ROAD TOPICS 3	42
14. 若年・高齢者・その他のドライバー別発生状況	
A. 若年ドライバーの発生状況：道路形状別事故類型別内訳(国道)	43
B. 高齢者ドライバーの発生状況：道路形状別事故類型別内訳(国道)	45
C. その他ドライバーの発生状況：道路形状別事故類型別内訳(国道)	47
15. 路面状態別発生状況	49
16. 冬期・冬型事故発生状況の推移(国道)	53
17. 昼間事故：昼間事故の道路形状別事故類型別内訳(国道)	55
18. 夜間事故：夜間事故の道路形状別事故類型別内訳(国道)	61
19. 地域別発生状況(開発建設部別)	
A. 月別内訳(国道)	67
B. 事故類型別内訳(国道)	69
C. 道路形状別内訳(国道)	70
D. 交通事故多発箇所(国道)	71
20. 路線別交通事故発生状況(国道)	72

## II 国道の現況

1. 路線別起終点	73
2. 路線別道路現況(道路現況調査：H12.4.1現在)	74
3. 路線別交通量(道路交通センサス一般交通量調査)	75
4. 地点別交通量(交通量常時観測調査)	76
5. 事故率図	77



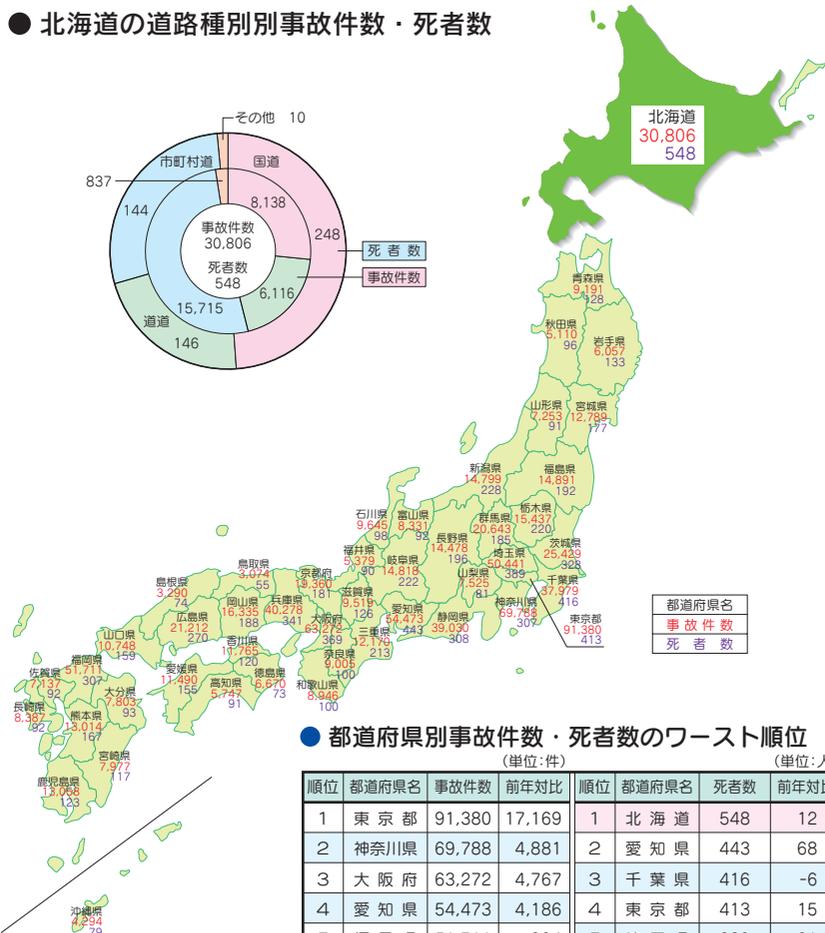
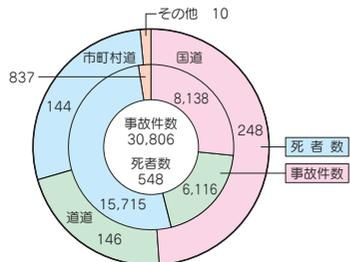
国道38号 富良野市

# 1

## I 交通事故の発生状況 都道府県別交通事故件数・死者数

北海道の交通事故による死者数は9年連続ワースト1。

### ● 北海道の道路種別別事故件数・死者数



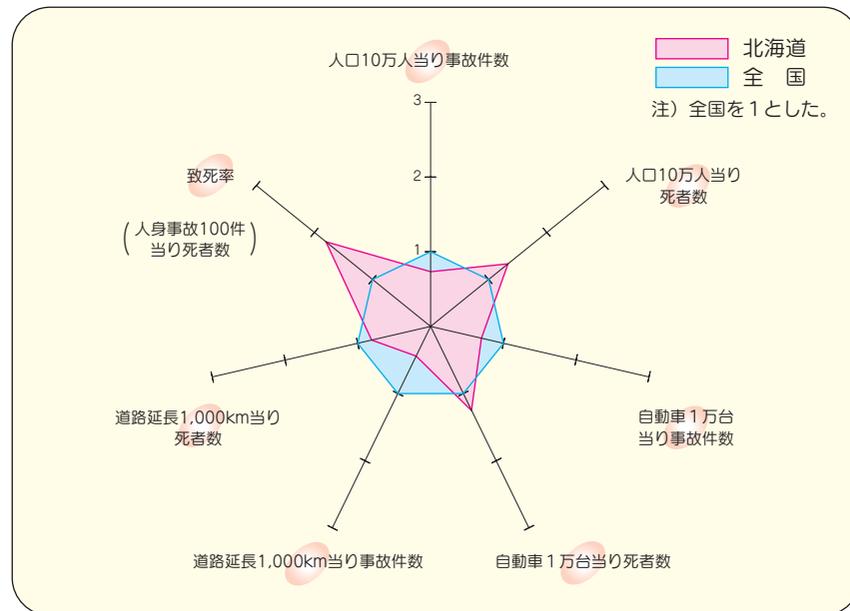
# 2

## 各種指標で見た事故の全国対比

全国対比では、死者数に関する指標が高い。

項目	事故発生件数		死者数		
	12年	11年	12年	11年	
全体	北海道	30,806	29,566	548	536
	全国	931,934	850,363	9,066	9,006
人口10万人当り	北海道	542.1	519.5	9.6	9.4
	全国	739.1	675.6	7.2	7.2
自動車1万台当り	北海道	85.6	83.4	1.5	1.5
	全国	122.8	113.5	1.2	1.2
道路延長1,000km当り	北海道	356.6	342.2	6.3	6.2
	全国	805.9	735.4	7.8	7.8
致死率 (人身事故100件当り死者数)	北海道	-	-	1.8	1.8
	全国	-	-	1.0	1.1

### ● 平成12年の事故の全国対比



ここでは、4節以降の交通事故状況について集約・整理を行っている。

なお、4節以降の構成比(%)については少数第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある点に留意されたい。

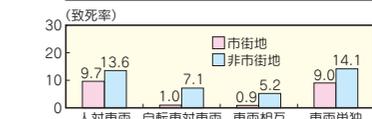
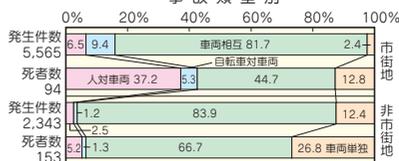
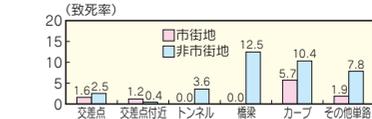
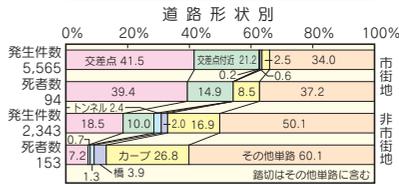
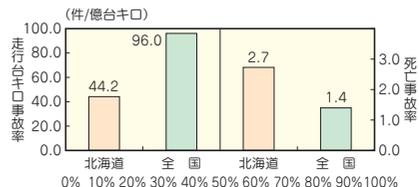
数値データについては、マッチングデータを使用しているため、交通年鑑の数値と異なる場合がある。また、致死率については①において、人身事故100件あたりの死亡事故件数としているが、②以降で用いる致死率は人身事故100件あたりの死者数であることに留意されたい。

① 走行億台キロ事故率

全国に比較し、走行億台キロ事故率は低いものの、死亡事故率は高くなっており、このことは北海道では、交通事故発生が重大事故(死亡事故)に結びつく危険性が高いことを示している。

注1) 死亡事故率とは人身事故100件あたりの死亡事故件数と定義する。

注2) 市街地・非市街地に不明1件、道路形状別に不明1件あり。



② 地域別発生状況

発生件数では、市街地で70.4%、非市街地で29.6%と市街地での発生割合が全体の3分の2を占めている。死者数では逆に非市街地で61.9%を占めており、このことは非市街地での交通事故発生が重大事故(死亡事故)に結びつく危険性が高いことを示している。

道路形状別の発生件数を見ると、市街地では交差点・交差点付近の62.7%、非市街地ではカーブ・その他単路での67.0%が高い。死者数では市街地・非市街地ともカーブでの発生件数の割合に対し死者数割合が高い。(市街地: 2.5%→8.5%、非市街地: 16.9%→26.8%) このことは致死率(市街地: 5.7、非市街地: 10.4)をみてもあきらかである。

事故類型別に着目すると、発生件数では市街地、非市街地とも車両相互が8割以上を占めている。死者数でも発生件数と同様に車両相互の占める割合が高いが、発生件数に比べ市街地では人対車両、非市街地では車両単独の割合が大きくなっている。

致死率では、非市街地で発生する人対車両事故が13.6と市街地の1.4倍となっている。また、車両単独事故は市街地(9.0)、非市街地(14.1)とも高い。

注1) 致死率とは人身事故100件あたりの死者数と定義する。

注2) 市街地・非市街地に不明1件、道路形状別に不明1件あり。

③ 道路形状別発生状況

発生件数では、交差点及び交差点付近で52.5%を占めているが、死者数では25.5%と低い。

それに比較して、カーブでの事故は発生件数で6.8%に対し、死者数では19.8%と高い。致死率でも9.1と国道事故の平均3.3に対して非常に高い。

注) 道路形状別に不明1件あり。

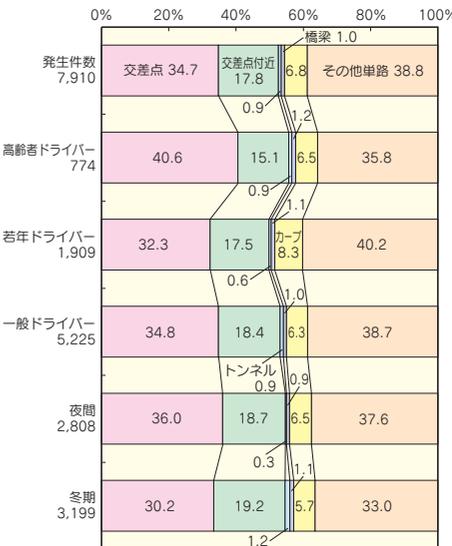
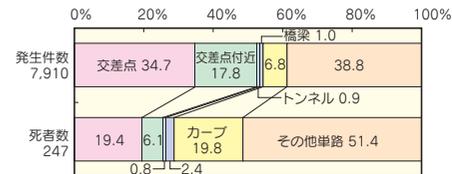
④ 道路形状別の特徴

各条件別の事故発生件数割合を全体と比較すると、高齢者ドライバーでは特に交差点、若年ドライバーではカーブ・その他単路、一般ドライバーでは交差点付近で高い。

注1) 若年とは25歳未満のドライバーのことをいう。

注2) 高齢者とは65歳以上のドライバーのことをいう。

注3) 一般とは25歳以上65歳未満のドライバーのことをいう。



⑤事故類型別発生状況

事故類型別でみると、発生件数では車両相互が82.3%を占め、死者数でも58.3%と半数以上を占めている。それに比較して人対車両（発生件数：5.3%・死者数：17.4%）・車両単独（発生件数：5.3%・死者数：21.5%）は発生件数の割合に対し死者数の割合が高い。

致死率でみると、車両単独が12.5と最も高く、ついで人対車両の10.2となっている。

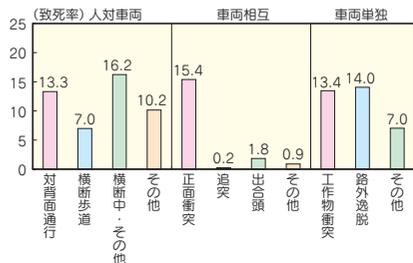
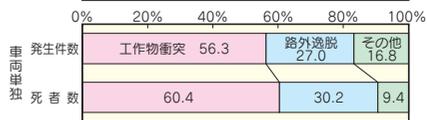
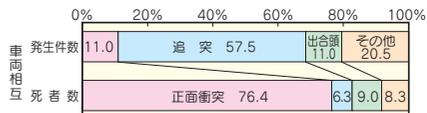
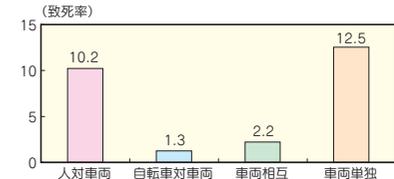
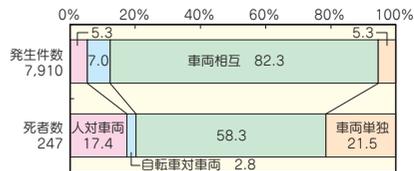
各類型の内訳をみると、人対車両では発生件数で横断歩道（54.6%）・死者数で横断中：その他（44.2%）、車両相互では発生件数で追突（57.5%）・死者数で正面衝突（76.4%）、車両単独では発生件数（56.3%）・死者数（60.4%）とも工作物衝突がそれぞれ高い割合を占めている。致死率では、人対車両で横断中・その他（16.2）、車両相互で正面衝突（15.4）、車両単独で路外逸脱（14.0）が高い。

注1) 人対車両の「横断中：その他」とは、横断歩道、横断歩道付近、及び横断歩道橋付近以外の道路の部分を行歩者が横断していたときの事故をいう。「その他」とは路上遊戯中に、路上作業中、路上停止中等に発生した事故をいう。

注2) 車両相互の「その他」とは、追越追抜時、すれ違い時等に発生した事故をいう。

注3) 車両単独の「その他」とは、運転者不在車両、転倒等の事故をいう。

注4) 事故類型に不明1件あり

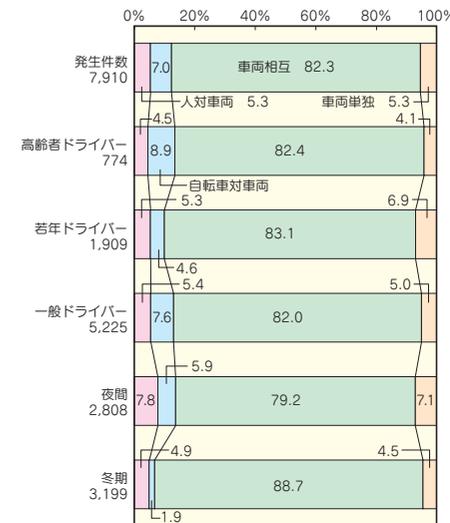


⑥事故類型別の特徴

各条件別の事故発生件数割合は、全体と同様に、どの条件でも車両相互が8割前後と高い割合を占めている。

その中で各条件の特徴は、高齢者ドライバー・自転車対車両。若年ドライバー・夜間では車両単独。冬期では車両相互が全体に比較して割合が高い。

注1) 若年とは25歳未満のドライバーをいう。  
 注2) 高齢者とは65歳以上のドライバーをいう。  
 注3) 一般とは25歳以上65歳未満のドライバーのことをいう。  
 注4) 事故類型に不明1件あり。



⑦地域別発生状況（各開発建設部別）

地域別交通概要・発生状況

	道路延長 (km)	平均交通量 (台/日)	発生件数	死者数	死亡事故件数	事故率	死亡事故率	致死率
札幌開発建設部	1,058.3	12,332	3,511	60	56	73.7	1.6	1.7
小樽開発建設部	470.7	7,020	590	17	17	48.9	2.9	2.9
函館開発建設部	668.7	7,665	702	24	22	37.5	3.1	3.4
室蘭開発建設部	666.6	10,315	887	41	35	35.3	3.9	4.6
旭川開発建設部	610.5	8,118	744	32	25	41.1	3.4	4.3
留萌開発建設部	273.2	4,407	128	11	9	29.1	7.0	8.6
稚内開発建設部	247.0	3,725	56	3	3	16.7	5.4	5.4
網走開発建設部	847.9	5,198	436	19	16	27.1	3.7	4.4
帯広開発建設部	689.2	6,040	418	19	19	27.5	4.5	4.5
釧路開発建設部	831.5	5,299	437	21	20	27.2	4.6	4.8
合計	6,363.6	7,608	7,909	247	222	44.8	2.8	3.1

注1) 事故率 =  $\frac{\text{発生件数} \times 1 \text{億}}{\text{日交通量} \times \text{道路延長(km)} \times \text{月日数}}$   
 注2) 死亡事故率 =  $\frac{\text{死亡事故件数}}{\text{発生件数}} \times 100$   
 注3) 致死率 =  $\frac{\text{死者数}}{\text{発生件数}} \times 100$   
 注4) 地域別発生状況に不明1件あり。

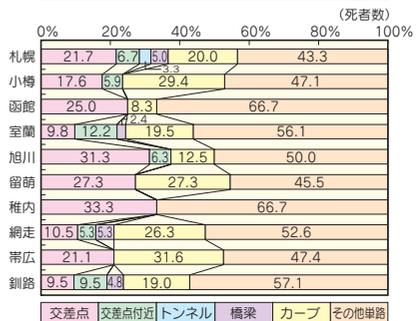
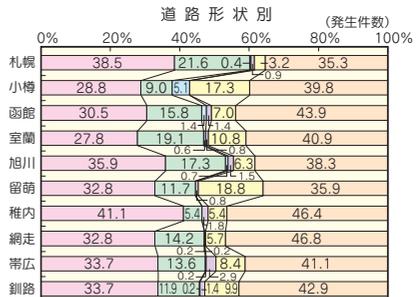
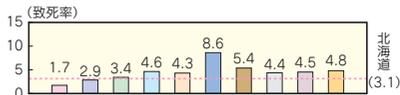
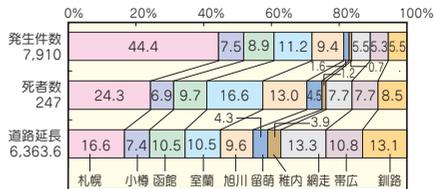
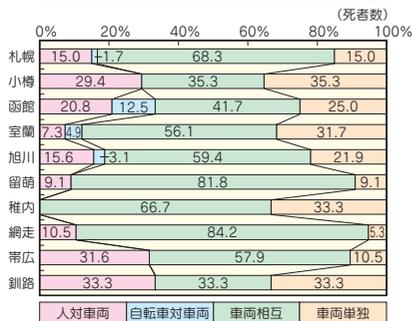
道路延長16.6%を占める札幌開発建設部が  
発生件数(44.4%)、死者数(24.3%)とも高  
い割合を占めているものの、致死率に着目する  
と、留萌開発建設部(8.6)が最も高く、ついで  
稚内開発建設部(5.4)、釧路開発建設部の  
(4.8)の順となっている。

事故率では、札幌開発建設部(73.7)が最  
も高く、ついで小樽開発建設部(48.9)旭川  
開発建設部(41.1)、函館開発建設部(37.5)  
となっている。

以下に各開発建設部別発生件数・死者数の事  
故類型別と道路形状別の割合を示す。

注1) 事故率の算定時、交通量・道路延長はH11センサ  
スを使用。

注2) 事故類型、道路形状別に不明1件あり。



### ⑧ 昼夜別発生状況

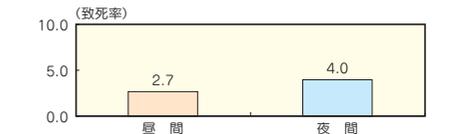
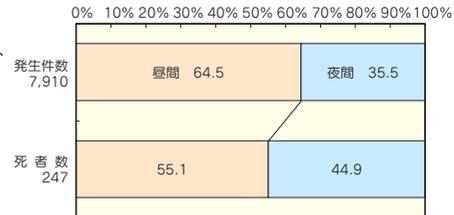
夜間の事故発生件数は全体の35.5%に対し、  
死者数では44.9%を占めている。これは、夜  
間の事故が死亡事故に結びつく危険性が高い  
ことを示しており、致死率をみても昼間(2.7)  
に対し夜間(4.0)が高い。

注1) 「昼間」とは、日の出から日没までをいう。

注2) 「夜間」とは、日没から日の出までをいう。

注3) 「日の出」又は、「日没」の時刻は、気象庁(台)

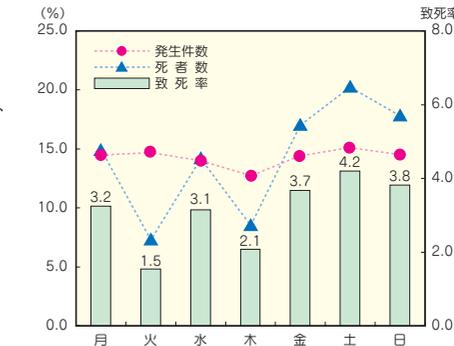
の発表(新聞、テレビにより報道される)を参考と  
する。



### ⑨ 曜日別発生状況

発生件数では、土曜日(15.0%)が最も高く、  
死者数でも土曜日が(20.2%)、日曜日が  
(17.8%)の順に高い割合を占めている。致死  
率をみると、土曜日が4.2と高く、次に日  
曜日が3.8である。

注) 発生曜日不明1件あり。



⑩ 第一当事者の年齢階層別発生状況

年齢別発生状況

	免許保有者数	発生件数	死者数	事故率	致死率
20歳未満	58,815	472	18	8.0	3.1
20～24歳	308,738	1,437	44	4.7	1.4
25～29歳	377,496	1,051	28	2.8	0.7
30歳代	669,209	1,321	43	2.0	0.6
40歳代	660,427	1,208	35	1.8	0.5
50歳代	606,733	1,261	44	2.1	0.7
60～64歳	195,358	385	10	2.0	0.5
65～69歳	155,753	366	11	2.3	0.7
70歳以上	155,377	408	14	2.6	0.9

注) 第一当事者不明の事故は1件あり。このデータは除く。

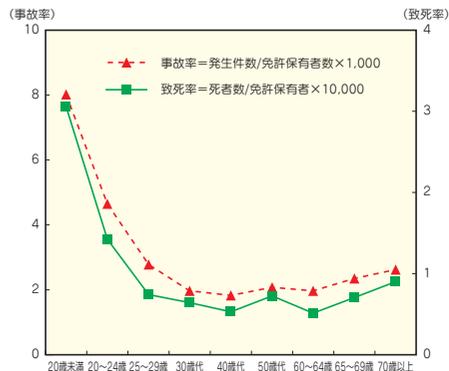
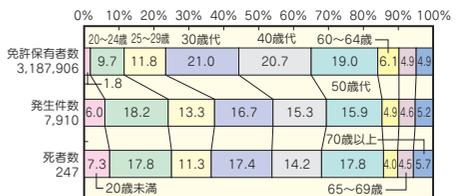
20歳代では免許保有者数(21.5%)に対し、発生件数(31.5%)・死者数(29.1%)と年代別にみて突出している。

20歳未満で免許保有者数(1.8%)に対し、発生件数(6.0%)・死者数(7.3%)が高い割合を占めている。

また、30歳代でも発生件数(16.7%)・死者数(17.4%)とも高い割合を占めている。

免許保有者数での事故率・致死率を年代別にみると、「20歳未満」・「20～24歳」で事故率が高い値となっており、致死率でも同様の傾向になっている。また、60歳代以上になると、事故率・致死率ともに増加傾向になる。

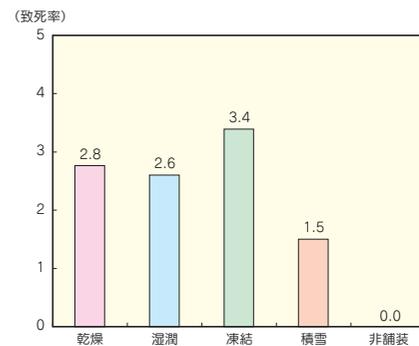
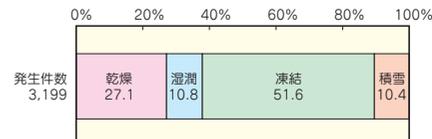
注) 第一当事者不明の事故は1件あり。



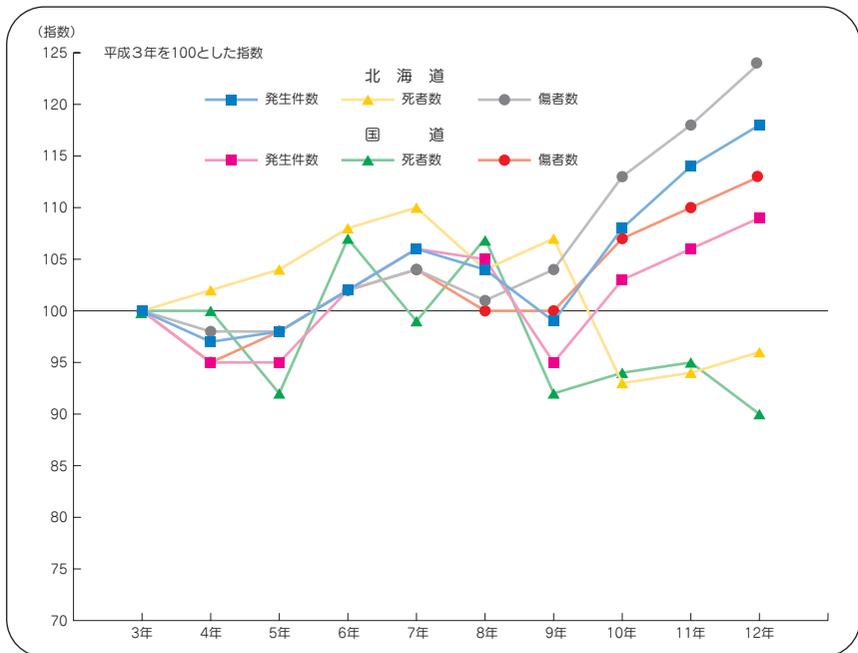
⑪ 路面状態別事故の特徴

路面状況別に発生件数をみると、凍結路面が51.6%と最も高い割合を占めており、ついで乾燥27.1%、湿潤10.8%、積雪10.4%となっている。

致死率をみると、凍結路面(3.4)が最も高く、ついで乾燥路面(2.8)・湿潤路面(2.6)・積雪路面(1.5)となっている。



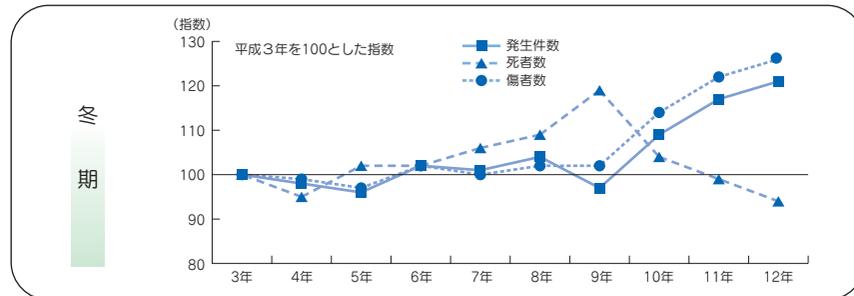
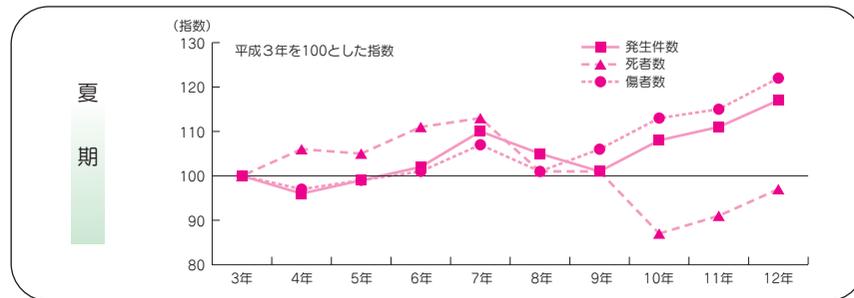
北海道全体で平成10年以降事故発生件数は急激に増加している。



区分	年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
北海道全体	発生件数	26,034	25,230	25,399	26,553	27,606	27,168	25,759	28,153	29,566	30,806
	指数	100	97	98	102	106	104	99	108	114	118
	死者数	573	585	595	619	632	595	613	533	536	548
	指数	100	102	104	108	110	104	107	93	94	96
	傷者数	32,002	31,292	31,341	32,479	33,294	32,370	33,361	36,231	37,733	39,523
	指数	100	98	98	102	104	101	104	113	118	124
国	発生件数	7,449	7,038	7,108	7,560	7,869	7,840	7,052	7,695	7,864	8,138
	指数	100	95	95	102	106	105	95	103	106	109
	死者数	277	277	256	297	274	296	255	261	262	248
	指数	100	100	92	107	99	107	92	94	95	90
	傷者数	10,065	9,559	9,857	10,251	10,423	10,051	10,105	10,779	11,040	11,386
	指数	100	95	98	102	104	100	100	107	110	113

注) 平成12年交通年鑑の数値を使用。

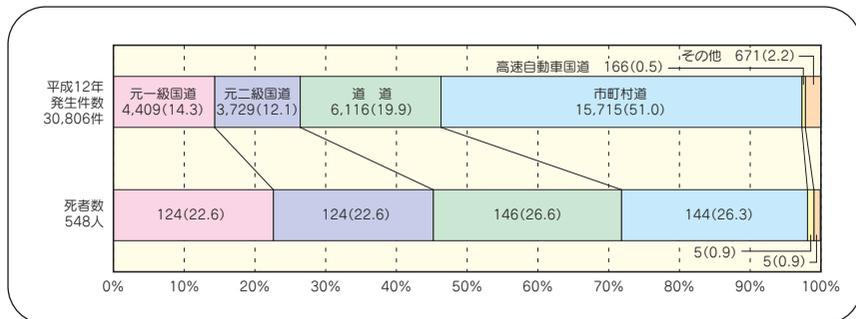
●北海道全体の夏期・冬期交通事故の推移



区分	年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
夏期	発生件数	14,562	14,011	14,418	14,860	15,995	15,213	14,650	15,652	16,131	16,964
	指数	100	96	99	102	110	105	101	108	111	117
	死者数	382	404	400	425	430	386	385	334	347	369
	指数	100	106	105	111	113	101	101	87	91	97
	傷者数	17,921	17,388	17,723	18,101	19,200	18,044	19,041	20,153	20,587	21,815
	指数	100	97	99	101	107	101	106	113	115	122
冬期	発生件数	11,472	11,219	10,981	11,693	11,611	11,955	11,109	12,501	13,435	13,842
	指数	100	98	96	102	101	104	97	109	117	121
	死者数	191	181	195	194	202	209	228	199	189	179
	指数	100	95	102	102	106	109	119	104	99	94
	傷者数	14,081	13,904	13,618	14,378	14,094	14,326	14,320	16,078	17,146	17,708
	指数	100	99	97	102	100	102	102	114	122	126

注) 夏期とは4月～10月・冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。

市町村道が全事故発生件数の51%に対し、国道の死者数は全体の45%を占めている。



道路種別	年	12年	11年	増減数	増減率(%)
		発生件数	発生件数		
元一級国道	発生件数	4,409	4,321	88	102.0
	死者数	124	113	11	109.7
	傷者数	6,011	5,893	118	102.0
元二級国道	発生件数	3,729	3,543	186	105.2
	死者数	124	149	-25	83.2
	傷者数	5,375	5,147	228	104.4
国道計	発生件数	8,138	7,864	274	103.5
	死者数	248	262	-14	94.7
	傷者数	11,386	11,040	346	103.1
道道	発生件数	6,116	5,756	360	106.3
	死者数	146	116	30	125.9
	傷者数	8,006	7,485	521	107.0
市町村道	発生件数	15,715	15,217	498	103.3
	死者数	144	150	-6	96.0
	傷者数	19,108	18,259	849	104.6
高速自動車国道	発生件数	166	158	8	105.1
	死者数	5	6	-1	83.3
	傷者数	239	269	-30	88.8
その他	発生件数	671	571	100	117.5
	死者数	5	2	3	250.0
	傷者数	784	680	104	115.3
合計	発生件数	30,806	29,566	1,240	104.2
	死者数	548	536	12	102.2
	傷者数	39,523	37,733	1,790	104.7

注) 平成12年交通年鑑の数値を使用。

## PIARC 札幌市で開催される

第11回国際冬期道路会議(2002PIARC札幌大会)が、札幌市で2002年1月28日~31日に開催されました。

国際冬期道路会議は、積雪期の道路の維持管理及び交通安全をテーマとした世界的な会議です。1969年に第1回会議がベルヒテスガーデン(ドイツ)で開催されて以来、第10回まで、すべて欧州で開催されてきました。主催の世界道路協会(PIARC/WRA)は、1909年に設立された道路分野における歴史と権威のある国際機関で、その目的は、道路のさらなる進歩に向けて、最新技術に関する情報交換を促進するための情報ネットワークを世界中に広げることです。世界道路協会は、その活動の一環として世界道路会議と国際冬期道路会議をそれぞれ4年ごとに開催しています。

今大会の会場は、札幌ドームを使用し、大会内容は、技術論文発表(口頭発表・ポスター発表)、技術展示会、パネルディスカッション、オープニングセッション、スペシャルセッション、テクニカルビジット等の各種ツアー、各種レセプションでした。

本会議は、世界64カ国から2,285名の参加登録がありました。また、技術展示会は広く一般市民に対し、無料開放としたこともあって、4日間で7万6,700人も多くの人が来場しました。

次の世界道路会議は2003年10月に南アフリカのダーバン、国際冬期道路会議は、2006年3月にイタリアのトリノ・セストリエールで開催されます。



開会式



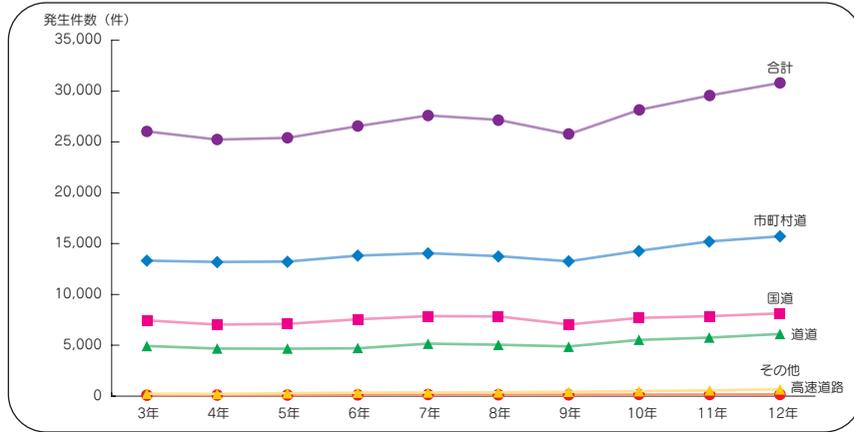
技術展示会



除雪作業の実演デモ

国道は事故発生件数の割合に比べ、死者数の割合が高い。

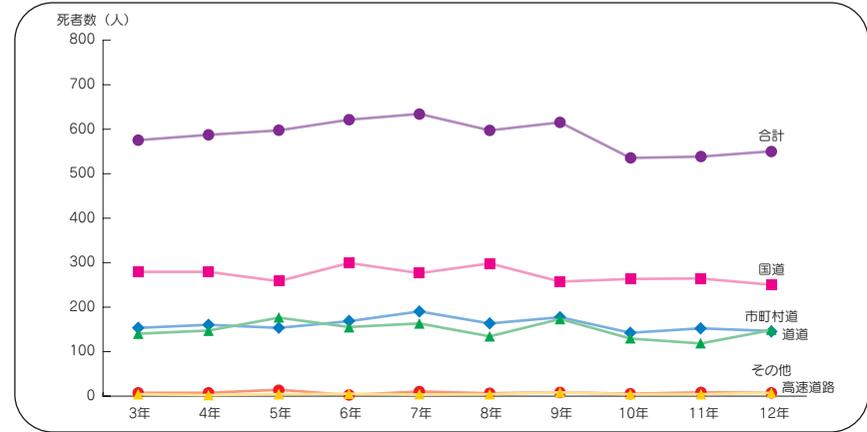
## ◆発生件数 全体◆



年	道路種別	国	道	道	市町村道	高速道路	その	他	合	計
3	発生件数	7,449	4,931	13,324	91	239			26,034	
3	%	28.6	18.9	51.2	0.3	0.9			100.0	
4	発生件数	7,038	4,678	13,198	90	226			25,230	
4	%	27.9	18.5	52.3	0.4	0.9			100.0	
5	発生件数	7,108	4,665	13,234	109	283			25,399	
5	%	28.0	18.4	52.1	0.4	1.1			100.0	
6	発生件数	7,560	4,706	13,819	125	343			26,553	
6	%	28.5	17.7	52.0	0.5	1.3			100.0	
7	発生件数	7,869	5,163	14,059	154	361			27,606	
7	%	28.5	18.7	50.9	0.6	1.3			100.0	
8	発生件数	7,840	5,054	13,766	136	372			27,168	
8	%	28.9	18.6	50.7	0.5	1.4			100.0	
9	発生件数	7,052	4,890	13,258	130	429			25,759	
9	%	27.4	19.0	51.5	0.5	1.7			100.0	
10	発生件数	7,695	5,532	14,296	143	487			28,153	
10	%	27.3	19.6	50.8	0.5	1.7			100.0	
11	発生件数	7,864	5,756	15,217	158	571			29,566	
11	%	26.6	19.5	51.5	0.5	1.9			100.0	
12	発生件数	8,138	6,116	15,715	166	671			30,806	
12	%	26.4	19.9	51.0	0.5	2.2			100.0	

注) 平成12年交通年鑑の数値を使用。

## ◆死者数 全体◆

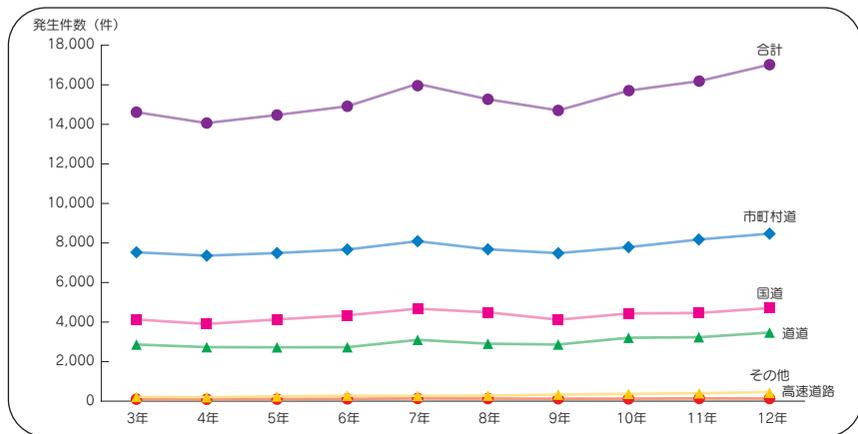


年	道路種別	国	道	道	市町村道	高速道路	その	他	合	計
3	死者数	277	138	151	5	2			573	
3	%	48.3	24.1	26.4	0.9	0.3			100.0	
4	死者数	277	145	158	5	0			585	
4	%	47.4	24.8	27.0	0.9	0.0			100.0	
5	死者数	256	174	151	12	2			595	
5	%	43.0	29.2	25.4	2.0	0.3			100.0	
6	死者数	297	153	166	0	3			619	
6	%	48.0	24.7	26.8	0.0	0.5			100.0	
7	死者数	274	161	188	8	1			632	
7	%	43.4	25.5	29.7	1.3	0.2			100.0	
8	死者数	296	132	161	4	2			595	
8	%	49.7	22.2	27.1	0.7	0.3			100.0	
9	死者数	255	171	175	6	6			613	
9	%	41.6	27.9	28.5	1.0	1.0			100.0	
10	死者数	261	127	140	3	2			533	
10	%	49.0	23.8	26.3	0.6	0.4			100.0	
11	死者数	262	116	150	6	2			536	
11	%	48.9	21.6	28.0	1.1	0.4			100.0	
12	死者数	248	146	144	5	5			548	
12	%	45.3	26.6	26.3	0.9	0.9			100.0	

注) 平成12年交通年鑑の数値を使用。

夏期・冬期ともに、平成12年の事故発生件数は増加している。

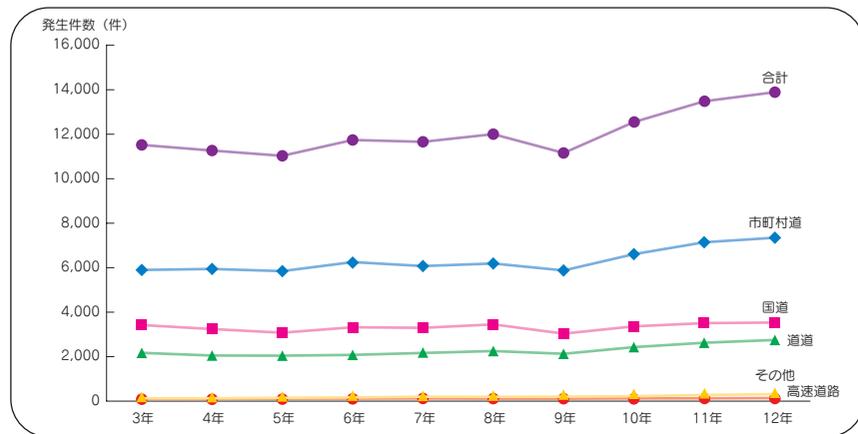
◆発生件数 夏期◆



年	道路種別	国	道	道	市町村道	高速道路	その	他	合	計
3	発生件数	4,075	2,809	7,475	43	160			14,562	
3	%	28.0	19.3	51.3	0.3	1.1			100.0	
4	発生件数	3,846	2,676	7,303	39	147			14,011	
4	%	27.4	19.1	52.1	0.3	1.0			100.0	
5	発生件数	4,079	2,669	7,437	48	185			14,418	
5	%	28.3	18.5	51.6	0.3	1.3			100.0	
6	発生件数	4,287	2,675	7,615	60	223			14,860	
6	%	28.8	18.0	51.2	0.4	1.5			100.0	
7	発生件数	4,622	3,046	8,034	82	211			15,995	
7	%	28.9	19.0	50.2	0.5	1.3			100.0	
8	発生件数	4,438	2,850	7,626	73	226			15,213	
8	%	29.2	18.7	50.1	0.5	1.5			100.0	
9	発生件数	4,065	2,810	7,430	68	277			14,650	
9	%	27.7	19.2	50.7	0.5	1.9			100.0	
10	発生件数	4,380	3,152	7,735	69	316			15,652	
10	%	28.0	20.1	49.4	0.4	2.0			100.0	
11	発生件数	4,405	3,179	8,122	81	344			16,131	
11	%	27.3	19.7	50.4	0.5	2.1			100.0	
12	発生件数	4,653	3,414	8,416	77	404			16,964	
12	%	27.4	20.1	49.6	0.5	2.4			100.0	

注1) 平成12年交通年鑑の数値を使用。 注2) 夏期とは4月～10月・冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。

◆発生件数 冬期◆

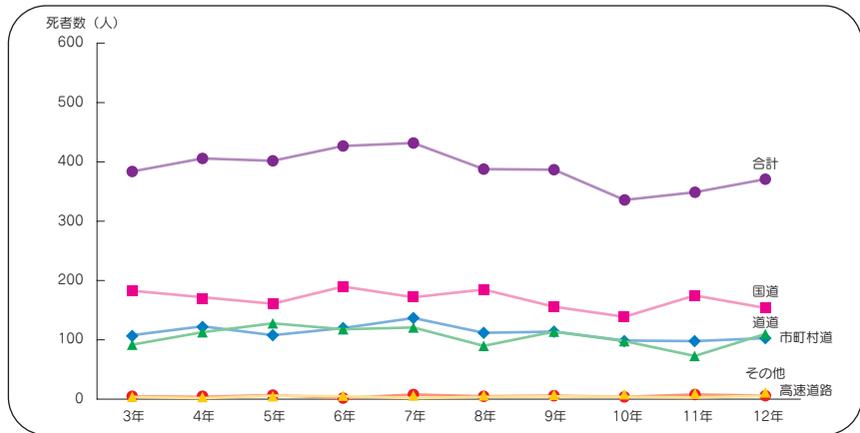


年	道路種別	国	道	道	市町村道	高速道路	その	他	合	計
3	発生件数	3,374	2,122	5,849	48	79			11,472	
3	%	29.4	18.5	51.0	0.4	0.7			100.0	
4	発生件数	3,192	2,002	5,895	51	79			11,219	
4	%	28.5	17.8	52.5	0.5	0.7			100.0	
5	発生件数	3,029	1,996	5,797	61	98			10,981	
5	%	27.6	18.2	52.8	0.6	0.9			100.0	
6	発生件数	3,273	2,031	6,204	65	120			11,693	
6	%	28.0	17.4	53.1	0.6	1.0			100.0	
7	発生件数	3,247	2,117	6,025	72	150			11,611	
7	%	28.0	18.2	51.9	0.6	1.3			100.0	
8	発生件数	3,402	2,204	6,140	63	146			11,955	
8	%	28.5	18.4	51.4	0.5	1.2			100.0	
9	発生件数	2,987	2,080	5,828	62	152			11,109	
9	%	26.9	18.7	52.5	0.6	1.4			100.0	
10	発生件数	3,315	2,380	6,561	74	171			12,501	
10	%	26.5	19.0	52.5	0.6	1.4			100.0	
11	発生件数	3,459	2,577	7,095	77	227			13,435	
11	%	25.7	19.2	52.8	0.6	1.7			100.0	
12	発生件数	3,485	2,702	7,299	89	267			13,842	
12	%	25.2	19.5	52.7	0.6	1.9			100.0	

注1) 平成12年交通年鑑の数値を使用。 注2) 夏期とは4月～10月・冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。

平成12年の国道の死者数は夏期は減少しているが、冬期は増加している。

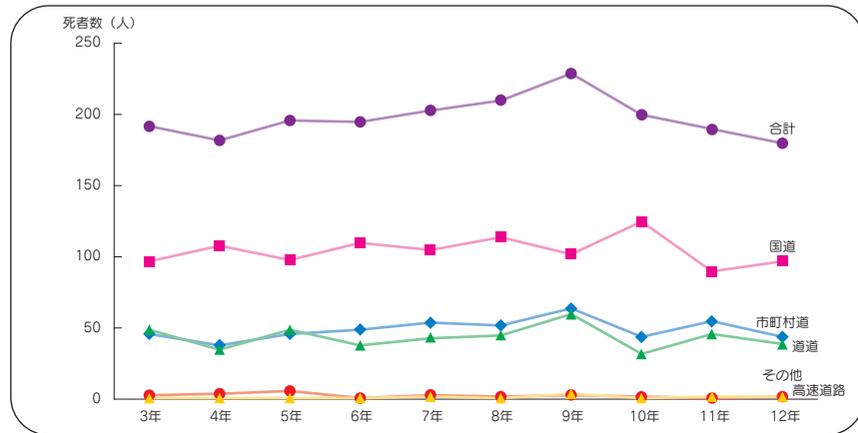
◆死者数 夏期◆



年	道路種別	国	道	道	市町村道	高速道路	その他	合計
3	死者数	181	90	106	3	2		382
年	%	47.4	23.6	27.7	0.8	0.5		100.0
4	死者数	170	111	121	2	0		404
年	%	42.1	27.5	30.0	0.5	0.0		100.0
5	死者数	159	126	106	5	4		400
年	%	39.8	31.5	26.5	1.3	1.0		100.0
6	死者数	188	116	118	0	3		425
年	%	44.2	27.3	27.8	0.0	0.7		100.0
7	死者数	170	119	135	6	0		430
年	%	39.5	27.7	31.4	1.4	0.0		100.0
8	死者数	183	88	110	3	2		386
年	%	47.4	22.8	28.5	0.8	0.5		100.0
9	死者数	154	112	112	4	3		385
年	%	40.0	29.1	29.1	1.0	0.8		100.0
10	死者数	137	96	97	2	2		334
年	%	41.0	28.7	29.0	0.6	0.6		100.0
11	死者数	173	71	96	6	1		347
年	%	49.9	20.5	27.7	1.7	0.3		100.0
12	死者数	152	108	101	4	4		369
年	%	41.2	29.3	27.4	1.1	1.1		100.0

注1) 平成12年交通年鑑の数値を使用。 注2) 夏期とは4月～10月・冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。

◆死者数 冬期◆

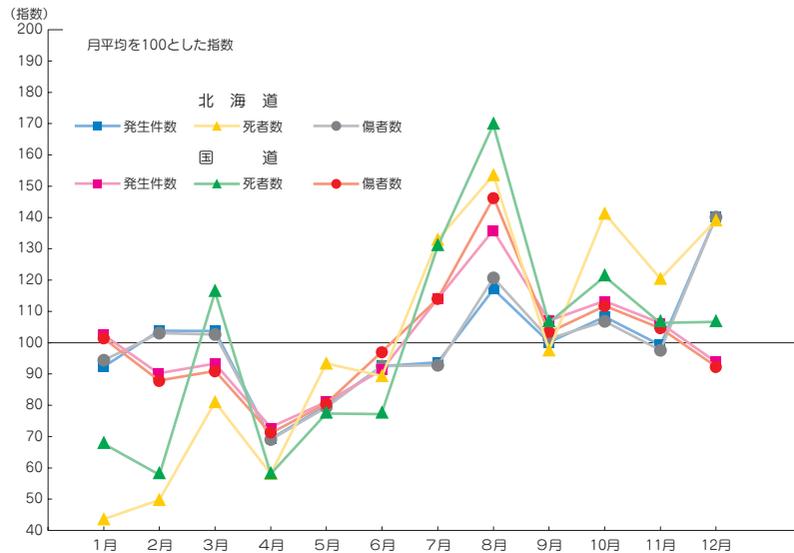


年	道路種別	国	道	道	市町村道	高速道路	その他	合計
3	死者数	96	48	45	2	0		191
年	%	50.3	25.1	23.6	1.0	0.0		100.0
4	死者数	107	34	37	3	0		181
年	%	59.1	18.8	20.4	1.7	0.0		100.0
5	死者数	97	48	45	5	0		195
年	%	49.7	24.6	23.1	2.6	0.0		100.0
6	死者数	109	37	48	0	0		194
年	%	56.2	19.1	24.7	0.0	0.0		100.0
7	死者数	104	42	53	2	1		202
年	%	51.5	20.8	26.2	1.0	0.5		100.0
8	死者数	113	44	51	1	0		209
年	%	54.1	21.1	24.4	0.5	0.0		100.0
9	死者数	101	59	63	2	3		228
年	%	44.3	25.9	27.6	0.9	1.3		100.0
10	死者数	124	31	43	1	0		199
年	%	62.3	15.6	21.6	0.5	0.0		100.0
11	死者数	89	45	54	0	1		189
年	%	47.1	23.8	28.6	0.0	0.5		100.0
12	死者数	96	38	43	1	1		179
年	%	53.6	21.2	24.0	0.6	0.6		100.0

注1) 平成12年交通年鑑の数値を使用。 注2) 夏期とは4月～10月・冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。

# 7 月別発生状況

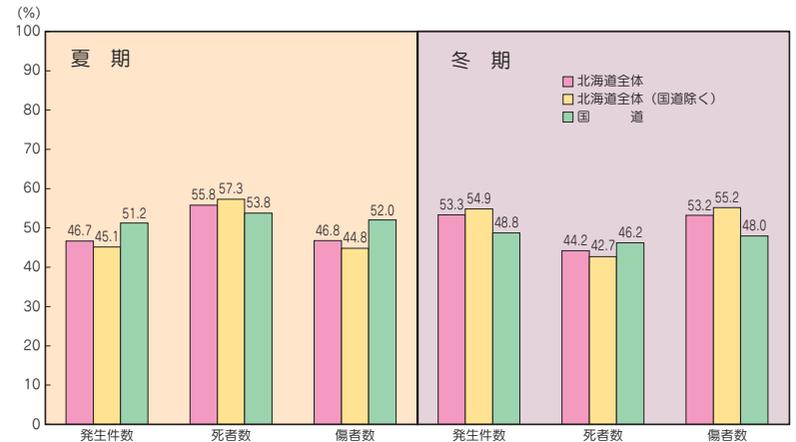
事故発生件数では国道は8月、北海道全体は12月が多いが、死者数は国道、北海道全体ともに8月が多い。



区分	月	月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道全体	発生件数	2,369	2,666	2,662	1,780	2,048	2,375	2,406	3,006	2,569	2,780	2,547	3,598
	指数	92	104	104	69	80	93	94	117	100	108	99	140
	死者数	21	24	39	28	45	43	64	74	47	68	58	67
	指数	44	50	81	58	93	89	133	154	98	141	120	139
北海道全体	傷者数	3,110	3,391	3,379	2,271	2,611	3,047	3,057	3,977	3,334	3,518	3,215	4,613
	指数	94	103	103	69	79	93	93	121	101	107	98	140
	発生件数	675	593	614	479	534	601	750	895	705	745	699	619
	指数	102	90	93	73	81	91	114	136	107	113	106	94
国道	死者数	14	12	24	12	16	16	27	35	22	25	22	22
	指数	68	58	117	58	78	78	131	170	107	122	107	107
	傷者数	935	810	838	658	741	895	1,052	1,349	955	1,030	966	851
	指数	101	88	91	71	80	97	114	146	103	112	105	92

注1) 指数とは月平均を100としている。 注2) 国道事故の発生月不明1件あり。集計には不明含まず。

# 7 月別発生状況

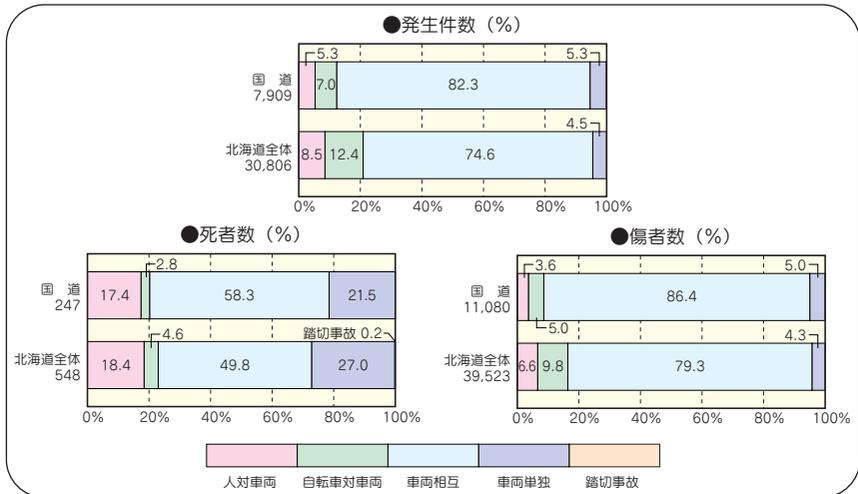


区分	期間	夏 期		冬 期	
		全 体	平 均	全 体	平 均
北海道全体	発生件数	16,964	2,423	13,842	2,768
	%	55.1	46.7	44.9	53.3
	死者数	369	53	209	42
	%	63.8	55.8	36.2	44.2
北海道全体	傷者数	21,815	3,116	17,708	3,542
	%	55.2	46.8	44.8	53.2
	発生件数	12,255	1,751	10,642	2,128
	%	53.5	45.1	46.5	54.9
(北海道除く)	死者数	216	31	115	23
	%	65.3	57.3	34.7	42.7
	傷者数	15,135	2,162	13,308	2,662
	%	53.2	44.8	46.8	55.2
国 道	発生件数	4,709	673	3,200	640
	%	59.5	51.2	40.5	48.8
	死者数	153	22	94	19
	%	61.9	53.8	38.1	46.2
道	傷者数	6,680	954	4,400	880
	%	60.3	52.0	39.7	48.0

注1) 夏期とは4月～10月・冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。  
 注2) 北海道全体は、平成12年交通年鑑の数値を使用。  
 注3) 平均は夏期(7ヶ月)、冬期(5ヶ月)の1ヶ月あたりの数値。

人対車両及び車両単独では、事故発生件数の割合に比べ、死者数の割合が高い。

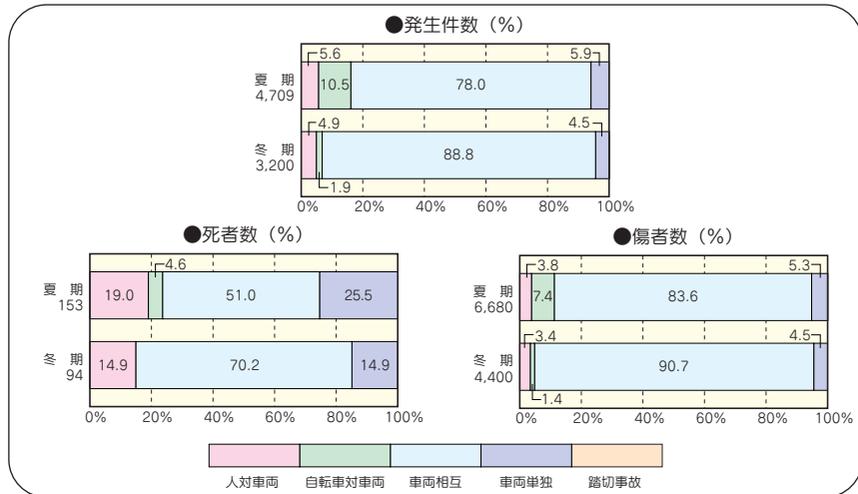
◆北海道・国道◆



区分	事故類型	人対車両				自転車対車両	車両相互				車両単独				踏切事故	合計		
		対背面通行	横断中		その他		正面衝突	追突	出頭	その他		工作物衝突	路外逸脱	その他				
			横断歩道	その他						小計	小計			小計				
北海道全体	発生件数	256	865	969	521	2,611	3,816	1,707	10,964	5,464	4,853	22,988	722	321	346	1,389	2	30,806
	%	0.8	2.8	3.1	1.7	8.5	12.4	5.5	35.6	17.7	15.8	74.6	2.3	1.0	1.1	4.5	0.0	100.0
	死者数	10	17	61	13	101	25	165	16	62	30	273	96	43	9	148	1	548
	%	1.8	3.1	11.1	2.4	18.4	4.6	30.1	2.9	11.3	5.5	49.8	17.5	7.8	1.6	27.0	0.2	100.0
	傷者数	260	887	939	531	2,617	3,855	2,848	14,722	7,526	6,258	31,354	878	417	400	1,695	2	39,523
%	0.7	2.2	2.4	1.3	6.6	9.8	7.2	37.2	19.0	15.8	79.3	2.2	1.1	1.0	4.3	0.0	100.0	
国道	発生件数	15	230	117	59	421	553	714	3,744	717	1,337	6,512	238	114	71	423	0	7,909
	%	0.2	2.9	1.5	0.7	5.3	7.0	9.0	47.3	9.1	16.9	82.3	3.0	1.4	0.9	5.3	0.0	100.0
	死者数	2	16	19	6	43	7	110	9	13	12	144	32	16	5	53	0	247
	%	0.8	6.5	7.7	2.4	17.4	2.8	44.5	3.6	5.3	4.9	58.3	13.0	6.5	2.0	21.5	0.0	100.0
	傷者数	14	224	102	61	401	553	1,342	5,342	1,030	1,863	9,577	309	153	87	549	0	11,080
%	0.1	2.0	0.9	0.6	3.6	5.0	12.1	48.2	9.3	16.8	86.4	2.8	1.4	0.8	5.0	0.0	100.0	

注1) 北海道全体は、平成12年交通年鑑の数値を使用。 注2) 国道事故に不明1件あり。集計には不明含まず。

◆国道の夏期・冬期◆

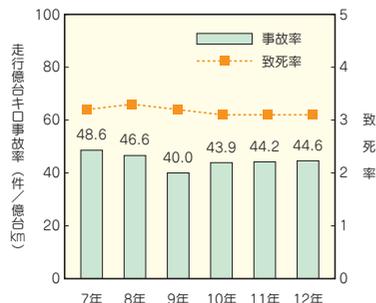


区分	事故類型	人対車両				自転車対車両	車両相互				車両単独				踏切事故	合計		
		対背面通行	横断中		その他		正面衝突	追突	出頭	その他		工作物衝突	路外逸脱	その他				
			横断歩道	その他						小計	小計			小計				
夏期	発生件数	13	149	71	31	264	493	265	2,172	413	822	3,672	153	83	44	280	0	4,709
	%	0.3	3.2	1.5	0.7	5.6	10.5	5.6	46.1	8.8	17.5	78.0	3.2	1.8	0.9	5.9	0.0	100.0
	死者数	2	12	12	3	29	7	56	4	10	8	78	24	12	3	39	0	153
	%	1.3	7.8	7.8	2.0	19.0	4.6	36.6	2.6	6.5	5.2	51.0	15.7	7.8	2.0	25.5	0.0	100.0
	傷者数	12	146	60	33	251	493	600	3,219	614	1,152	5,585	188	104	59	351	0	6,680
%	0.2	2.2	0.9	0.5	3.8	7.4	9.0	48.2	9.2	17.2	83.6	2.8	1.6	0.9	5.3	0.0	100.0	
冬期	発生件数	2	81	46	28	157	60	449	1,572	304	515	2,840	85	31	27	143	0	3,200
	%	0.1	2.5	1.4	0.9	4.9	1.9	14.0	49.1	9.5	16.1	88.8	2.7	1.0	0.8	4.5	0.0	100.0
	死者数	0	4	7	3	14	0	54	5	3	4	66	8	4	2	14	0	94
	%	0.0	4.3	7.4	3.2	14.9	0.0	57.4	5.3	3.2	4.3	70.2	8.5	4.3	2.1	14.9	0.0	100.0
	傷者数	2	78	42	28	150	60	742	2,123	416	711	3,992	121	49	28	198	0	4,400
%	0.0	1.8	1.0	0.6	3.4	1.4	16.9	48.3	9.5	16.2	90.7	2.8	1.1	0.6	4.5	0.0	100.0	

注) 夏期とは4月～10月・冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。

3月と8月の致死率が高い。

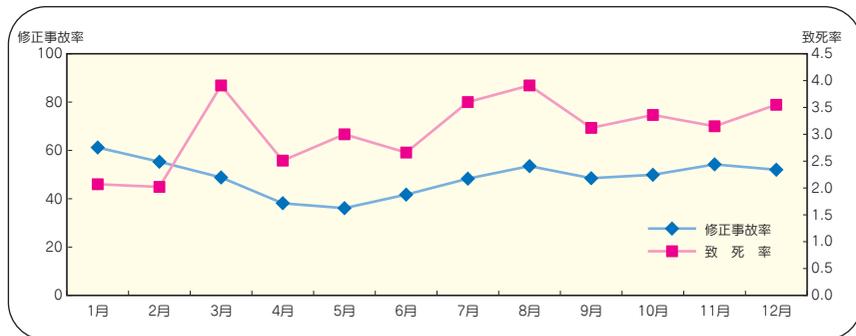
### ●国道の走行億台キロ事故率と致死率の推移



	走行億台キロ 事故率		致死率	
	北海道	全国	北海道	全国
7年	48.6	86.2	3.2	1.9
8年	46.6	86.2	3.3	1.8
9年	40.0	86.7	3.2	1.7
10年	43.9	84.8	3.1	1.5
11年	44.2	88.5	3.1	1.5
12年	44.6	96.0	2.7	1.4

注) 致死率とは人身事故100件あたりの死亡事故件数と定義する。

### ●月別修正事故率・致死率



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
事故率	45.0	42.2	40.9	33.0	35.6	41.4	50.0	59.6	48.5	49.6	48.1	41.2
指数	73.5	76.4	83.8	86.6	98.5	99.2	103.4	111.3	100.0	99.4	88.7	79.3
修正事故率	61.2	55.3	48.8	38.1	36.1	41.7	48.3	53.5	48.5	49.9	54.2	52.0
致死率	2.07	2.02	3.91	2.51	3.00	2.66	3.60	3.91	3.12	3.36	3.15	3.55

注1) 指数とは、交通量常時観測地点47ヶ所の月別交通量の合計の9月を100としたものである。  
(不明がある観測地点を除く)

注2) 事故率 =  $\frac{\text{発生件数} \times 1 \text{億}}{\text{日交通量} \times \text{道路延長(km)} \times \text{月日数}}$

注3) 修正事故率 = 事故率 ÷ 指数 × 100  
なお、修正事故率とは月別交通量の変化を加味したものである。

注4) 致死率 = 死者数 ÷ 発生件数 × 100

### PIARCの技術発表

1月29日から31日にかけて、ドーム内セッションエリアで実施された技術論文発表では、「New Challenge for Winter Road Service」の大会テーマのもと、6つのトピックス（冬期道路管理政策及び戦略、雪氷マネジメントとコスト、都市部における冬期道路問題と交通安全、環境とエネルギー、情報通信技術、雪氷対策技術の開発）に関して、口頭及びポスターによる発表が行われました。



口頭発表

交通事故に関する発表では、フィンランドのMalmivou氏が、冬季死亡事故において衝突事故の21%、路外逸脱事故の39%は、道路状況が急変したことが報告されました。

またアイスランドのSigthorsson氏は、人身事故、物損事故の両方を調査した結果、スパイクタイヤ装着車がスタッドレスタイヤ装着車より、凍結・積雪以外の乾燥・湿潤路面でも安全面で有利であったが、これはスパイクタイヤの運転者がスタッドレスタイヤの運転者よりもより安全に運転していることに起因していると報告しました。その他いくつかの冬季の事故に関する報告が発表されていました。

また「21世紀における冬期道路サービス」というテーマで将来の冬期道路サービスに関する最新の情報の提供と、知識の共有を目的とした特別セッションが行われました。セッションは、冬期のモビリティと冬期道路のサービスレベル、安全と環境、官民の責任分担、新技術等のトピックに関して各国の道路行政責任者によるパネルディスカッションにより議論が行われました。

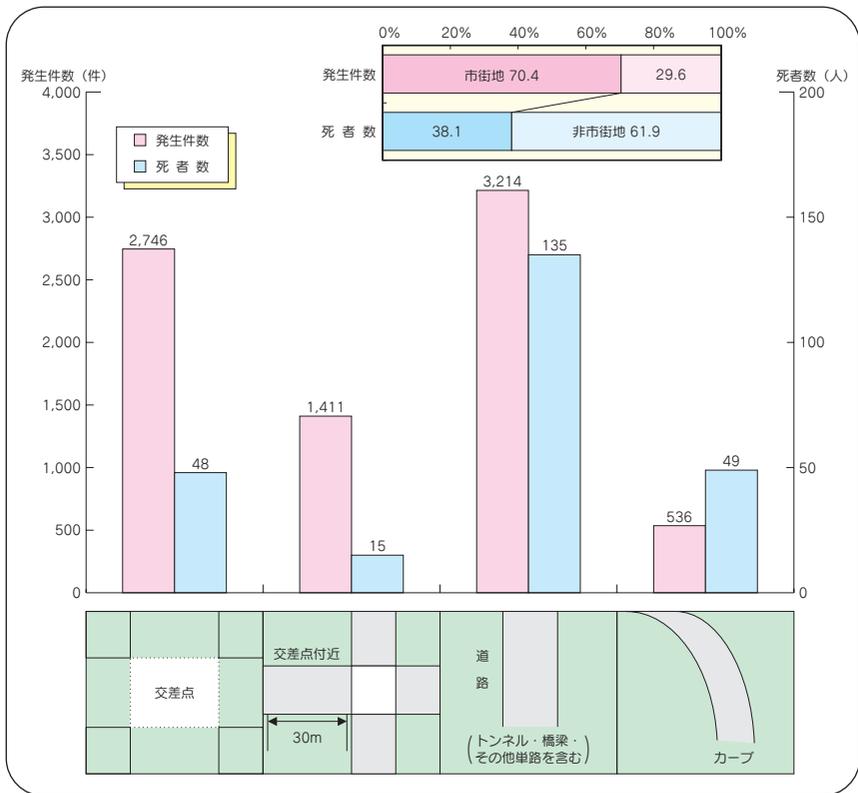


ポスター発表



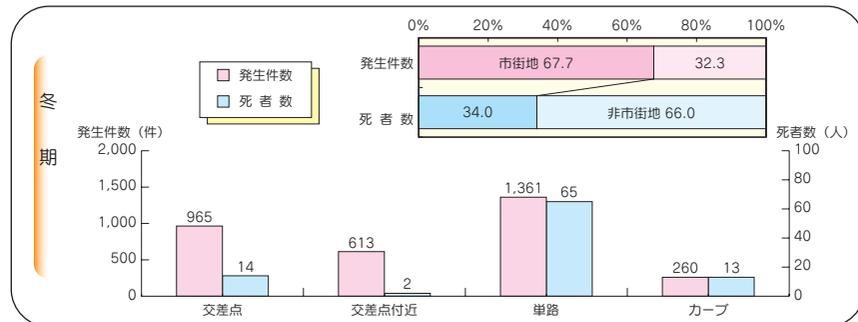
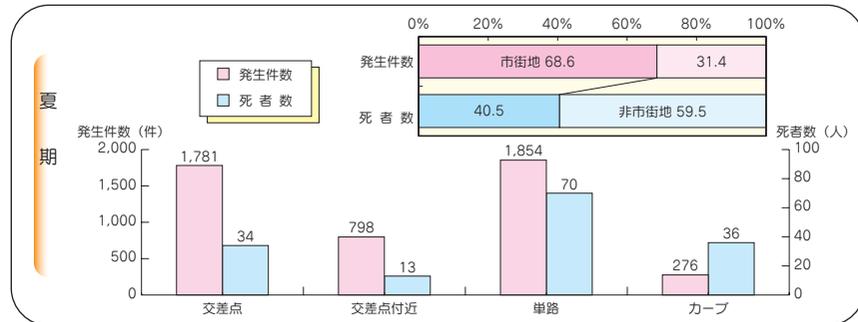
開会式会場

カーブでは、事故発生件数の割合に比べ、死者数の割合が高い。



区分	市街地								非市街地								合計
	交差点	交差点付近	トンネル	橋梁	カーブ	その他単路	踏切	小計	交差点	交差点付近	トンネル	橋梁	カーブ	その他単路	踏切	小計	
発生件数	2,312	1,177	12	33	140	1,890	1	5,565	434	234	56	48	396	1,175	0	2,343	7,908
構成率 (%)	29.2	14.9	0.2	0.4	1.8	23.9	0.0	70.4	5.5	3.0	0.7	0.6	5.0	14.9	0.0	29.6	100.0
死者数	37	14	0	0	8	35	0	94	11	1	2	6	41	92	0	153	247
構成率 (%)	15.0	5.7	0.0	0.0	3.2	14.2	0.0	38.1	4.5	0.4	0.8	2.4	16.6	37.2	0.0	61.9	100.0

注1) 市街地・非市街地の区別は、事故発生地点の地形により判定している。  
 注2) 道路形状で不明2件あり。集計には含まず。



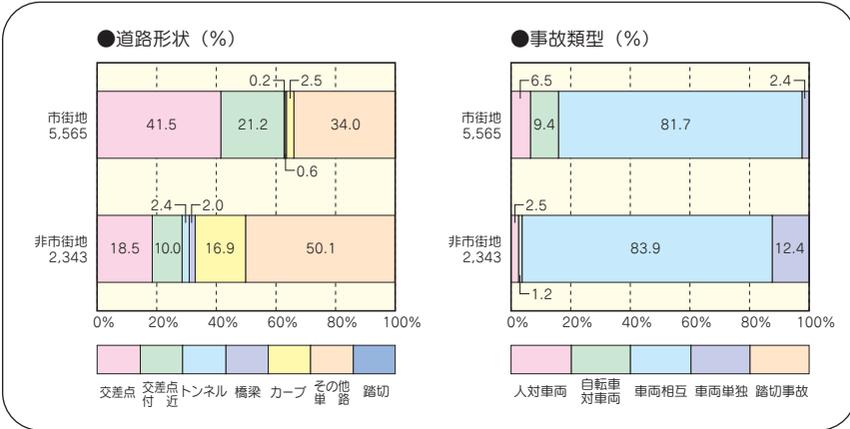
国道の夏期・冬期

区分	市街地								非市街地								合計
	交差点	交差点付近	トンネル	橋梁	カーブ	その他単路	踏切	小計	交差点	交差点付近	トンネル	橋梁	カーブ	その他単路	踏切	小計	
夏期	1,505	130	7	21	72	1,127	0	2,862	276	130	22	25	204	652	0	1,309	4,171
構成率 (%)	36.1	3.1	0.2	0.5	1.7	27.0	0.0	68.6	6.6	3.1	0.5	0.6	4.9	15.6	0.0	31.4	100.0
死者数	25	12	0	0	7	18	0	62	9	1	0	3	29	49	0	91	153
構成率 (%)	16.3	7.8	0.0	0.0	4.6	11.8	0.0	40.5	5.9	0.7	0.0	2.0	19.0	32.0	0.0	59.5	100.0
冬期	807	509	5	12	68	763	1	2,165	158	104	34	23	192	523	0	1,034	3,199
構成率 (%)	25.2	15.9	0.2	0.4	2.1	23.9	0.0	67.7	4.9	3.3	1.1	0.7	6.0	16.3	0.0	32.3	100.0
死者数	12	2	0	0	1	17	0	32	2	0	2	3	12	43	0	62	94
構成率 (%)	12.8	2.1	0.0	0.0	1.1	18.1	0.0	34.0	2.1	0.0	2.1	3.2	12.8	45.7	0.0	66.0	100.0

注) 夏期とは4月～10月・冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。

交差点・交差点付近及び単路では追突事故が多く、カーブでは正面衝突による死者数が多い。

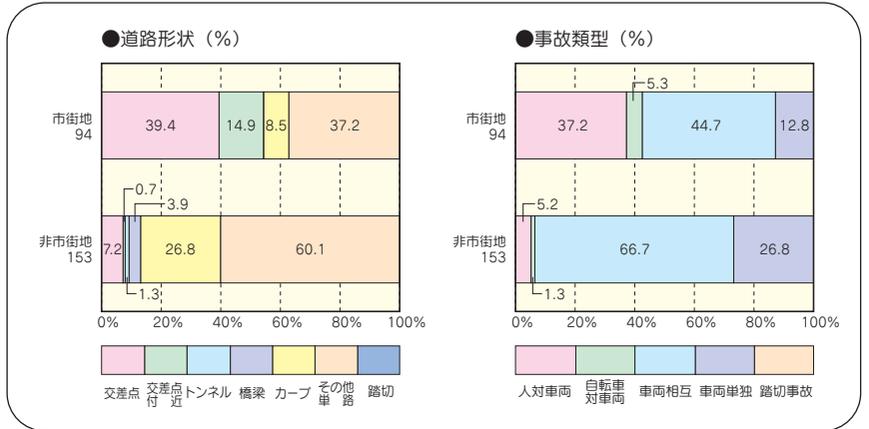
発生件数 全体



事故類型	道路形状														合 計	道路線形				
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路		踏 切	小 計	カ ー ブ	直 線	
人対車両	対背面通行	2	0	0	0	0	5	0	7	0	0	0	1	0	7	0	8	15	0	15
	横断歩道	196	19	0	0	1	6	0	222	3	0	0	0	0	5	0	8	230	1	229
	その他	33	9	0	0	3	51	0	96	1	1	0	0	3	16	0	21	117	6	111
	その他	5	6	0	0	0	26	0	37	0	2	0	0	6	14	0	22	59	6	53
	小計	236	34	0	0	4	88	0	362	4	3	0	1	9	42	0	59	421	13	408
自転車対車両	正面衝突	382	25	0	0	2	116	0	525	13	3	0	0	2	10	0	28	553	4	549
	追突	31	26	1	1	54	108	0	221	6	7	23	15	188	253	0	492	713	257	456
	出合頭	455	12	0	0	2	77	0	546	161	1	0	0	2	7	0	171	717	4	713
	その他	610	78	1	3	13	300	0	1,005	121	19	4	3	37	148	0	332	1,337	52	1,285
	小計	1,665	1,104	12	32	109	1,622	1	4,545	408	220	53	41	276	968	0	1,966	6,511	409	6,102
車両相互	工作物衝突	21	4	0	1	17	34	0	77	8	8	3	5	65	72	0	161	238	86	152
	路外逸脱	0	1	0	0	4	8	0	13	1	0	0	1	33	66	0	101	114	41	73
	その他	8	9	0	0	4	22	0	43	0	0	0	0	11	17	0	28	71	15	56
	小計	29	14	0	1	25	64	0	133	9	8	3	6	109	155	0	290	423	142	281
	踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2,312	1,177	12	33	140	1,890	1	5,565	434	234	56	48	396	1,175	0	2,343	7,908	568	7,340	

注) 道路形状、事故類型に不明2件あり。集計には含まず。

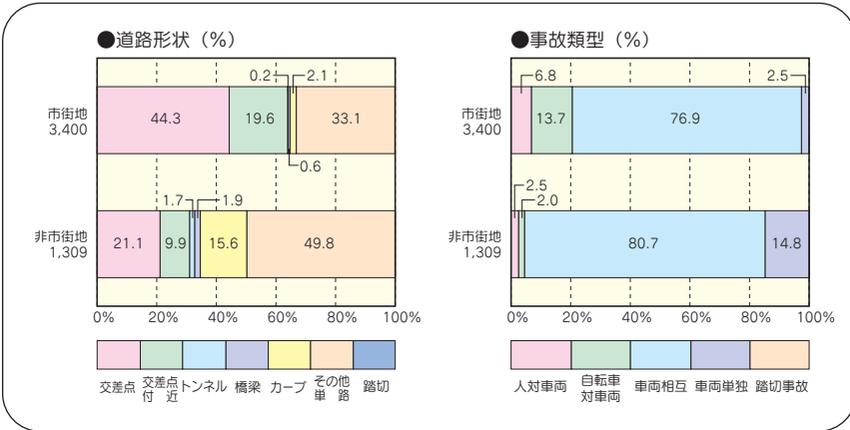
死者数 全体



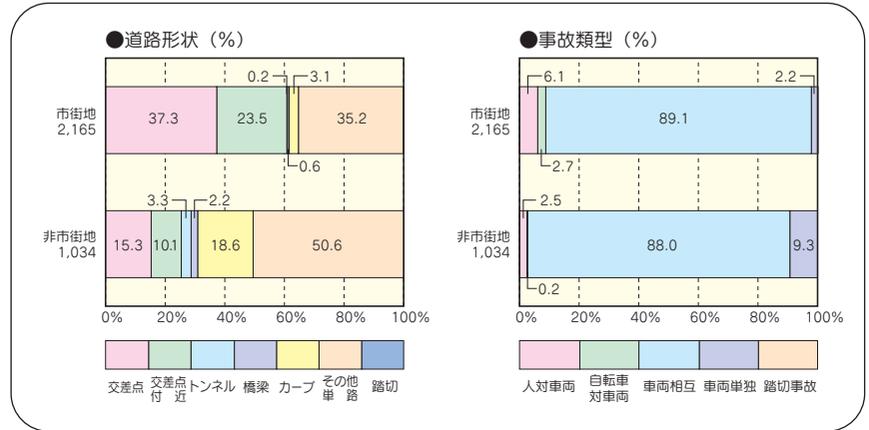
事故類型	道路形状														合 計	道路線形				
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路		踏 切	小 計	カ ー ブ	直 線	
人対車両	対背面通行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2
	横断歩道	11	5	0	0	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0	16
	その他	3	1	0	0	0	12	0	16	0	0	0	0	0	3	0	3	19	0	19
	その他	0	1	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	3	0	0	3	6	3	3
	小計	14	7	0	0	0	14	0	35	0	0	0	0	3	5	0	8	43	3	40
自転車対車両	正面衝突	4	1	0	0	0	0	0	5	1	0	0	0	0	1	0	2	7	0	7
	追突	2	2	0	0	5	14	0	23	0	2	5	24	56	0	87	110	36	74	
	出合頭	1	2	0	0	1	1	0	5	1	1	0	0	0	2	0	4	9	1	8
	その他	7	0	0	0	0	0	0	7	6	0	0	0	0	0	0	6	13	0	13
	小計	16	4	0	0	6	16	0	42	7	1	2	5	25	62	0	102	144	39	105
車両相互	工作物衝突	2	0	0	0	2	2	0	6	2	0	0	1	8	15	0	26	32	12	20
	路外逸脱	0	2	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0	4	8	0	13	16	6	10
	その他	1	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	1	1	0	2	5	1	4
	小計	3	2	0	0	2	5	0	12	3	0	0	1	13	24	0	41	53	19	34
	踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	37	14	0	0	8	35	0	94	11	1	2	6	41	92	0	153	247	61	186	

冬期では事故発生件数における車両相互の占める割合が高い。

■発生件数 夏期■



■発生件数 冬期■



道路形状 \ 事故類型	市街地											非市街地											合 計	道路線形	
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネ ル	橋	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネ ル	橋	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ ー ブ	直 線							
人対車両	対 背 面 通 行	2	0	0	0	0	5	0	7	0	0	0	1	0	5	0	6	13	0	13					
	横断歩道	129	15	0	0	1	2	0	147	2	0	0	0	0	0	2	149	1	148						
	その他	23	8	0	0	1	25	0	57	1	1	0	0	3	9	0	14	71	4	67					
	その他	2	4	0	0	0	14	0	20	0	2	0	0	2	7	0	11	31	2	29					
	小計	156	27	0	0	2	46	0	231	3	3	0	1	5	21	0	33	264	7	257					
自転車対車両	正面衝突	342	21	0	0	2	102	0	467	12	3	0	0	2	9	0	26	493	4	489					
	追突	15	13	0	0	18	34	0	80	3	0	6	4	80	92	0	185	265	104	161					
	追突	311	543	6	19	25	689	0	1,593	72	111	13	17	21	345	0	579	2,172	52	2,120					
	出合頭	254	9	0	0	1	38	0	302	103	1	0	0	2	5	0	111	413	3	410					
	その他	409	46	1	2	8	175	0	641	75	7	2	0	16	81	0	181	822	25	797					
小計	989	611	7	21	52	936	0	2,616	253	119	21	21	119	523	0	1,056	3,672	184	3,488						
車両単独	工作物衝突	14	3	0	0	11	21	0	49	7	5	1	3	41	47	0	104	153	53	100					
	路外逸脱	0	1	0	0	2	5	0	8	1	0	0	0	29	45	0	75	83	33	50					
	その他	4	5	0	0	3	17	0	29	0	0	0	0	8	7	0	15	44	11	33					
	その他	18	9	0	0	16	43	0	86	8	5	1	3	78	99	0	194	280	97	183					
	小計	18	9	0	0	16	43	0	86	8	5	1	3	78	99	0	194	280	97	183					
踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
合 計	1,505	668	7	21	72	1,127	0	3,400	276	130	22	25	204	652	0	1,309	4,709	292	4,417						

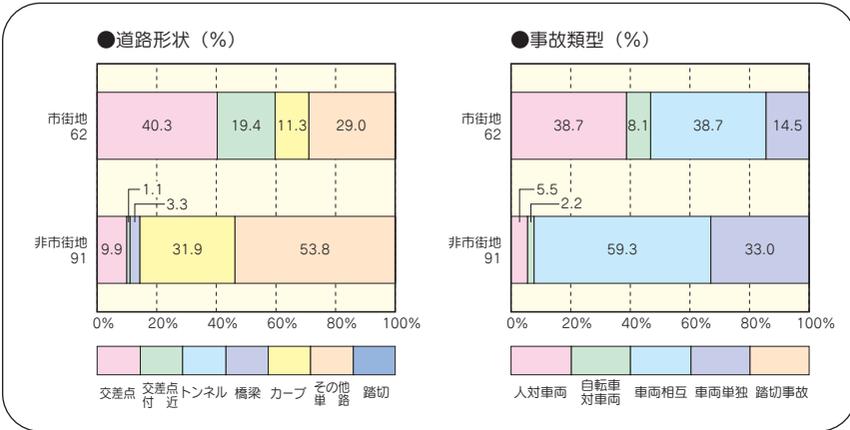
注1) 夏期とは4月～10月をいう。 注2) 道路形状、事故類型に不明2件あり。集計には含まず。

道路形状 \ 事故類型	市街地											非市街地											合 計	道路線形	
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネ ル	橋	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネ ル	橋	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ ー ブ	直 線							
人対車両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2					
	横断歩道	67	4	0	0	0	4	0	75	1	0	0	0	0	5	0	6	81	0	81					
	その他	10	1	0	0	2	26	0	39	0	0	0	0	0	7	0	7	46	2	44					
	その他	3	2	0	0	0	12	0	17	0	0	0	0	4	7	0	11	28	4	24					
	小計	80	7	0	0	2	42	0	131	1	0	0	0	4	21	0	26	157	6	151					
自転車対車両	正面衝突	40	4	0	0	0	14	0	58	1	0	0	0	0	1	0	2	60	0	60					
	追突	16	13	1	1	36	74	0	141	3	7	17	11	108	161	0	307	448	153	295					
	追突	258	445	4	9	15	448	1	1,180	48	82	13	6	28	215	0	392	1,572	44	1,528					
	出合頭	201	3	0	0	1	39	0	244	58	0	0	0	0	2	0	60	304	1	303					
	その他	201	32	0	1	5	125	0	364	46	12	2	3	21	67	0	151	515	27	488					
小計	676	493	5	11	57	686	1	1,929	155	101	32	20	157	445	0	910	2,839	225	2,614						
車両単独	工作物衝突	7	1	0	1	6	13	0	28	1	3	2	2	24	25	0	57	85	33	52					
	路外逸脱	0	0	0	0	2	3	0	5	0	0	0	1	4	21	0	26	31	8	23					
	その他	4	4	0	0	1	5	0	14	0	0	0	0	3	10	0	13	27	4	23					
	その他	11	5	0	1	9	21	0	47	1	3	2	3	31	56	0	96	143	45	98					
	小計	11	5	0	1	9	21	0	47	1	3	2	3	31	56	0	96	143	45	98					
踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
合 計	807	509	5	12	68	763	1	2,165	158	104	34	23	192	523	0	1,034	3,199	276	2,923						

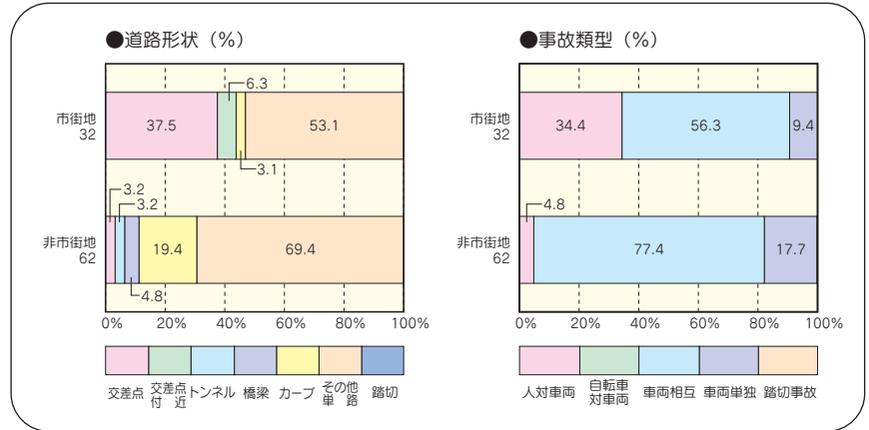
注) 冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。

夏期は車両単独、冬期は車両相互の占める割合が高い

■死者数 夏期■



■死者数 冬期■



事故類型	道路形状														合 計	道路線形			
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直		
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直	
人対車両	対背面通行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2
	横断歩道	7	5	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12
	その他	3	1	0	0	0	6	10	0	0	0	0	0	2	0	2	12	0	12
	その他	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1	3	3	1	2
	小計	10	7	0	0	0	7	24	0	0	0	1	4	0	5	29	1	28	
自転車対車両	正面衝突	4	1	0	0	0	0	5	1	0	0	0	1	0	2	7	0	7	
	追突	1	1	0	0	4	7	13	0	0	0	2	16	25	0	43	56	26	30
	出合頭	0	1	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	1	2	4	1	3	
	その他	5	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	0	0	0	5	10	0	10
	小計	3	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	4	0	4	8	1	7
車両相互	小計	9	2	0	0	5	8	24	5	1	0	2	16	30	0	54	78	28	50
	工作物衝突	2	0	0	0	2	0	4	2	0	0	1	7	10	0	20	24	10	14
	路外逸脱	0	2	0	0	0	1	3	1	0	0	0	4	4	0	9	12	6	6
	その他	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	0	0	1	3	1	2
	小計	2	2	0	0	2	3	9	3	0	0	1	12	14	0	30	39	17	22
踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	25	12	0	0	7	18	62	9	1	0	3	29	49	0	91	153	46	107	

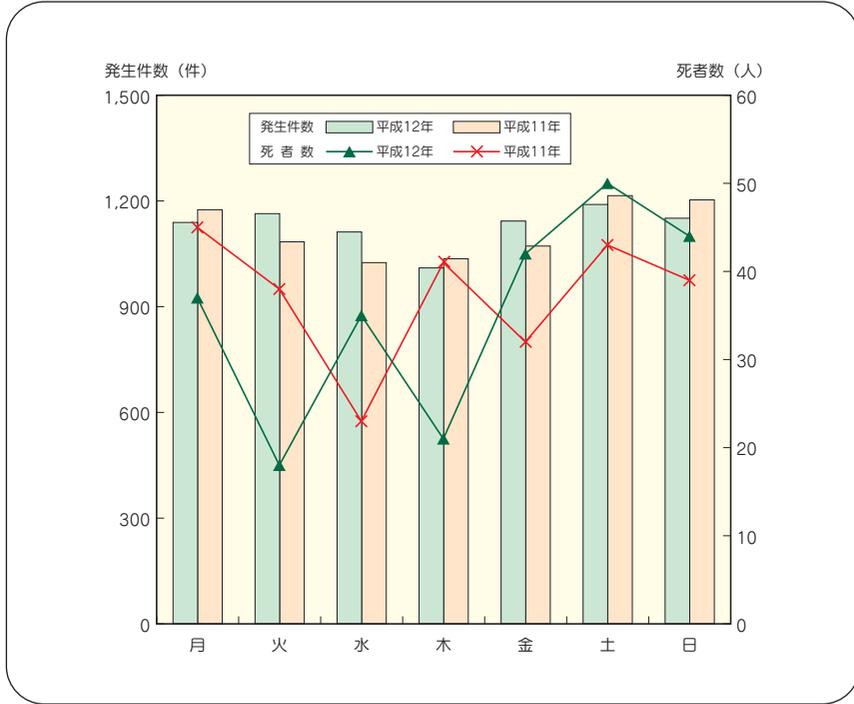
注1) 夏期とは4月～10月をいう。 注2) 道路形状、事故類型に不明2件あり。集計には含まず。

事故類型	道路形状														合 計	道路線形			
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直		
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直	
人対車両	対背面通行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横断歩道	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	その他	0	0	0	0	0	6	6	0	0	0	0	0	1	0	1	7	0	7
	その他	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	2	3	2	1
	小計	4	0	0	0	0	7	11	0	0	0	2	1	0	3	14	2	12	
自転車対車両	正面衝突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	追突	1	1	0	0	1	7	10	0	0	2	3	8	31	0	44	54	10	44
	出合頭	1	1	0	0	0	1	3	1	0	0	0	0	1	0	2	5	0	5
	その他	2	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	3	0	3
	小計	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	1	4	1	3
車両相互	小計	7	2	0	0	1	8	18	2	0	2	3	9	32	0	48	66	11	55
	工作物衝突	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	5	0	6	8	2	6
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	4	0	4
	その他	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2
	小計	1	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	1	10	0	11	14	2	12
踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	12	2	0	0	1	17	32	2	0	2	3	12	43	0	62	94	15	79	

注) 冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。

平成12年の事故発生件数の割合と死者数の割合は土曜日が高い。

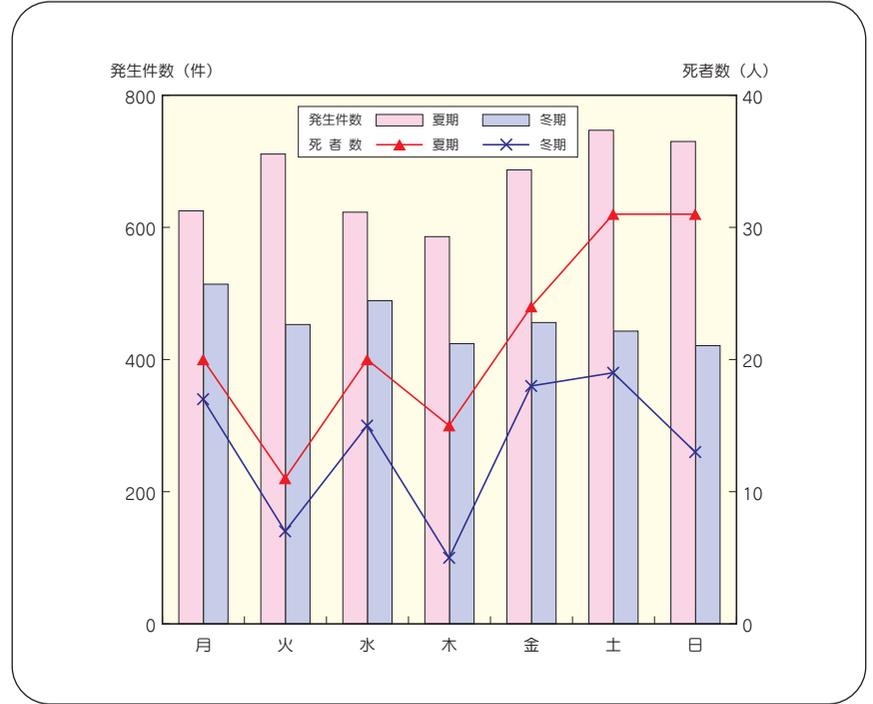
■平成11年・12年■



区分	曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
12年	発生件数	1,139	1,164	1,112	1,010	1,143	1,190	1,151	7,909
	%	14.4	14.7	14.1	12.8	14.5	15.0	14.6	100.0
	死者数	37	18	35	21	42	50	44	247
	%	15.0	7.3	14.2	8.5	17.0	20.2	17.8	100.0
11年	発生件数	1,175	1,084	1,025	1,036	1,072	1,215	1,203	7,810
	%	15.0	13.9	13.1	13.3	13.7	15.6	15.4	100.0
	死者数	45	38	23	41	32	43	39	261
	%	17.2	14.6	8.8	15.7	12.3	16.5	14.9	100.0

注) 発生曜日不明1件あり。集計には含まず。

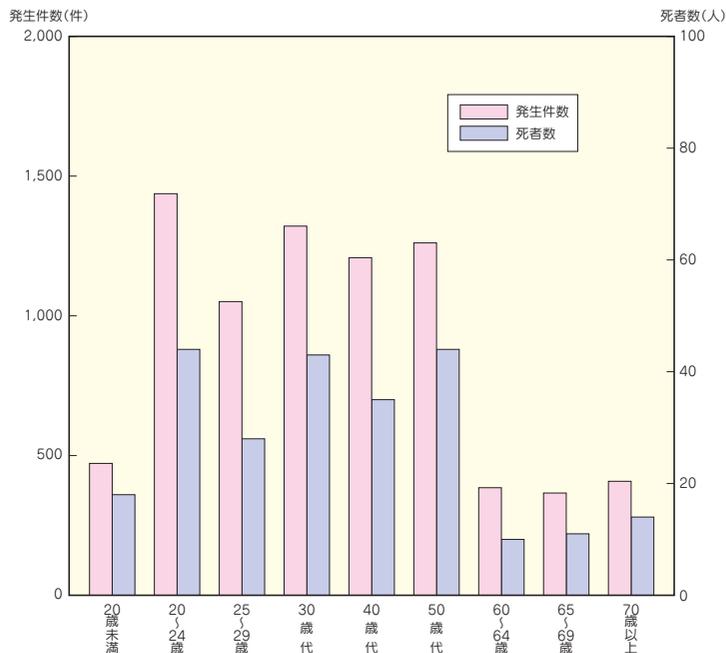
■平成12年の夏期・冬期■



区分	曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
夏期	発生件数	625	711	623	586	687	747	730	4,709
	%	13.3	15.1	13.2	12.4	14.6	15.9	15.5	100.0
	死者数	20	11	20	16	24	31	31	153
	%	13.1	7.2	13.1	10.5	15.7	20.3	20.3	100.0
冬期	発生件数	514	453	489	424	456	443	421	3,200
	%	16.1	14.2	15.3	13.3	14.3	13.8	13.2	100.0
	死者数	17	7	15	5	18	19	13	94
	%	18.1	7.4	16.0	5.3	19.1	20.2	13.8	100.0

注1) 夏期とは4月～10月・冬期とは1月～3月、11月、12月をいう。 注2) 発生曜日不明1件あり。集計には含まず。

発生件数は、20歳代前半の割合が高い。



年齢階層 区分	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
発生件数	472	1,437	1,051	1,321	1,208	1,261	385	366	408	7,909
%	6.0	18.2	13.3	16.7	15.3	15.9	4.9	4.6	5.2	100.0
死者数	18	44	28	43	35	44	10	11	14	247
%	7.3	17.8	11.3	17.4	14.2	17.8	4.0	4.5	5.7	100.0

注）第一当事者不明の事故は1件あり。集計には不明は含まず。

## 旭川・紋別自動車道 上越白滝道路が開通

高規格幹線道路の旭川・紋別自動車道のうち、上川郡上川町字上越(浮島インターチェンジ)から紋別郡白滝村字白滝(白滝インターチェンジ)間の延長19.8kmを暫定2車線で平成14年3月30日から供用開始しました。

旭川・紋別自動車道は、北海道縦貫自動車道との連続性を確保した高速交通ネットワークを形成し、道央圏・道北圏とオホーツク圏との交流促進、また、旭川空港、紋別空港、紋別港などの交通拠点との有機的な結合の強化を図る高規格幹線道路で、旭川市を起点に上川町、遠軽町などを経由し紋別市に至る延長約130kmの一般国道の自動車専用道路です。

今回開通した「上越白滝道路」は、平成2年度から工事を着手して完成したもので、全長19.8kmの延長の約4割を、トンネルや橋梁が占めています。最も長いトンネルは、北大雪トンネルで、全道で2番目の4,098mの延長です。平行している一般国道333号の北見峠は、標高が857mですが、「上越白滝道路」の標高は695mで、曲線半径と道路勾配も緩やかになっています。また設計速度は、100km/hとなっています。雪対策のために監視カメラや防雪柵も装備しています。

旭川紋別自動車道が完成すると、旅行時間の短縮が図られ、オホーツクの産業や、生活の面でさまざまな効果が期待されます。水産物・農産物の輸送、通勤・通学、通院や救急搬送など、今後はより迅速に対応できるようになります。また観光エリアが拡大しますので、観光の発展という面でも大きく変化することが期待されます。



水月橋（手前）と北大雪トンネル（奥）

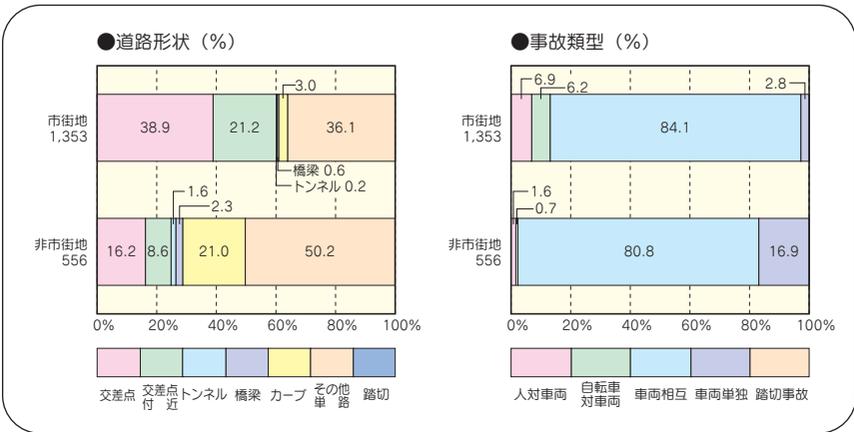


天狗平橋付近

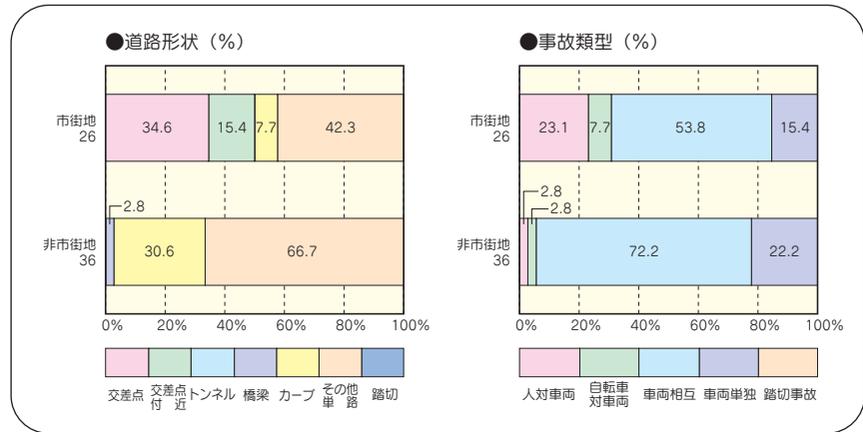
若年ドライバーの発生状況：道路形状別事故類型別内訳（国道）

発生件数は市街地の交差点が多く、死者数は非市街地のその他単路が多い。

■発生件数■



■死者数■



事故類型	道路形状														合 計	道路線形			
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直		
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直	
人対車両	対背面通行	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	2	3	0	3
	横断歩道	48	3	0	0	0	3	54	2	0	0	0	0	1	0	3	57	0	57
	その他	10	4	0	0	0	15	29	0	0	0	0	0	2	0	2	31	0	31
	その他	2	2	0	0	0	5	9	0	0	0	0	0	2	0	2	11	0	11
	小計	60	9	0	0	0	24	93	2	0	0	0	7	0	9	102	0	102	
自転車対車両	正面衝突	61	5	0	0	0	18	84	2	0	0	0	1	1	0	4	88	1	87
	追突	7	12	0	0	13	37	69	3	1	2	5	59	62	0	132	201	75	126
	出合頭	146	235	3	8	13	306	711	26	42	7	7	12	133	0	227	938	27	911
	その他	111	5	0	0	1	24	141	26	0	0	0	0	2	0	28	169	1	168
	小計	133	17	0	0	6	61	217	29	2	0	0	5	26	0	62	279	11	268
小計	397	269	3	8	33	428	1,138	84	45	9	12	76	223	0	449	1,587	114	1,473	
車両相互	工作物衝突	7	1	0	0	7	11	26	2	3	0	0	23	26	0	54	80	31	49
	路外逸脱	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	1	14	18	0	33	35	16	19
	その他	1	3	0	0	0	6	10	0	0	0	0	3	4	0	7	17	3	14
	小計	8	4	0	0	8	18	38	2	3	0	1	40	48	0	94	132	50	82
	踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	526	287	3	8	41	488	1,353	90	48	9	13	117	279	0	556	1,909	165	1,744	

注1) 対象を25歳未満とした。 注2) 道路形状、事故類型で不明2件あり。集計には含まず。

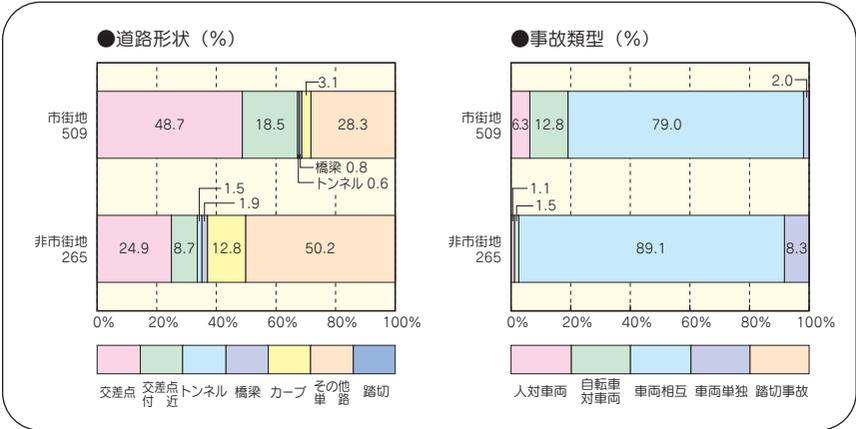
事故類型	道路形状														合 計	道路線形			
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直		
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直	
人対車両	対背面通行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	横断歩道	1	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	その他	1	1	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2	3	0	0	0	1	6	0	0	0	0	1	0	1	7	0	7	
自転車対車両	正面衝突	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	3
	追突	0	1	0	0	2	6	9	0	0	0	1	8	16	0	25	34	12	22
	出合頭	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
	その他	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	3
	小計	3	1	0	0	2	8	14	0	0	0	1	8	17	0	26	40	12	28
車両相互	工作物衝突	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	2	2	0	4	6	3	3
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	4	4	1	3
	その他	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	
	小計	2	0	0	0	0	2	4	0	0	0	0	3	5	0	8	12	4	8
	踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	9	4	0	0	2	11	26	0	0	0	1	11	24	0	36	62	16	46	

注) 対象を25歳未満とした。

# 14-B 高齢者ドライバーの発生状況：道路形状別事故類型別内訳（国道）

発生件数では市街地における交差点の割合が高い。

## ■発生件数■

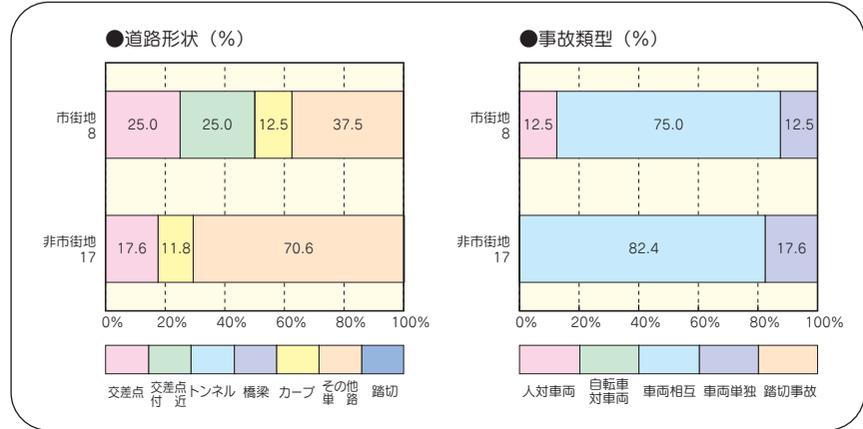


事故類型	道路形状														合 計	道路線形				
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直			
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直		
人対車両	対背面通行	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2
	横断歩道	25	1	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	26	
	その他	1	0	0	0	0	3	4	1	0	0	0	0	1	0	2	6	0	6	
	その他	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	小計	26	1	0	0	0	5	32	1	0	0	0	2	0	3	35	0	35		
車両相互	正面衝突	4	2	1	0	6	11	24	0	0	1	0	19	29	0	49	73	26	47	
	追突	35	82	2	2	3	74	198	9	18	1	4	7	68	0	107	305	10	295	
	出合頭	55	2	0	0	0	6	63	38	0	0	0	1	0	0	39	102	1	101	
	その他	76	6	0	2	3	30	117	17	3	1	0	2	18	0	41	158	6	152	
	小計	170	92	3	4	12	121	402	64	21	3	4	29	115	0	236	638	43	595	
車両単独	工作物衝突	3	1	0	0	2	1	7	0	0	1	1	3	9	0	14	21	7	14	
	路外逸脱	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	1	6	0	7	9	1	8	
	その他	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	1	
小計	3	1	0	0	3	3	10	0	0	1	1	4	16	0	22	32	9	23		
踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合 計	248	94	3	4	16	144	509	66	23	4	5	34	133	0	265	774	54	720		

注1) 対象を65歳以上とした。 注2) 道路形状、事故類型で不明2件あり。集計には含まず。

# 14-B 高齢者ドライバーの発生状況：道路形状別事故類型別内訳（国道）

## ■死者数■

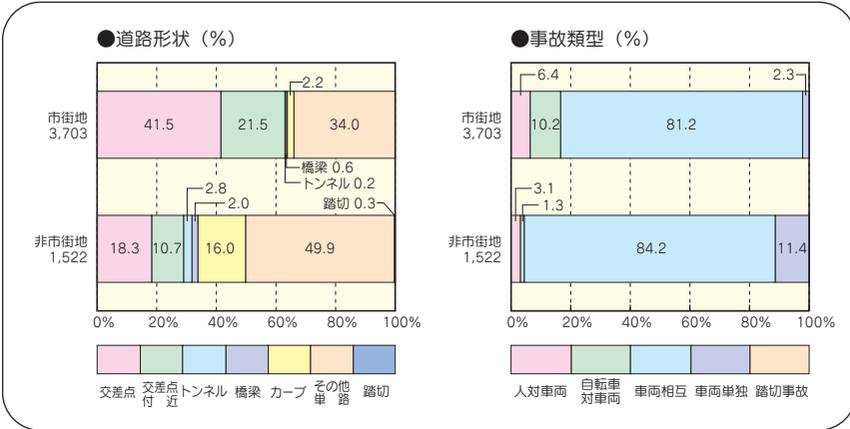


事故類型	道路形状														合 計	道路線形			
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直		
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直	
人対車両	対背面通行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横断歩道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
車両相互	正面衝突	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0	0	2	6	0	8	11	4	7
	追突	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	3
	出合頭	1	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	3	4	0	4
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	1	1
	小計	1	2	0	0	1	2	6	3	0	0	0	2	9	0	14	20	5	15
車両単独	工作物衝突	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	3	4	1	3
	路外逸脱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	3	4	1	3	
踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	2	2	0	0	1	3	8	3	0	0	0	2	12	0	17	25	6	19	

注) 対象を65歳以上とした。

発生件数は市街地の交差点が多く、死者数は非市街地の車両単独が多い。

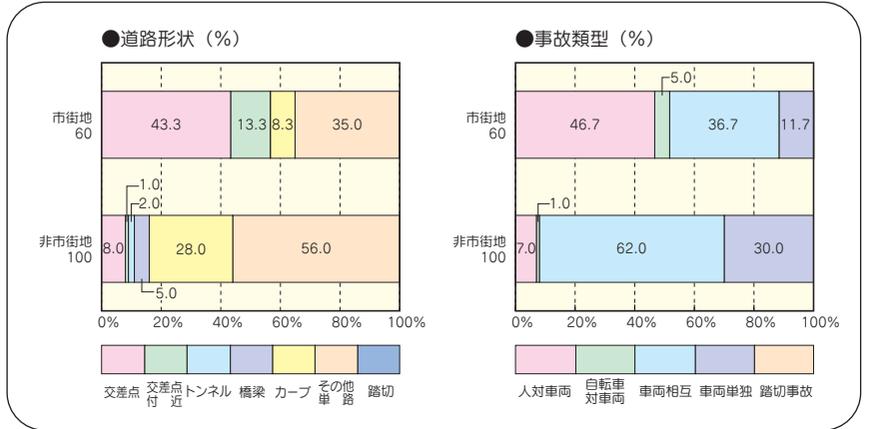
■発生件数■



事故類型	道路形状														合 計	道路線形				
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直			
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直		
人対車両	対 背 面 通 行	2	0	0	0	0	3	0	5	0	0	0	1	0	4	0	5	10	0	10
	横 断 歩 道	123	15	0	0	1	3	0	142	1	0	0	0	0	4	0	5	147	1	146
	そ の 他	22	5	0	0	3	33	0	63	0	1	0	0	3	13	0	17	80	6	74
	小 計	150	24	0	0	4	59	0	237	1	2	0	1	9	33	0	47	284	13	271
	小 計	272	20	0	0	1	83	0	376	10	1	0	0	0	9	0	20	396	1	395
車両相互	正 面 衝 突	20	12	0	1	35	0	128	3	6	20	10	110	162	0	311	439	156	283	
	追 突	388	671	5	18	24	757	1	1,864	85	133	18	12	30	359	0	637	2,501	59	2,442
	出 合 頭	289	5	0	0	1	47	0	342	97	1	0	0	0	1	5	104	446	2	444
	そ の 他	401	55	1	1	4	209	0	671	75	14	3	3	30	104	0	229	900	35	865
	小 計	1,098	743	6	20	64	1,073	1	3,005	260	154	41	25	170	626	5	1,281	4,286	252	4,034
車両単独	工 作 物 衝 突	11	2	0	1	8	22	0	44	6	5	2	4	39	37	0	93	137	48	89
	路 外 逸 脱	0	1	0	0	3	5	0	9	1	0	0	0	18	42	0	61	70	24	46
	そ の 他	7	6	0	0	3	16	0	32	0	0	0	0	8	12	0	20	52	11	41
	小 計	18	9	0	1	14	43	0	85	7	5	2	4	65	91	0	174	259	83	176
	踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1,538	796	6	21	83	1,258	1	3,703	278	163	43	30	244	759	5	1,522	5,225	349	4,876	

注1) 対象を25歳以上65歳未満とした。 注2) 道路形状、事故類型で不明2件あり。集計には含まず。

■死者数■

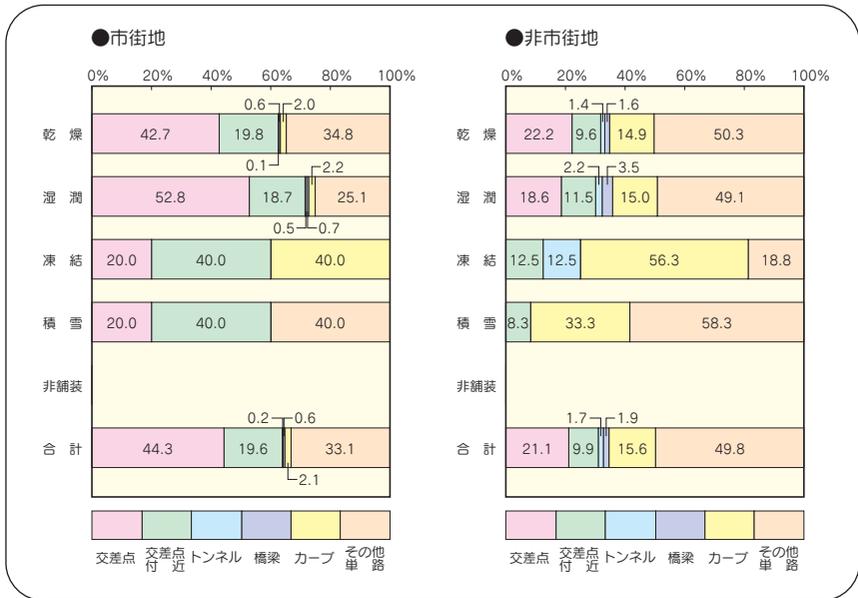


事故類型	道路形状														合 計	道路線形				
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直			
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直		
人対車両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	
	横 断 歩 道	10	3	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	0	13	0	13	
	そ の 他	2	0	0	0	0	10	0	12	0	0	0	0	3	0	3	15	0	15	
	小 計	0	1	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	3	0	3	6	3	3	
	小 計	12	4	0	0	0	12	0	28	0	0	0	0	3	4	0	7	35	3	32
車両相互	正 面 衝 突	2	1	0	0	2	6	0	11	0	0	2	4	14	34	0	54	65	20	45
	追 突	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	3	4	1	3
	出 合 頭	5	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	0	3	8	0	8
	そ の 他	5	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	1	0	2	7	1	6
	小 計	12	1	0	0	3	6	0	22	4	1	2	4	15	36	0	62	84	22	62
車両単独	工 作 物 衝 突	0	0	0	0	2	1	0	3	2	0	0	1	6	10	0	19	22	8	14
	路 外 逸 脱	0	2	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0	3	5	0	9	12	5	7
	そ の 他	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	3	1	2
	小 計	0	2	0	0	2	3	0	7	3	0	0	1	10	16	0	30	37	14	23
	踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	26	8	0	0	5	21	0	60	8	1	2	5	28	56	0	100	160	39	121	

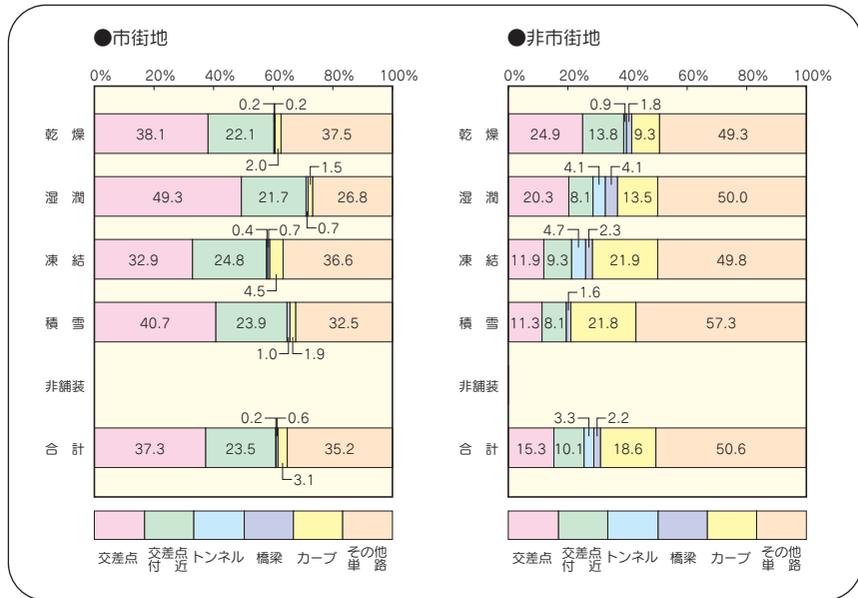
注) 対象を25歳以上65歳未満とした。

冬期の凍結路面では、非市街地のその他単路での発生件数が多い。

■発生件数 夏期■



■発生件数 冬期■



路面状態	市街地										非市街地										合計	道路線形	
	交差点	交差点付近	トンネル	橋梁	カーブ	その他単路	踏切	小計	交差点	交差点付近	トンネル	橋梁	カーブ	その他単路	踏切	小計	力	直線					
舗装	1,209	560	4	17	58	985	0	2,833	234	101	15	17	157	531	0	1,055	3,888	225	3,663				
凍結	1	2	0	0	2	0	0	5	0	2	2	0	9	3	0	16	21	11	10				
積雪	1	2	0	0	0	2	0	5	0	1	0	0	4	7	0	12	17	5	12				
小計	1,505	668	7	21	72	1,127	0	3,400	276	130	22	25	204	652	0	1,309	4,709	292	4,417				
非舗装	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
合計	1,505	668	7	21	72	1,127	0	3,400	276	130	22	25	204	652	0	1,309	4,709	292	4,417				

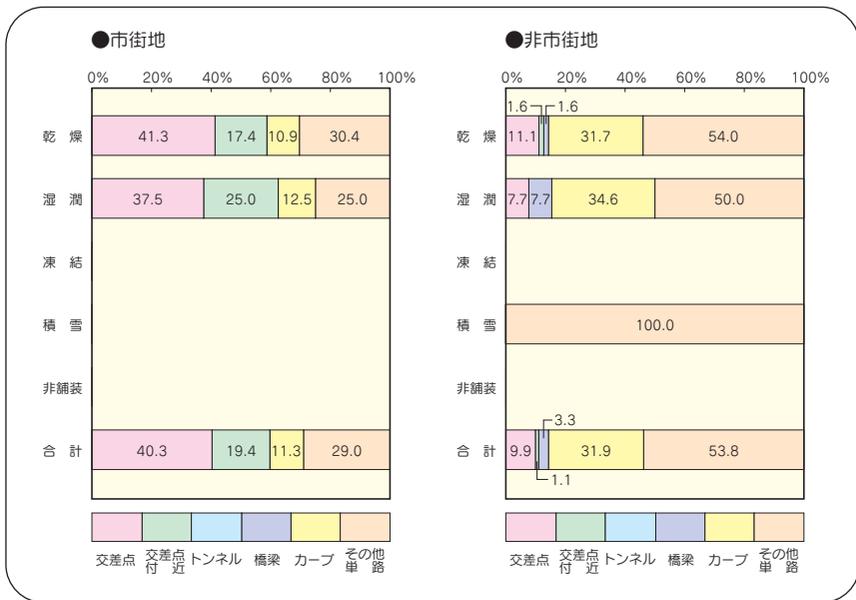
注1) 夏期とは4~10月をいう。 注2) 道路形状、路面状態に不明2件あり。集計には含まず。

路面状態	市街地										非市街地										合計	道路線形	
	交差点	交差点付近	トンネル	橋梁	カーブ	その他単路	踏切	小計	交差点	交差点付近	トンネル	橋梁	カーブ	その他単路	踏切	小計	力	直線					
舗装	245	142	1	1	13	241	0	643	56	31	2	4	21	111	0	225	868	37	831				
湿潤	134	59	0	2	4	73	0	272	15	6	3	3	10	37	0	74	346	16	330				
凍結	343	258	4	7	47	381	1	1,041	73	57	29	14	134	304	0	611	1,652	192	1,460				
積雪	85	50	0	2	4	68	0	209	14	10	0	2	27	71	0	124	333	31	302				
小計	807	509	5	12	68	763	1	2,165	158	104	34	23	192	523	0	1,034	3,199	276	2,923				
非舗装	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
合計	807	509	5	12	68	763	1	2,165	158	104	34	23	192	523	0	1,034	3,199	276	2,923				

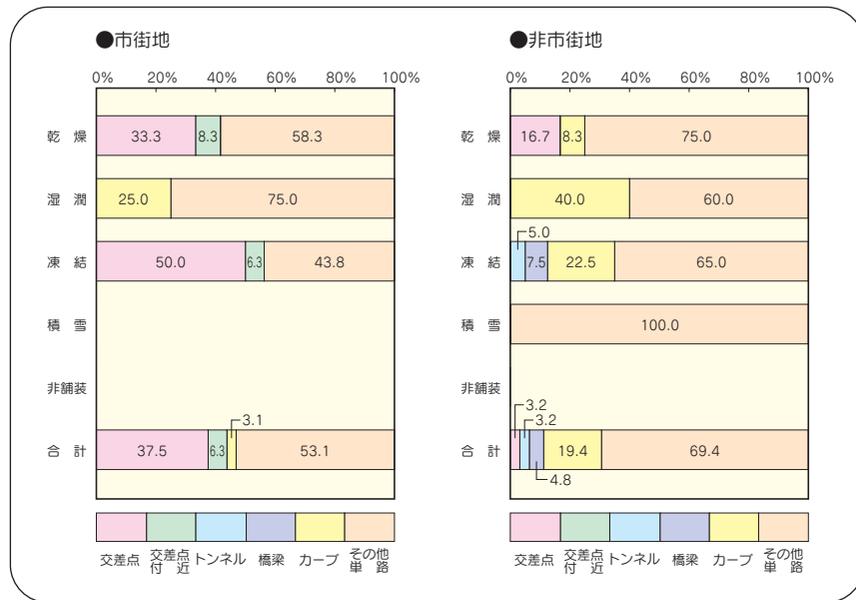
注1) 冬期とは1~3・11、12月をいう。 注2) 道路形状、路面状態に不明2件あり。集計には含まず。

夏期湿潤路面、非市街地のカーブで発生する死亡事故の割合が高い。

■死者数 夏期■



■死者数 冬期■



路面状態	道路形状	市街地								非市街地								合 計	道路線形	
		交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計		カ ー ブ	直 線
舗 装	乾 燥	19	8	0	0	5	14	0	46	7	1	0	1	20	34	0	63	109	32	77
	湿 潤	6	4	0	0	2	4	0	16	2	0	0	2	9	13	0	26	42	12	30
	凍 結	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	積 雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	2	0
	小 計	25	12	0	0	7	18	0	62	9	1	0	3	29	49	0	91	153	46	107
非 舗 装	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	25	12	0	0	7	18	0	62	9	1	0	3	29	49	0	91	153	46	107	

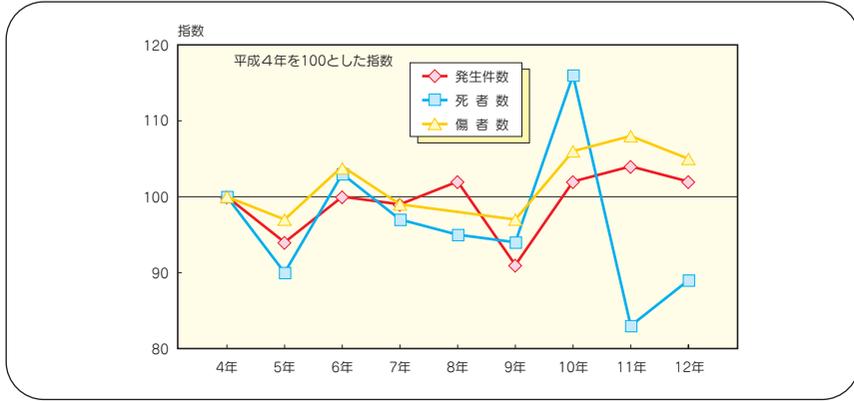
注) 夏期とは4～10月をいう。

路面状態	道路形状	市街地								非市街地								合 計	道路線形	
		交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計		カ ー ブ	直 線
舗 装	乾 燥	4	1	0	0	0	7	0	12	2	0	0	0	1	9	0	12	24	1	23
	湿 潤	0	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	0	2	3	0	5	9	4	5
	凍 結	8	1	0	0	0	7	0	16	0	0	2	3	9	26	0	40	56	10	46
	積 雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5	5	0	5
	小 計	12	2	0	0	1	17	0	32	2	0	2	3	12	43	0	62	94	15	79
非 舗 装	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	12	2	0	0	1	17	0	32	2	0	2	3	12	43	0	62	94	15	79	

注) 冬期とは1～3・11、12月をいう。

冬型事故は発生件数、死者数ともに、スリップ事故の占める割合が高い。

■冬期事故■



◆冬期事故（1～3、11、12月）発生状況

項目	年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
発生件数		3,138	2,950	3,145	3,109	3,191	2,859	3,199	3,271	3,200
指数		100	94	100	99	102	91	102	104	102
死者数		106	95	109	103	101	100	123	88	94
指数		100	90	103	97	95	94	116	83	89
傷者数		4,198	4,087	4,364	4,146	4,106	4,087	4,439	4,552	4,400
指数		100	97	104	99	98	97	106	108	105

◆冬型事故発生状況（発生件数）

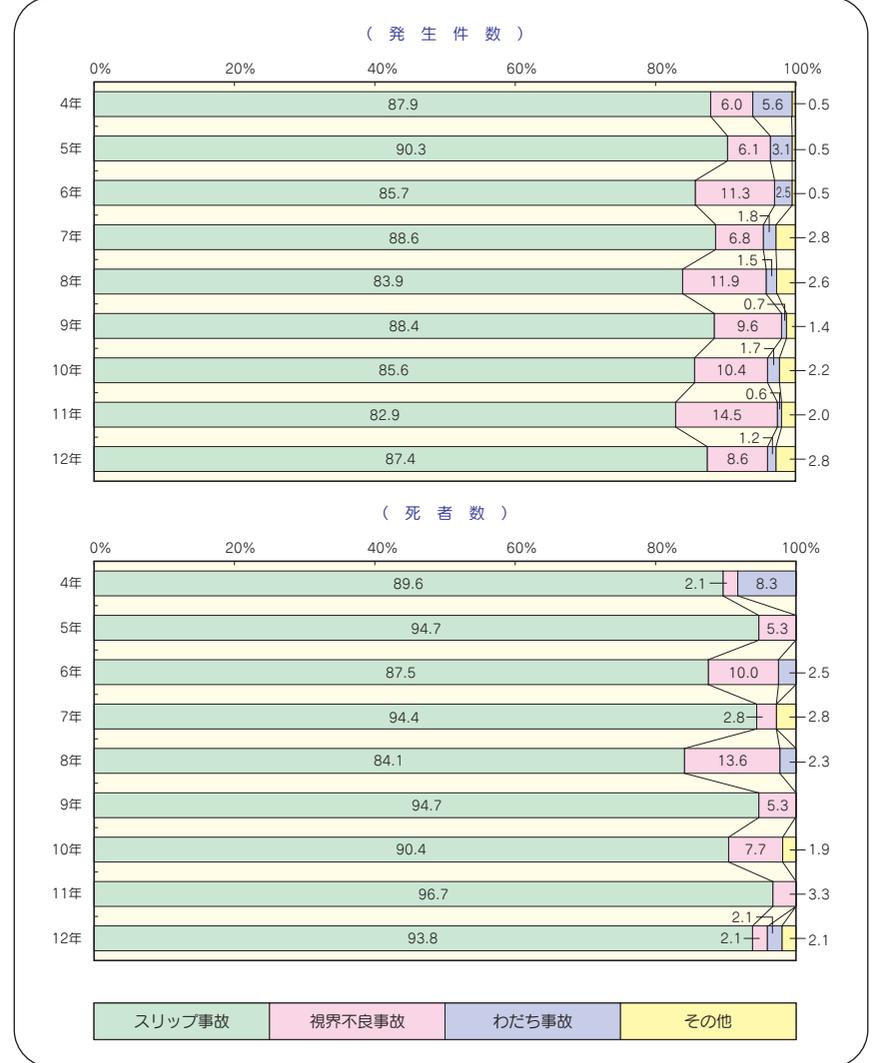
項目	年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
スリップ事故		953	981	1,003	876	999	777	1,000	948	996
視界不良事故		65	66	132	67	142	84	122	166	98
わだち事故		61	34	29	18	18	6	20	7	14
その他		5	5	6	28	31	12	26	23	32
合計		1,084	1,086	1,170	989	1,190	879	1,168	1,144	1,140

◆冬型事故発生状況（死者数）

項目	年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
スリップ事故		43	36	35	34	37	36	47	29	45
視界不良事故		1	2	4	1	6	2	4	1	1
わだち事故		4	0	1	0	1	0	0	0	1
その他		0	0	0	1	0	0	1	0	1
合計		48	38	40	36	44	38	52	30	48

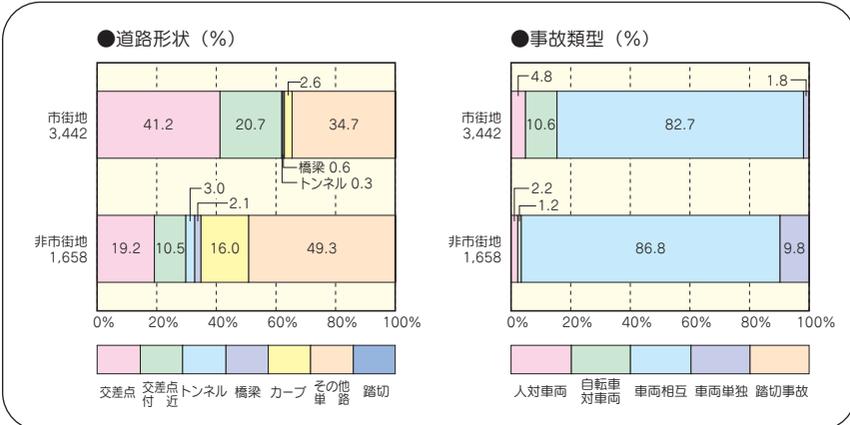
注）冬型事故とは、積雪・凍結・吹雪等の冬期現象が事故の直接又は間接の要因となったもの。

◆冬型事故発生状況

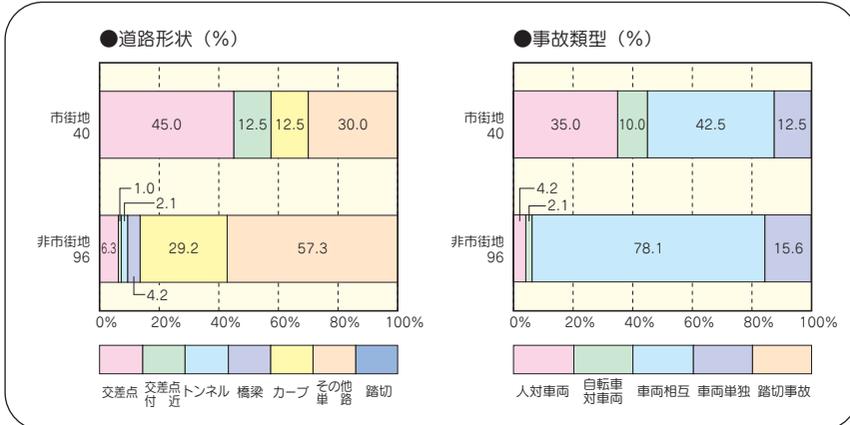


発生件数は、市街地の交差点が多く、非市街地ではその他単路が多い

■発生件数 全体■



■死者数 全体■



事故類型	道路形状														合 計	道路線形				
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直			
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直		
人対車両	2	0	0	0	0	5	0	7	0	0	0	0	0	2	0	2	9	0	9	
横断歩道	81	9	0	0	0	2	0	92	2	0	0	0	0	5	0	7	99	0	99	
その他	20	4	0	0	3	19	0	46	1	1	0	0	2	11	0	15	61	5	56	
その他	2	3	0	0	0	16	0	21	0	2	0	0	3	7	0	12	33	3	30	
小計	105	16	0	0	3	42	0	166	3	3	0	0	5	25	0	36	202	8	194	
自転車対車両	263	16	0	0	2	85	0	366	10	2	0	0	2	6	0	20	386	4	382	
車両相互	17	14	1	0	36	43	0	111	5	6	21	11	131	170	0	344	455	179	276	
追突	366	606	8	18	28	777	1	1,804	89	141	22	18	31	425	0	726	2,530	66	2,464	
出合頭	286	6	0	0	1	42	0	335	123	1	0	0	1	6	0	131	466	2	464	
その他	365	46	1	3	10	173	0	598	84	17	3	1	31	102	0	238	836	43	793	
小計	1,034	672	10	21	75	1,035	1	2,848	301	165	46	30	194	703	0	1,439	4,287	290	3,997	
車両単独	8	2	0	0	5	13	0	28	3	4	3	4	36	39	0	89	117	44	73	
路外逸脱	0	0	0	0	1	6	0	7	1	0	0	0	1	21	35	0	58	65	26	39
その他	7	6	0	0	2	12	0	27	0	0	0	0	7	9	0	16	43	9	34	
小計	15	8	0	0	8	31	0	62	4	4	3	5	64	83	0	163	225	79	146	
踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	1,417	712	10	21	88	1,193	1	3,442	318	174	49	35	265	817	0	1,658	5,100	381	4,719	

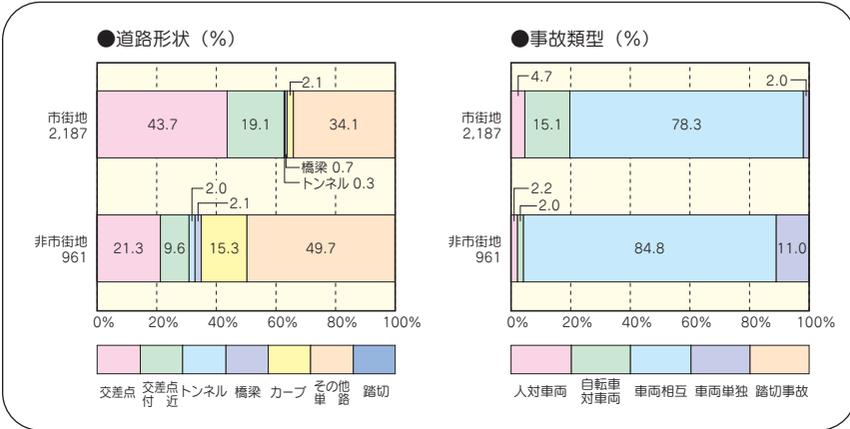
注1) 「昼間」とは、日の出から日没までをいう。 注2) 道路形状、事故類型で不明2件あり。集計には含まず。

事故類型	道路形状														合 計	道路線形			
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直		
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直	
人対車両	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
横断歩道	5	1	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6
その他	2	0	0	0	0	4	0	6	0	0	0	0	0	1	0	1	7	0	7
その他	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	1	2	0	3	5	3	2
小計	7	1	0	0	0	6	0	14	0	0	0	0	1	3	0	4	18	3	15
自転車対車両	3	1	0	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	1	0	2	6	0	6
車両相互	2	1	0	0	4	2	0	9	0	2	3	19	41	0	65	74	28	46	
追突	0	2	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0	0	2	0	3	6	0	6
出合頭	3	0	0	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	0	0	4	7	0	7
その他	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	3	5	2	3
小計	7	3	0	0	4	3	0	17	4	1	2	3	20	45	0	75	92	30	62
車両単独	1	0	0	0	1	1	0	3	0	0	0	1	4	5	0	10	13	6	7
路外逸脱	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	3	1	0	5	6	5	1
その他	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
小計	1	0	0	0	1	3	0	5	1	0	0	1	7	6	0	15	20	11	9
踏切事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	18	5	0	0	5	12	0	40	6	1	2	4	28	55	0	96	136	44	92

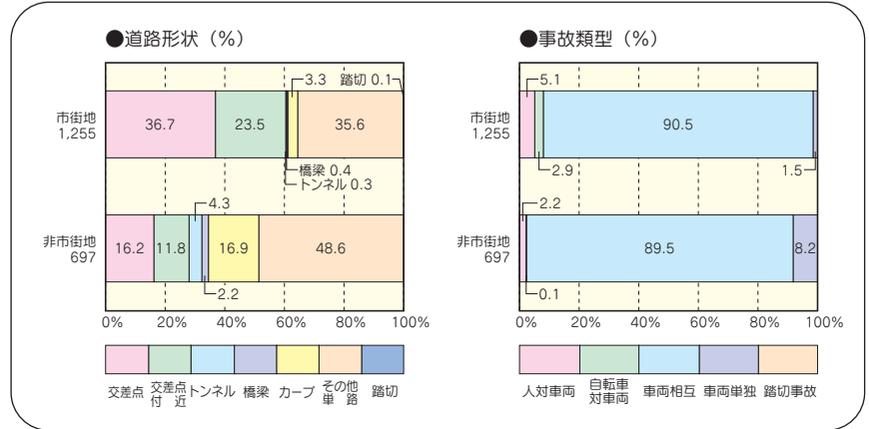
注) 「昼間」とは、日の出から日没までをいう。

夏期に比べ冬期は市街地の車両相互による事故が多い。

■発生件数 夏期■



■発生件数 冬期■



事故類型	道路形状														合 計	道路線形				
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路		踏 切	小 計	カ ー ブ	直 線	
人対車両	対 背 面 通 行	2	0	0	0	0	5	0	7	0	0	0	0	0	1	0	1	8	0	8
	横 断 歩 道	49	7	0	0	0	1	0	57	1	0	0	0	0	0	0	1	58	0	58
	そ の 他	14	4	0	0	1	7	0	26	1	1	0	0	2	7	0	11	37	3	34
	そ の 他	1	1	0	0	0	10	0	12	0	2	0	0	2	4	0	8	20	2	18
	小 計	66	12	0	0	1	23	0	102	2	3	0	0	4	12	0	21	123	5	118
自転車対車両	小 計	239	13	0	0	2	76	0	330	9	2	0	0	2	6	0	19	349	4	345
	正 面 衝 突	10	7	0	0	13	14	0	44	3	0	6	4	65	64	0	142	186	83	103
	追 突	200	345	5	14	17	476	0	1,057	53	78	11	14	16	276	0	448	1,505	39	1,466
	出 合 頭	175	4	0	0	0	24	0	203	81	1	0	0	1	5	0	88	291	1	290
	そ の 他	257	31	1	2	7	110	0	408	54	6	1	0	14	62	0	137	545	22	523
小 計	642	387	6	16	37	624	0	1,712	191	85	18	18	96	407	0	815	2,527	145	2,382	
車両相互	小 計	239	13	0	0	2	76	0	330	9	2	0	0	2	6	0	19	349	4	345
	正 面 衝 突	10	7	0	0	13	14	0	44	3	0	6	4	65	64	0	142	186	83	103
	追 突	200	345	5	14	17	476	0	1,057	53	78	11	14	16	276	0	448	1,505	39	1,466
	出 合 頭	175	4	0	0	0	24	0	203	81	1	0	0	1	5	0	88	291	1	290
	そ の 他	257	31	1	2	7	110	0	408	54	6	1	0	14	62	0	137	545	22	523
小 計	642	387	6	16	37	624	0	1,712	191	85	18	18	96	407	0	815	2,527	145	2,382	
車両単独	小 計	5	2	0	0	3	9	0	19	2	2	1	2	22	24	0	53	72	26	46
	工 作 物 衝 突	5	2	0	0	3	9	0	19	2	2	1	2	22	24	0	53	72	26	46
	路 外 逸 脱	0	0	0	0	1	4	0	5	1	0	0	0	19	25	0	45	50	22	28
	そ の 他	4	3	0	0	2	10	0	19	0	0	0	0	4	4	0	8	27	6	21
	小 計	9	5	0	0	6	23	0	43	3	2	1	2	45	53	0	106	149	54	95
踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	956	417	6	16	46	746	0	2,187	205	92	19	20	147	478	0	961	3,148	208	2,940	

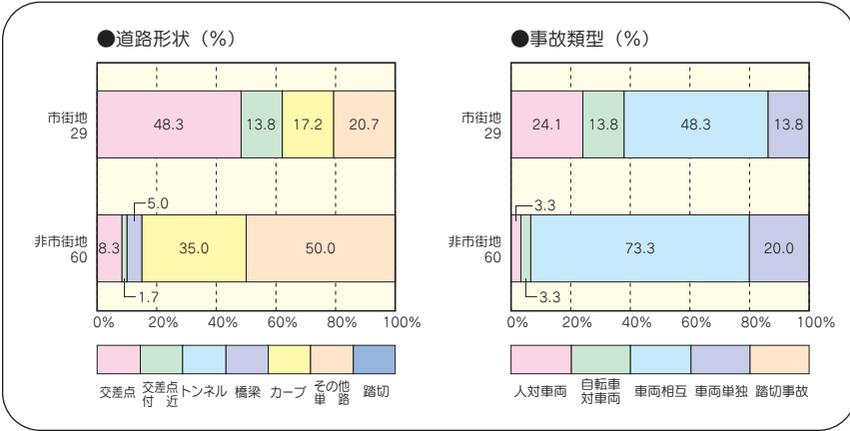
注1) 夏期とは4~10月をいう。 注2) 道路形状、事故類型で不明2件あり。集計には含まず。

事故類型	道路形状														合 計	道路線形				
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路		踏 切	小 計	カ ー ブ	直 線	
人対車両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	横 断 歩 道	32	2	0	0	0	1	0	35	1	0	0	0	0	5	0	6	41	0	41
	そ の 他	6	0	0	0	2	12	0	20	0	0	0	0	0	4	0	4	24	2	22
	そ の 他	1	2	0	0	0	6	0	9	0	0	0	0	1	3	0	4	13	1	12
	小 計	39	4	0	0	2	19	0	64	1	0	0	0	1	13	0	15	79	3	76
自転車対車両	小 計	24	3	0	0	0	9	0	36	1	0	0	0	0	0	0	1	37	0	37
	正 面 衝 突	7	7	1	0	23	29	0	67	2	6	15	7	66	106	0	202	269	96	173
	追 突	166	261	3	4	11	301	1	747	36	63	11	4	15	149	0	278	1,025	27	998
	出 合 頭	111	2	0	0	1	18	0	132	42	0	0	0	0	1	0	43	175	1	174
	そ の 他	108	15	0	1	3	63	0	190	30	11	2	1	17	40	0	101	291	21	270
小 計	392	285	4	5	38	411	1	1,136	110	80	28	12	98	296	0	624	1,760	145	1,615	
車両相互	小 計	24	3	0	0	0	9	0	36	1	0	0	0	0	0	0	1	37	0	37
	正 面 衝 突	7	7	1	0	23	29	0	67	2	6	15	7	66	106	0	202	269	96	173
	追 突	166	261	3	4	11	301	1	747	36	63	11	4	15	149	0	278	1,025	27	998
	出 合 頭	111	2	0	0	1	18	0	132	42	0	0	0	0	1	0	43	175	1	174
	そ の 他	108	15	0	1	3	63	0	190	30	11	2	1	17	40	0	101	291	21	270
小 計	392	285	4	5	38	411	1	1,136	110	80	28	12	98	296	0	624	1,760	145	1,615	
車両単独	小 計	3	0	0	0	2	4	0	9	1	2	2	2	14	15	0	36	45	18	27
	工 作 物 衝 突	3	0	0	0	2	4	0	9	1	2	2	2	14	15	0	36	45	18	27
	路 外 逸 脱	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	1	2	10	0	13	15	4	11
	そ の 他	3	3	0	0	0	2	0	8	0	0	0	0	3	5	0	8	16	3	13
	小 計	6	3	0	0	2	8	0	19	1	2	2	3	19	30	0	57	76	25	51
踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	461	295	4	5	42	447	1	1,255	113	82	30	15	118	339	0	697	1,952	173	1,779	

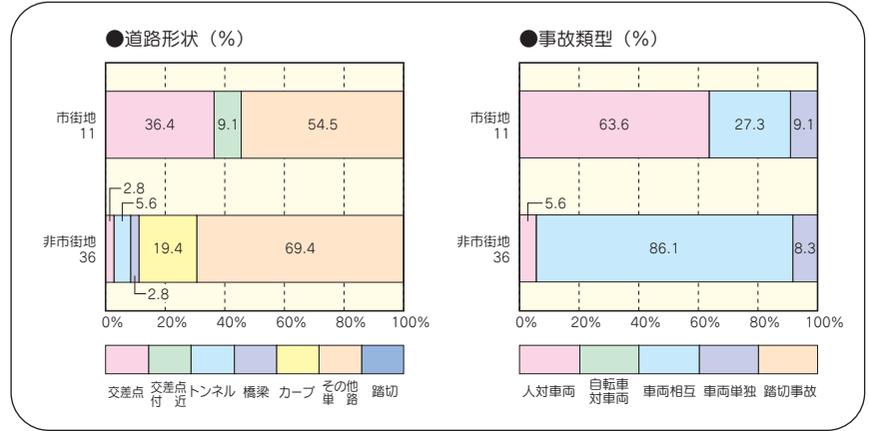
注) 冬期とは1~3・11、12月をいう。

夏期に比べ冬期は、非市街地における車両相互による死者数の割合が高い。

■死者数 夏期■



■死者数 冬期■



事故類型	道路形状															合 計	道路線形			
	市 街 地					非 市 街 地					合 計						力	直		
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	其 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	其 他 単 路	踏 切	小 計	合 計	力	直	
人対車両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横 断 歩 道	2	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0
	其 他	2	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	1	0	1	4	0	4	0
	小 計	4	1	0	0	0	2	7	0	0	0	0	1	0	1	2	9	1	1	0
自転車対車両	正 面 衝 突	3	1	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	1	0	2	6	0	6	0
	追 突	1	1	0	0	4	2	8	0	0	2	13	22	0	37	45	21	24	0	
	出 合 頭	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	2	3	0	3	0
	小 計	6	2	0	0	4	2	14	3	1	0	2	13	25	0	44	58	22	36	0
車両相互	工 作 物 衝 突	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	1	4	2	7	9	6	3	0	
	路 外 逸 脱	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3	1	0	5	6	5	1	0
	其 他	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
	小 計	1	0	0	0	1	2	4	1	0	0	1	7	3	0	12	16	11	5	0
踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	14	4	0	0	5	6	29	5	1	0	3	21	30	0	60	89	34	55		

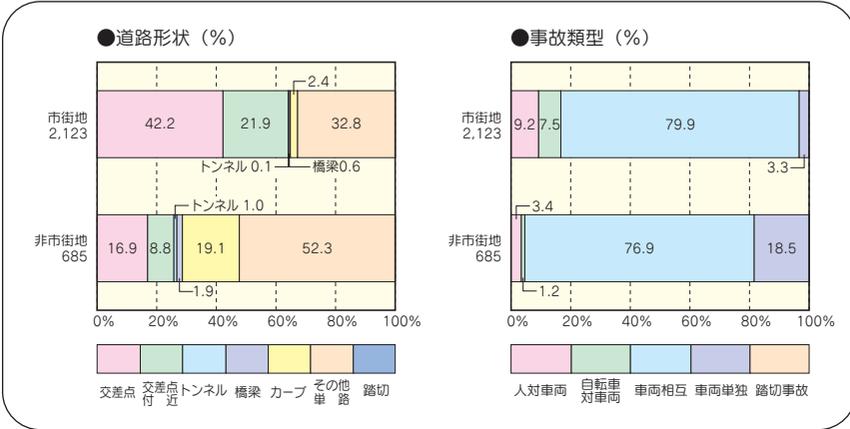
注) 夏期とは4～10月をいう。

事故類型	道路形状															合 計	道路線形			
	市 街 地					非 市 街 地					合 計						力	直		
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	其 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	其 他 単 路	踏 切	小 計	合 計	力	直	
人対車両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横 断 歩 道	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0
	其 他	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0
	小 計	3	0	0	0	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	7	0
自転車対車両	正 面 衝 突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	追 突	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	6	19	0	28	29	7	22	0
	出 合 頭	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	3	0	3	0
	小 計	1	1	0	0	0	1	3	1	0	2	1	7	20	0	31	34	8	26	0
車両相互	工 作 物 衝 突	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	3	4	0	4	0	
	路 外 逸 脱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	其 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	3	4	0	4	0	
踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	4	1	0	0	0	6	11	1	0	2	1	7	25	0	36	47	10	37		

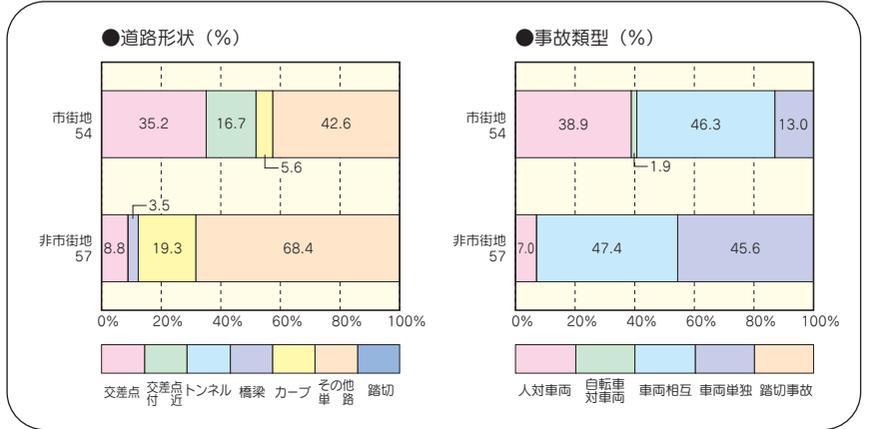
注) 冬期とは1～3・11、12月をいう。

夜間は昼間に比べ、非市街地の車両単独の死者が多い。

■発生件数 全体■



■発生件数 全体■



道路形状 事故類型	市 街 地														非 市 街 地														合 計	道路線形	
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ ー プ	直 線													
人 対 車 両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	0	6	6	0	6												
	横 断 歩 道	115	10	0	0	1	4	0	130	1	0	0	0	0	0	1	131	1	130												
	そ の 他	13	5	0	0	0	32	0	50	0	0	0	1	5	0	6	56	1	55												
	小 計	131	18	0	0	1	46	0	196	1	0	0	1	4	17	0	23	219	6	214											
	自 転 車 対 車 両	119	9	0	0	0	31	0	159	3	1	0	0	4	0	8	167	0	167												
車 両 相 互	正 面 衝 突	14	12	0	1	18	65	0	110	1	1	2	4	57	83	0	148	258	78	180											
	追 突	203	382	2	10	12	360	0	969	31	52	4	5	18	135	0	245	1,214	30	1,184											
	出 合 頭	169	6	0	0	1	35	0	211	38	0	0	0	1	1	0	40	251	2	249											
	そ の 他	245	32	0	0	3	127	0	407	37	2	1	2	6	46	0	94	501	9	492											
	小 計	631	432	2	11	34	587	0	1,697	107	55	7	11	82	265	0	527	2,224	119	2,105											
車 両 単 独	工 作 物 衝 突	13	2	0	1	12	21	0	49	5	4	0	1	29	33	0	72	121	42	79											
	路 外 逸 脱	0	1	0	0	3	2	0	6	0	0	0	0	12	31	0	43	49	15	34											
	そ の 他	1	3	0	0	2	10	0	16	0	0	0	0	4	8	0	12	28	5	22											
小 計	14	6	0	1	17	33	0	71	5	4	0	1	45	72	0	127	198	62	135												
踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
合 計	895	465	2	12	52	697	0	2,123	116	60	7	13	131	358	0	685	2,808	187	2,621												

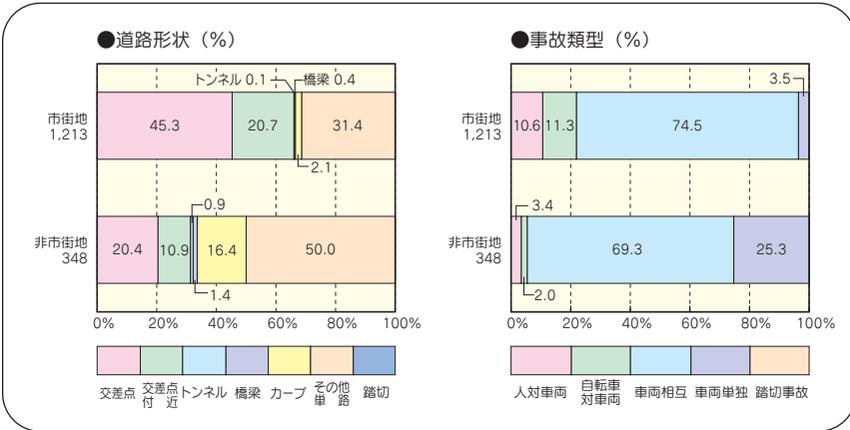
注1) 「夜間」とは、日没から日の出までをいう。 注2) 道路形状、事故類型で不明2件あり。集計には含まず。

道路形状 事故類型	市 街 地														非 市 街 地														合 計	道路線形	
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー プ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ ー プ	直 線													
人 対 車 両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2							
	横 断 歩 道	6	4	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	10	0	10								
	そ の 他	1	1	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	12	0	12									
	小 計	7	6	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	25	0	25									
	自 転 車 対 車 両	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1							
車 両 相 互	正 面 衝 突	0	1	0	0	1	12	0	14	0	0	2	5	15	0	22	36	8	28												
	追 突	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	3	1	2												
	出 合 頭	4	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	2	6	0	6												
	そ の 他	4	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	2	7	0	7												
	小 計	9	1	0	0	2	13	0	25	3	0	0	2	5	17	0	27	52	9	43											
車 両 単 独	工 作 物 衝 突	1	0	0	0	1	1	0	3	2	0	0	0	4	10	0	16	19	6	13											
	路 外 逸 脱	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	7	0	8	10	1	9											
	そ の 他	1	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	0	2	4	1	3											
小 計	2	2	0	0	1	2	0	7	2	0	0	0	6	18	0	26	33	8	25												
踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0									
合 計	19	9	0	0	3	23	0	54	5	0	0	2	11	39	0	57	111	17	94												

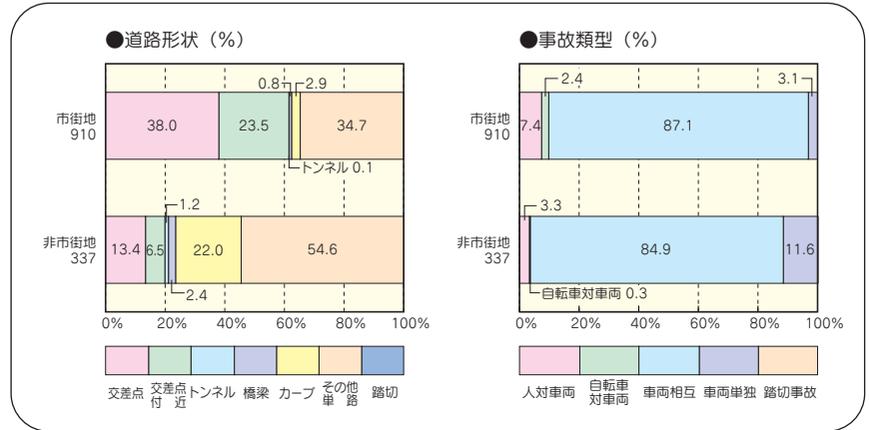
注) 「夜間」とは、日没から日の出までをいう。

夜間は昼間と比べ、非市街地のカーブ・その他単路の発生件数の割合が高い。

■発生件数 夏期■



■発生件数 冬期■



事故類型	道路形状														合 計	道路線形			
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路		踏 切	小 計	カ ー ブ	直 線
人対車両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0	5	5	0	5
	横 断 歩 道	80	8	0	0	1	1	0	90	1	0	0	0	0	0	1	91	1	90
	そ の 他	9	4	0	0	0	18	0	31	0	0	0	0	1	2	0	34	1	33
	小 計	90	15	0	0	1	23	0	129	1	0	0	1	1	9	0	141	2	139
	自転車対車両	103	8	0	0	0	26	0	137	3	1	0	0	0	3	0	144	0	144
車両相互	正 面 衝 突	5	6	0	0	5	20	0	36	0	0	0	15	28	0	43	79	21	58
	追 突	111	198	1	5	8	213	0	536	19	33	2	3	5	69	0	667	13	654
	出 合 頭	79	5	0	0	1	14	0	99	22	0	0	0	1	0	0	23	122	2
	そ の 他	152	15	0	0	1	65	0	233	21	1	1	0	2	19	0	44	277	3
	小 計	347	224	1	5	15	312	0	904	62	34	3	3	23	116	0	241	1,145	39
車両単独	工 作 物 衝 突	9	1	0	0	8	12	0	30	5	3	0	1	19	23	0	51	81	27
	路 外 逸 脱	0	1	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	10	20	0	30	33	11
	そ の 他	0	2	0	0	1	7	0	10	0	0	0	0	4	3	0	7	17	5
	小 計	9	4	0	0	10	20	0	43	5	3	0	1	33	46	0	88	131	43
	踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	549	251	1	5	26	381	0	1,213	71	38	3	5	57	174	0	348	1,561	84	

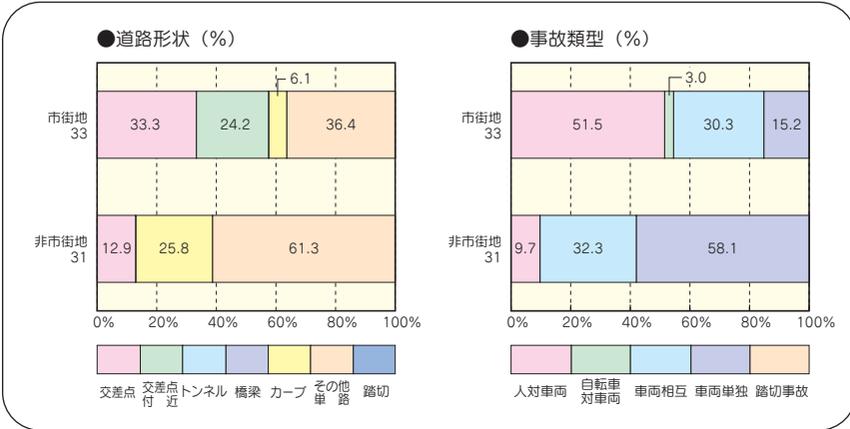
注1) 夏期とは4～10月をいう。 注2) 道路形状、事故類型で不明2件あり。集計には含まず。

事故類型	道路形状														合 計	道路線形			
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路		踏 切	小 計	カ ー ブ	直 線
人対車両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
	横 断 歩 道	35	2	0	0	0	3	0	40	0	0	0	0	0	0	0	40	0	40
	そ の 他	4	1	0	0	0	14	0	19	0	0	0	0	3	0	3	22	0	22
	小 計	41	3	0	0	0	6	0	8	0	0	0	0	3	4	0	7	15	4
	自転車対車両	16	1	0	0	0	23	0	67	0	0	0	0	3	8	0	11	78	4
車両相互	正 面 衝 突	9	6	0	1	13	45	0	74	1	1	2	4	42	55	0	105	179	57
	追 突	92	184	1	5	4	147	0	433	12	19	2	2	13	66	0	114	547	17
	出 合 頭	90	1	0	0	0	21	0	112	16	0	0	0	1	0	0	17	129	0
	そ の 他	93	17	0	0	2	62	0	174	16	1	0	2	4	27	0	50	224	6
	小 計	284	208	1	6	19	275	0	793	45	21	4	8	59	149	0	286	1,079	80
車両単独	工 作 物 衝 突	4	1	0	1	4	9	0	19	0	1	0	0	10	10	0	21	40	15
	路 外 逸 脱	0	0	0	0	2	1	0	3	0	0	0	0	2	11	0	13	16	4
	そ の 他	1	1	0	0	1	3	0	6	0	0	0	0	2	5	0	5	11	0
	小 計	5	2	0	1	7	13	0	28	0	1	0	0	12	26	0	39	67	19
	踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	346	214	1	7	26	316	0	910	45	22	4	8	74	184	0	337	1,247	103	

注) 冬期とは1～3・11、12月をいう。

夜間は昼間と比べ、非市街地の車両単独の発生件数及び死者数割合が高い。

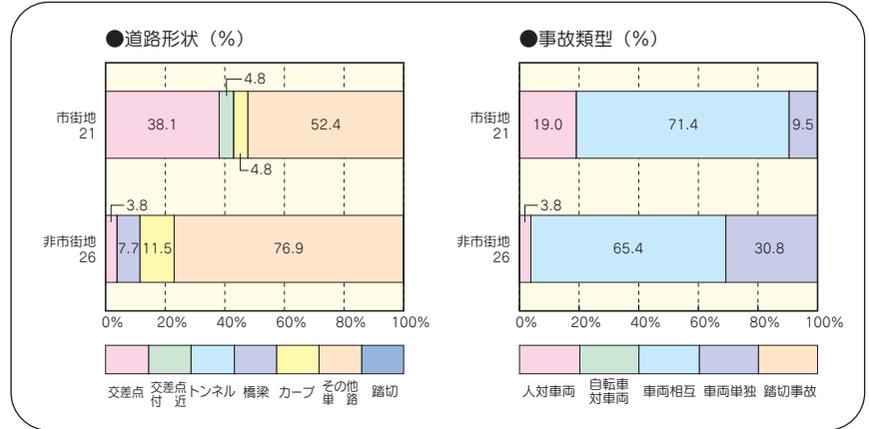
■死者数 夏期■



事故類型	道路形状														合 計	道路線形			
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直		
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直	
人対車両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	2
	横 断 歩 道	5	4	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9
	そ の 他	1	1	0	0	0	5	7	0	0	0	0	0	1	0	1	8	0	8
	そ の 他	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	小 計	6	6	0	0	0	5	17	0	0	0	0	3	0	3	20	0	20	
自転車対車両	対 背 面 通 行	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	正 面 衝 突	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	3	3	0	6	11	5	6	
	追 突	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	
	出 合 頭	2	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	2	4	0	4	
	そ の 他	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	2	2	4	0	4	
小 計	3	0	0	0	1	6	10	2	0	0	3	5	0	10	20	6	14		
車両相互	工 作 物 衝 突	1	0	0	0	1	0	2	2	0	0	3	8	0	13	15	4	11	
	路 外 逸 脱	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	1	3	0	4	6	1	5	
	そ の 他	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	2	1	1	
	小 計	1	2	0	0	1	1	5	2	0	0	5	11	0	18	23	6	17	
	踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	11	8	0	0	2	12	33	4	0	0	8	19	0	31	64	12	52		

注) 夏期とは4～10月をいう。

■死者数 冬期■



事故類型	道路形状														合 計	道路線形			
	市 街 地							非 市 街 地								カ	直		
	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	交 差 点	交 差 点 付 近	ト ン ネル	橋 梁	カ ー ブ	そ の 他 単 路	踏 切	小 計	カ	直	
人対車両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	横 断 歩 道	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	そ の 他	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	1	0	1	4	0	4
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	1	0	0	0	0	3	4	0	0	0	0	1	0	1	5	0	5	
自転車対車両	対 背 面 通 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	正 面 衝 突	0	1	0	0	1	7	9	0	0	0	2	2	12	0	16	25	3	22
	追 突	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2
	出 合 頭	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	4	0	4
	そ の 他	3	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	4	0	4
小 計	6	1	0	0	1	7	15	1	0	0	2	2	12	0	17	32	3	29	
車両相互	工 作 物 衝 突	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	2	0	3	4	2	2	
	路 外 逸 脱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4	4	4	4
	そ の 他	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	0	2
	小 計	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	7	0	8	10	2	8	
	踏 切 事 故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	8	1	0	0	1	11	21	1	0	0	2	3	20	0	26	47	5	42	

注) 冬期とは1～3・11、12月をいう。

事故発生件数、死者数は札幌、室蘭、旭川の順になっている。

●平成12年 地域別月別発生状況（国道）

開発建設部	月	年												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
札幌	発生件数	307	306	274	202	220	279	337	370	319	336	298	263	3,511
	死者数	5	3	6	3	2	3	7	9	2	8	7	5	60
	傷者数	402	402	355	266	308	391	471	507	415	453	386	360	4,716
小樽	発生件数	52	44	57	35	49	46	59	75	35	54	42	42	590
	死者数	1	0	1	1	1	2	2	3	2	2	1	1	17
	傷者数	68	61	89	43	69	72	88	106	49	77	55	59	836
函館	発生件数	58	40	64	45	54	59	55	93	46	73	70	45	702
	死者数	2	2	1	3	2	0	1	4	1	4	2	2	24
	傷者数	99	64	83	58	77	79	73	143	63	96	95	60	990
室蘭	発生件数	73	60	63	53	62	65	83	109	85	86	77	71	887
	死者数	2	2	6	2	5	2	4	7	4	1	2	4	41
	傷者数	109	80	90	86	87	137	115	160	116	133	97	99	1,309
旭川	発生件数	63	34	66	36	57	55	88	75	75	67	64	64	744
	死者数	3	2	4	0	4	3	2	4	5	2	1	2	32
	傷者数	85	49	93	51	69	79	137	115	103	103	108	83	1,075
留萌	発生件数	12	17	14	6	4	11	12	15	6	10	6	15	128
	死者数	0	1	0	0	1	0	2	1	1	0	3	2	11
	傷者数	24	22	24	10	4	17	15	21	8	10	6	27	188
稚内	発生件数	3	6	6	2	3	1	8	5	4	6	5	7	56
	死者数	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	3
	傷者数	4	7	7	2	3	1	14	8	7	8	9	13	83
網走	発生件数	40	25	26	24	27	26	34	48	55	46	52	33	436
	死者数	0	1	0	2	0	3	3	2	1	2	2	3	19
	傷者数	57	35	36	38	39	42	44	64	80	54	89	41	619
帯広	発生件数	35	35	20	30	28	32	34	58	40	35	35	36	418
	死者数	1	0	1	0	0	2	2	4	3	4	2	0	19
	傷者数	42	52	32	42	48	39	41	149	58	51	42	50	646
釧路	発生件数	32	26	24	46	30	27	40	47	40	32	50	43	437
	死者数	0	1	4	1	1	1	2	1	3	2	2	3	21
	傷者数	45	38	29	62	37	38	54	76	56	45	79	59	618
合計	発生件数	675	593	614	479	534	601	750	895	705	745	699	619	7,909
	死者数	14	12	24	12	16	16	27	35	22	25	22	22	247
	傷者数	935	810	838	658	741	895	1,052	1,349	955	1,030	966	851	11,080

注）地域別発生状況に不明1件あり。集計には含まず。

開発建設部	年	年					増減数 (11年→12年)	増減率 (11年→12年)
		8年	9年	10年	11年	12年		
札幌	発生件数	3,044	2,806	3,259	3,276	3,511	235	7.2
	死者数	64	66	55	58	60	2	3.4
	傷者数	3,694	3,833	4,394	4,361	4,716	355	8.1
小樽	発生件数	534	529	511	592	590	-2	-0.3
	死者数	17	18	18	21	17	-4	-19.0
	傷者数	717	800	752	847	836	-11	-1.3
函館	発生件数	784	730	735	746	702	-44	-5.9
	死者数	38	24	32	35	24	-11	-31.4
	傷者数	1,028	1,038	1,082	1,085	990	-95	-8.8
室蘭	発生件数	933	854	893	877	887	10	1.1
	死者数	38	26	37	38	41	3	7.9
	傷者数	1,201	1,323	1,288	1,293	1,309	16	1.2
旭川	発生件数	700	658	755	754	744	-10	-1.3
	死者数	21	27	25	20	32	12	60.0
	傷者数	938	986	1,084	1,140	1,075	-65	-5.7
留萌	発生件数	118	103	125	116	128	12	10.3
	死者数	13	8	6	8	11	3	37.5
	傷者数	174	154	188	188	188	0	0.0
稚内	発生件数	75	53	50	64	56	-8	-12.5
	死者数	8	5	3	3	3	0	0.0
	傷者数	89	68	58	76	83	7	9.2
網走	発生件数	456	454	456	512	436	-76	-14.8
	死者数	20	20	24	27	19	-8	-29.6
	傷者数	629	647	645	731	619	-112	-15.3
帯広	発生件数	417	371	405	430	418	-12	-2.8
	死者数	17	25	30	24	19	-5	-20.8
	傷者数	577	568	569	618	646	28	4.5
釧路	発生件数	426	378	424	443	437	-6	-1.4
	死者数	34	33	30	27	21	-6	-22.2
	傷者数	534	545	612	624	618	-6	-1.0
合計	発生件数	7,487	6,936	7,613	7,810	7,909	99	1.3
	死者数	270	252	260	261	247	-14	-5.4
	傷者数	9,581	9,962	10,672	10,963	11,080	117	1.1

# 19-B 地域別発生状況：事故類型別内訳（国道）

札幌、室蘭の正面衝突による死者数が多い。

開発建設部	事故類型	人対車両				自転車対車両	車両相互					車両単独				踏切事故	合計	
		対背面通行	横断中		その他		正面衝突	追突	出頭	その他	小計	工作物衝突	路外逸脱	その他	小計			
			横断歩道	その他														
札幌	発生件数	4	105	45	25	179	308	216	1,731	319	642	2,908	72	19	25	116	0	3,511
	死者数	0	4	4	1	9	1	27	6	2	6	41	3	4	2	9	0	60
	傷者数	4	102	44	29	179	310	365	2,391	447	878	4,081	94	22	30	146	0	4,716
小樽	発生件数	4	25	18	5	52	21	77	263	35	109	484	21	5	7	33	0	590
	死者数	0	2	3	0	5	0	5	0	0	1	6	4	2	0	6	0	17
	傷者数	4	23	15	5	47	21	131	392	53	157	733	24	4	7	35	0	836
函館	発生件数	0	21	17	7	45	42	67	328	48	127	570	33	8	4	45	0	702
	死者数	0	2	3	0	5	3	9	0	0	1	10	4	2	0	6	0	24
	傷者数	0	20	15	8	43	39	123	476	67	180	846	50	7	5	62	0	990
室蘭	発生件数	3	16	8	3	30	46	95	462	78	122	757	33	15	6	54	0	887
	死者数	1	0	2	0	3	2	19	2	2	0	23	10	2	1	13	0	41
	傷者数	3	18	6	3	30	45	209	681	107	176	1,173	34	20	7	61	0	1,309
旭川	発生件数	2	20	6	6	34	67	83	333	70	119	605	15	14	9	38	0	744
	死者数	0	2	0	3	5	1	13	1	5	0	19	5	1	1	7	0	32
	傷者数	2	18	6	4	30	68	150	501	102	163	916	19	30	12	61	0	1,075
留萌	発生件数	1	4	1	0	6	3	24	49	16	15	104	8	5	2	15	0	128
	死者数	0	1	0	0	1	0	7	0	2	0	9	1	0	0	1	0	11
	傷者数	1	4	1	0	6	3	50	73	19	21	163	7	6	3	16	0	188
稚内	発生件数	0	1	1	1	3	5	8	17	7	9	41	2	5	0	7	0	56
	死者数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	1	0	1	0	3
	傷者数	0	1	1	1	3	5	16	23	15	14	68	2	5	0	7	0	83
網走	発生件数	1	14	7	4	26	29	43	185	52	60	340	17	18	6	41	0	436
	死者数	1	1	0	0	2	0	15	0	1	0	16	1	0	0	1	0	19
	傷者数	0	13	7	5	25	29	74	268	72	86	500	30	23	12	65	0	619
帯広	発生件数	0	7	9	4	20	18	47	186	49	66	348	18	9	5	32	0	418
	死者数	0	1	4	1	6	0	6	0	1	4	11	2	0	0	2	0	19
	傷者数	0	9	5	3	17	19	123	259	91	92	565	27	13	5	45	0	646
釧路	発生件数	0	17	5	4	26	14	54	190	43	68	355	19	16	7	42	0	437
	死者数	0	3	3	1	7	0	7	0	0	0	7	2	4	1	7	0	21
	傷者数	0	16	2	3	21	14	101	278	57	96	532	22	23	6	51	0	618
合計	発生件数	15	230	117	59	421	553	714	3,744	717	1,337	6,512	238	114	71	423	0	7,909
	死者数	2	16	19	6	43	7	110	9	13	12	144	32	16	5	53	0	247
	傷者数	14	224	102	61	401	553	1,342	5,342	1,030	1,863	9,577	309	153	87	549	0	11,080

注) 事故類型に不明1件あり。集計には含まず。

# 19-C 地域別発生状況：道路形状別内訳（国道）

室蘭、函館、旭川、札幌の非市街地のその他単路における死者数が多い。

開発建設部	道路形状	市街地								非市街地								合計
		交差点	交差点付近	トンネル	橋梁	力点	その他単路	踏切	小計	交差点	交差点付近	トンネル	橋梁	力点	その他単路	踏切	小計	
札幌	発生件数	1,226	668	2	10	31	944	0	2,881	126	92	13	22	81	296	0	630	3,511
	死者数	11	3	0	0	3	12	0	29	2	1	2	3	9	14	0	31	60
	傷者数	1,548	896	3	12	50	1,271	0	3,780	197	123	27	31	118	440	0	936	4,716
小樽	発生件数	144	43	7	0	23	140	0	357	26	10	23	0	79	95	0	233	590
	死者数	3	1	0	0	0	5	0	9	0	0	0	0	5	3	0	8	17
	傷者数	188	54	11	0	36	185	0	474	42	14	36	0	121	149	0	362	836
函館	発生件数	155	86	2	5	18	156	0	422	59	25	8	5	31	152	0	280	702
	死者数	5	0	0	0	1	1	0	7	1	0	0	0	1	15	0	17	24
	傷者数	206	118	2	6	25	218	0	575	87	33	17	7	42	229	0	415	990
室蘭	発生件数	190	131	0	2	33	221	1	578	57	38	5	5	63	141	0	309	887
	死者数	3	5	0	0	1	5	0	14	1	0	0	1	7	18	0	27	41
	傷者数	233	194	0	2	43	320	2	794	80	53	7	7	111	257	0	515	1,309
旭川	発生件数	226	104	1	7	10	134	0	482	41	25	4	4	37	151	0	262	744
	死者数	4	2	0	0	1	1	0	8	6	0	0	0	3	15	0	24	32
	傷者数	288	147	2	11	12	170	0	630	60	39	6	7	65	268	0	445	1,075
留萌	発生件数	33	13	0	0	6	21	0	73	9	2	0	1	18	25	0	55	128
	死者数	3	0	0	0	0	3	0	6	0	0	0	0	3	2	0	5	11
	傷者数	39	19	0	0	12	30	0	100	15	3	0	1	35	34	0	88	188
稚内	発生件数	10	3	0	0	0	1	0	14	13	0	0	1	3	25	0	42	56
	死者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	3	3
	傷者数	19	6	0	0	0	2	0	27	14	0	0	1	4	37	0	56	83
網走	発生件数	95	42	0	0	5	89	0	231	48	20	1	1	20	115	0	205	436
	死者数	2	1	0	0	1	0	0	4	0	0	0	1	4	10	0	15	19
	傷者数	117	50	0	0	7	137	0	311	75	29	1	1	35	167	0	308	619
帯広	発生件数	103	42	0	6	5	76	0	232	38	15	1	6	30	96	0	186	418
	死者数	4	0	0	0	1	3	0	8	0	0	0	0	5	6	0	11	19
	傷者数	139	53	0	6	4	96	0	298	97	25	3	7	50	166	0	348	646
釧路	発生件数	130	45	0	3	9	108	0	295	17	7	1	3	34	79	0	141	436
	死者数	2	2	0	0	0	5	0	9	0	0	0	1	4	7	0	12	21
	傷者数	161	57	0	5	19	148	0	390	22	9	1	6	57	129	0	224	614
合計	発生件数	2,312	1,177	12	33	140	1,890	1	5,565	434	234	56	48	396	1,175	0	2,343	7,908
	死者数	37	14	0	0	0	8	35	0	94	11	1	2	6	41	0	153	247
	傷者数	2,938	1,594	18	42	208	2,577	2	7,379	689	328	98	68	638	1,876	0	3,697	11,076

注) 道路形状に不明1件あり。集計には含まず。

# 19-D 地域別発生状況：交通事故多発箇所（国道）

## 札幌開発建設部

路線名	キロ程	市区町村名	事故件数	死者数
1	5号 283~284	札幌市北区	58	0
2	36号 0~1	札幌市中央区	52	0
3	230号 1~2	札幌市中央区	51	0
3	274号 3~4	札幌市東区	44	0
5	231号 0~1	札幌市東区	43	0
5	36号 5~6	札幌市豊平区	43	1
7	5号 282~283	札幌市北区	42	0
8	36号 0~1	札幌市中央区	42	0

## 小樽開発建設部

路線名	キロ程	市区町村名	事故件数	死者数
1	5号 243~244	小樽市	32	0
2	5号 244~245	小樽市	23	0
3	5号 242~243	小樽市	21	1
4	5号 245~246	小樽市	20	0
5	5号 248~249	小樽市	19	1
5	5号 247~248	小樽市	18	0
7	5号 246~247	小樽市	15	0
8	5号 257~258	小樽市	13	0

## 函館開発建設部

路線名	キロ程	市区町村名	事故件数	死者数
1	227号 4~5	大野町	22	0
1	228号 4~5	上磯町	19	0
3	278号 0~1	函館市	17	0
4	227号 1~2	函館市	17	0

## 室蘭開発建設部

路線名	キロ程	市区町村名	事故件数	死者数
1	36号 67~68	苫小牧市	25	0
2	37号 79~80	室蘭市	24	0
3	36号 66~67	苫小牧市	20	0
3	36号 64~65	苫小牧市	19	0

## 旭川開発建設部

路線名	キロ程	市区町村名	事故件数	死者数
1	40号 0~1	旭川市	29	1
2	40号 4~5	旭川市	23	1
2	12号 135~136	旭川市	22	0
4	237号 0~1	旭川市	20	0
4	39号 1~2	旭川市	19	0
6	12号 134~135	旭川市	18	0

注) 路線の起点から1kmずつ区切り、その間で発生した事故件数のワースト。ただし、市区町村をまたがる路線については、事故件数の多い市区町村を明記した。

# 20 路線別交通事故発生状況（国道）

事故発生件数、死者数ともに国道5号が多い。

区分	平成12年				平成11年				
	発生件数	死者数	傷者数	事故率	発生件数	死者数	傷者数	事故率	
国道	5号	1,116	25	1,514	68.51	1,043	31	1,375	64.03
	12号	856	22	1,155	69.02	871	17	1,176	70.23
	36号	966	19	1,298	65.13	973	13	1,330	65.61
	37号	154	7	210	37.19	158	3	211	38.15
	38号	390	21	531	30.54	405	23	572	31.72
	39号	407	13	600	44.66	435	14	626	47.73
	40号	246	12	324	36.21	260	6	394	38.27
	44号	140	7	203	35.51	150	6	188	38.04
	227号	129	0	178	38.21	139	2	202	41.17
	228号	146	5	194	39.76	128	8	200	34.86
	229号	102	5	133	29.29	87	5	129	24.99
	230号	495	8	705	74.19	444	10	604	66.54
	231号	235	8	312	65.52	225	10	310	62.73
	232号	60	7	86	25.80	44	2	97	18.92
	233号	46	1	65	26.91	52	3	77	30.42
	234号	92	5	129	31.01	92	2	129	31.01
	235号	145	9	239	28.34	151	9	224	29.51
	236号	93	3	133	33.16	96	3	138	34.23
	237号	151	5	239	35.97	139	4	205	33.11
	238号	103	9	159	18.40	110	8	164	19.65
	239号	16	0	21	15.55	28	4	55	27.21
	240号	36	2	44	17.08	48	3	70	22.77
	241号	107	1	188	31.05	95	5	143	27.57
	242号	82	1	131	26.53	76	5	117	24.59
	243号	32	0	44	17.26	42	1	62	22.65
	244号	48	1	72	26.34	38	2	48	20.85
	272号	41	2	77	22.10	36	4	61	19.40
	273号	35	7	43	25.67	24	5	31	17.61
	274号	500	15	711	52.39	440	14	628	46.10
	275号	250	4	365	41.35	243	10	370	40.19
	276号	67	5	106	32.46	83	5	124	40.21
	277号				0.00	4	1	5	19.84
	278号	114	3	158	46.18	133	5	191	53.88
	279号	8	0	10	96.92	13	0	16	157.49
	333号	20	2	33	13.69	31	2	47	21.21
	334号	17	1	27	13.24	28	2	43	21.80
	335号	13	0	19	20.27	10	0	19	15.60
	336号	31	1	51	20.33	31	3	40	20.33
	337号	122	2	155	40.06	134	3	168	44.00
	391号	33	2	50	16.70	42	1	61	21.25
	392号	3	0	3	14.71	3	0	3	14.71
	393号	20	0	27	45.85	24	2	36	55.02
	451号	17	1	30	43.08	24	0	35	60.82
	452号	22	1	35	25.00	18	3	24	20.45
	453号	204	5	273	97.50	160	2	215	76.47
	合計	7,910	247	11,080	44.76	7,810	261	10,963	44.20

## II 国道の現況 路線別起終点

1

### ●一般国道（北海道開発局所管）

路線名	起 点	終 点	主 な 経 過 地					
			森 町	長万部町	倶知安町	余 市 町	小樽市	
5号	函館市	札幌市	森 町	長万部町	倶知安町	余 市 町	小樽市	
12号	札幌市	旭川市	岩見沢市	美 幌 市	砂 川 市	滝 川 市	深 川 市	
36号	札幌市	室 蘭 市	千 歳 市	苫小牧市	登 別 市			
37号	長万部町	室 蘭 市	虻 田 町	伊 達 市				
38号	滝 川 市	釧 路 市	芦 別 市	富良野市	清 水 町	帯 広 市	白 糠 町	
39号	旭 川 市	網 走 市	上 川 町	北 見 市	美 幌 町	留 辺 薬 町	端 野 町	
40号	旭 川 市	稚 内 市	士 別 市	名 寄 市	音 威 子 府 町	天 塩 町	美 深 町	
44号	釧 路 市	根 室 市	厚 岸 町	浜 中 町	釧 路 町			
227号	函館市	江 差 町	大 野 町	厚 沢 部 町				
228号	函館市	江 差 町	上 磯 町	木 古 内 町	福 島 町	松 前 町		
229号	小樽市	江 差 町	余 市 町	岩 内 町	瀬 棚 町	乙 部 町	寿 都 町	北 檜 山 町
230号	札幌市	北 檜 山 町	喜 茂 別 町	留 寿 都 村	虻 田 町	今 金 町	長 万 部 町	
231号	札幌市	留 萌 市	石 狩 市	増 毛 町				
232号	稚 内 市	留 萌 市	天 塩 町	遺 別 町	羽 幌 町	苫 前 町		
233号	旭 川 市	留 萌 市	深 川 市	秩 父 別 町	北 竜 町			
234号	岩見沢市	苫小牧市	栗 沢 町	栗 山 町	田 仁 町			
235号	室 蘭 市	浦 河 町	苫小牧市	門 別 町	静 内 町			
236号	帯 広 市	浦 河 町	大 樹 町	広 尾 町	中 札 内 村			
237号	旭 川 市	浦 河 町	美 瑛 町	富 良 野 市	日 高 町	門 別 町		
238号	網 走 市	稚 内 市	常 呂 町	紋 別 市	枝 幸 町	浜 頓 別 町	佐 呂 間 町	
239号	網 走 市	留 萌 市	興 部 町	下 川 町	名 寄 市	士 別 市	苫 前 町	
240号	釧 路 市	網 走 市	阿 寒 町	津 別 町	美 幌 町			
241号	弟子屈町	帯 広 市	阿 寒 町	足 寄 町	土 幌 町	上 土 幌 町		
242号	網 走 市	帯 広 市	遺 別 町	留 辺 薬 町	足 寄 町	帯 別 町	本 別 町	
243号	網 走 市	根 室 市	美 幌 町	弟子屈町	別 海 町			
244号	網 走 市	根 室 市	斜 里 町	標 津 町	別 海 町	小 清 水 町		
272号	釧 路 市	標 津 町	別 海 町	中 標 津 町	釧 路 町			
273号	帯 広 市	紋 別 市	上 土 幌 町	上 川 町	滝 上 町			
274号	札幌市	標 茶 町	北 広 島 市	長 沼 町	夕 張 市	日 高 町	清 水 町	阿 寒 町
275号	札幌市	浜 頓 別 町	江 別 市	浦 白 町	新 十 津 川 町	幌 加 内 町	美 深 町	
276号	江 差 町	苫小牧市	喜 茂 別 町	倶 知 安 町	大 滝 村	千 歳 市		
277号	江 差 町	八 雲 町	熊 石 町	樞 法 華 村	南 茅 部 町	砂 原 町		
278号	函館市	森 町	戸 井 町	樞 法 華 村	南 茅 部 町	砂 原 町		
279号	函館市	函館市						
280号	福 島 町	函館市	木 古 内 町					
333号	旭 川 市	端 野 町	上 川 町	白 滝 村	遺 軽 町	佐 呂 間 町	北 見 市	
334号	羅 臼 町	美 幌 町	網 走 市	女 満 別 町	斜 里 町	小 清 水 町		
335号	羅 臼 町	標 津 町						
336号	浦 河 町	釧 路 市	えりも町	広 尾 町	大 樹 町	豊 頃 町	浦 幌 町	
337号	千 歳 市	小 樽 市	札幌市	江 別 市	当 別 町	石 狩 市	長 沼 町	南 幌 町
338号	函館市	函館市						
391号	釧 路 市	網 走 市	標 茶 町	弟子屈町	小 清 水 町	釧 路 町		
392号	釧 路 市	本 別 町	白 糠 町					
393号	小樽市	倶 知 安 町	赤 井 川 村					
450号	旭 川 市	紋 別 市	未 供 用					
451号	留 萌 市	滝 川 市	当 別 町	浜 益 村	新 十 津 川 町			
452号	夕 張 市	旭 川 市	三 笠 市	芦 別 市	美 瑛 町			
453号	札幌市	伊 達 市	恵 庭 町	千 歳 市	苫小牧市	大 滝 村	壮 瞥 町	

注) 道路現況調査 (H13.4.1現在) による。

## 2 路線別道路現況

2

路線名	実延長 (km)	改良済 (km)	%	歩 道 等 の 設 置 現 況			
				道路延長 (km)	%	のべ延長 (km)	%
5号	282.6	282.6	100.0	176.7	62.5	277.8	98.3
12号	145.1	145.1	100.0	137.9	95.0	241.4	166.4
36号	133.7	133.7	100.0	122.9	91.9	212.9	159.2
37号	80.9	80.9	100.0	42.0	51.9	57.9	71.6
38号	297.8	297.8	100.0	203.8	68.4	298.7	100.3
39号	216.7	216.7	100.0	150.6	69.5	216.9	100.1
40号	249.8	249.8	100.0	149.8	60.0	191.3	76.6
44号	124.1	124.1	100.0	36.2	29.2	57.0	45.9
227号	69.8	69.8	100.0	42.3	60.6	65.6	94.0
228号	151.4	151.4	100.0	108.2	71.5	159.6	105.4
229号	287.3	287.3	100.0	180.2	62.7	233.3	81.2
230号	152.8	152.8	100.0	83.7	54.8	117.8	77.1
231号	129.1	129.1	100.0	78.2	60.6	114.2	88.5
232号	128.8	128.8	100.0	78.3	60.8	96.4	74.8
233号	50.9	50.9	100.0	45.1	88.6	58.1	114.1
234号	69.5	69.5	100.0	55.9	80.4	77.9	112.1
235号	116.1	116.1	100.0	66.3	57.1	97.4	83.9
236号	139.1	139.1	100.0	62.7	45.1	86.0	61.8
237号	160.8	160.8	100.0	82.7	51.4	105.3	65.5
238号	319.7	319.7	100.0	161.8	50.6	204.4	63.9
239号	149.4	149.4	100.0	49.4	33.1	62.8	42.0
240号	117.9	117.9	100.0	38.1	32.3	51.0	43.3
241号	151.2	151.2	100.0	47.3	31.3	63.7	42.1
242号	184.7	184.7	100.0	89.5	48.5	129.4	70.1
243号	140.8	140.8	100.0	40.3	28.6	51.5	36.6
244号	143.5	143.5	100.0	56.5	39.4	80.8	56.3
272号	100.0	100.0	100.0	22.8	22.8	32.5	32.5
273号	168.0	168.0	100.0	60.1	35.8	69.5	41.4
274号	317.6	317.6	100.0	128.3	40.4	177.9	56.0
275号	281.6	281.6	100.0	160.4	57.0	220.8	78.4
276号	110.2	110.2	100.0	72.0	65.3	91.1	82.7
277号	33.1	33.1	100.0	5.2	15.7	6.5	19.6
278号	114.3	114.3	100.0	82.0	71.7	114.4	100.1
279号	1.8	1.8	100.0	1.8	100.0	3.7	205.6
280号	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	-
333号	106.5	106.5	100.0	31.2	29.3	39.4	37.0
334号	121.6	121.6	100.0	59.8	49.2	64.1	52.7
335号	42.4	42.4	100.0	24.4	57.5	35.9	84.7
336号	150.4	150.4	100.0	75.1	49.9	94.2	62.6
337号	77.2	77.2	100.0	62.0	80.3	78.3	101.4
338号	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	-
391号	116.2	116.2	100.0	63.7	54.8	78.1	67.2
392号	35.0	35.0	100.0	8.1	23.1	14.2	40.6
393号	51.4	51.4	100.0	9.4	18.3	11.3	22.0
450号	0.0	0.0	-	0.0	-	0.0	-
451号	54.9	54.9	100.0	17.1	31.1	19.0	34.6
452号	109.6	109.6	100.0	31.4	28.6	40.2	36.7
453号	88.7	88.7	100.0	63.5	71.6	81.7	92.1
合 計	6,274.0	6,274.0	100.0	3,364.7	53.6	4,681.4	74.6

注) 道路現況調査 (H13.4.1現在) による。ただし、ダブルウェイを除いている。

路線名	調査単位 区間数 平成11年度	調査対象 延長 平成11年度	路線平均交通量(12時間)							交通量 伸び率 H11/H9
			昭和60年度	昭和63年度	平成2年度	平成6年度	平成9年度	平成11年度		
5号	44	291.7	8,598	9,119	10,016	10,618	11,614	11,409	0.98	
12号	39	154.2	15,238	16,347	15,886	15,439	16,729	16,653	1.00	
36号	38	133.7	17,859	18,876	20,149	20,781	21,976	22,509	1.02	
37号	15	84.7	7,857	9,060	9,878	10,497	11,275	10,339	0.92	
38号	38	300.3	6,803	7,622	8,097	8,408	8,805	8,910	1.01	
39号	23	216.8	6,369	7,201	7,439	7,781	8,777	8,951	1.02	
40号	27	254.9	4,603	4,623	4,840	5,293	5,989	5,796	0.97	
44号	12	124.1	5,032	5,772	5,736	6,471	6,772	7,000	1.03	
元一級国道計	236	1,560.4	8,374	9,096	9,553	9,954	10,803	10,730	0.99	
227号	8	69.8	6,673	7,754	8,787	10,063	11,224	10,567	0.94	
228号	14	151.5	3,579	4,273	4,033	4,472	4,802	5,343	1.11	
229号	25	287.4	2,008	2,334	2,344	2,685	2,622	2,727	1.04	
230号	22	159.6	5,855	6,562	7,432	7,928	8,319	8,702	1.05	
231号	15	129.5	3,157	3,849	4,469	5,795	6,186	6,055	0.98	
232号	11	128.8	2,488	2,780	3,073	3,464	3,794	3,933	1.04	
233号	9	57.9	4,387	4,554	4,801	5,453	6,345	6,320	1.00	
234号	13	69.5	6,587	7,488	7,858	8,248	9,343	9,097	0.97	
235号	18	132.1	6,564	7,132	7,773	8,148	9,033	8,501	0.94	
236号	13	139.1	3,303	3,838	3,643	3,937	4,628	4,451	0.96	
237号	17	160.8	4,076	4,827	5,082	5,174	5,626	5,816	1.03	
238号	19	320.7	2,835	3,232	3,479	3,716	3,930	3,980	1.01	
239号	10	149.4	1,161	1,349	1,442	1,523	1,623	1,596	0.98	
240号	11	118.0	2,687	2,973	3,239	3,383	3,502	3,889	1.11	
241号	14	160.9	2,958	3,353	3,401	3,937	4,451	4,716	1.06	
242号	15	184.7	2,535	2,786	2,773	3,148	3,486	3,768	1.08	
243号	14	140.8	1,915	2,149	2,530	2,644	2,886	2,989	1.04	
244号	11	143.5	1,865	2,198	2,439	2,570	2,961	2,914	0.98	
272号	7	100.0	2,386	3,032	3,337	3,630	3,899	4,140	1.06	
273号	13	168.0	965	1,166	1,357	1,568	1,890	1,889	1.00	
274号	44	314.1	6,198	7,222	7,981	5,746	6,221	5,973	0.96	
275号	29	281.7	3,628	3,875	3,779	3,948	4,232	4,391	1.04	
276号	13	110.1	1,963	2,376	2,871	3,679	4,095	4,134	1.01	
277号	3	33.1	882	997	1,096	1,024	1,379	1,390	1.01	
278号	14	119.6	3,024	3,768	4,321	4,595	4,569	4,587	1.00	
279号	1	1.8	12,996	12,250	11,818	12,737	8,991	9,171	1.02	
333号	9	106.5	1,657	1,841	2,202	2,939	3,155	3,083	0.98	
334号	13	121.6	1,472	1,581	1,902	2,275	2,333	2,421	1.04	
335号	4	42.4	2,305	2,793	3,278	3,297	3,359	3,574	1.06	
336号	16	156.6	1,628	1,836	2,043	2,233	2,484	2,185	0.88	
337号	20	87.8	3,690	3,981	4,921	5,582	7,071	7,686	1.09	
391号	10	116.2	2,274	2,650	3,028	3,254	3,568	3,692	1.03	
392号	1	35.0	734	918	893	1,212	1,288	1,287	1.05	
393号	6	51.4	684	869	1,216	1,626	1,744	1,777	1.02	
451号	7	54.9	-	-	-	1,405	1,507	1,570	1.04	
452号	12	109.6	-	-	-	1,582	1,711	1,843	1.08	
453号	21	88.8	-	-	-	4,702	4,870	5,050	1.04	
元二級国道計	502	4,803.2	2,986	3,425	3,697	3,941	4,282	4,363	1.02	
一般国道	738	6,363.6	4,398	4,915	5,237	5,417	5,888	5,924	1.01	

注) 道路交通センサス一般交通量調査による。

路線名	観測地点名	平成12年度(平日)				
		年平均日交通量		30番目 交通量 (台/H)	大型車 混入率 (%)	混雑度
		平日	休日			
5号	亀田郡七飯町宇上藤城47	17,874	18,925	1,722	11.0	1.53
5号	亀田郡七飯町宇峠下283	22,551	25,301	2,463	18.1	0.60
5号	山越郡長万部町国縫138	11,473	12,565	1,804	28.7	1.00
5号	虻田郡倶知安町北7条東1丁目	8,295	8,914	1,196	17.2	0.90
5号	小樽市蘭島1丁目27番8号	16,295	18,643	1,733	14.8	1.17
5号	小樽市張笹145	28,344	30,205	2,296	17.6	2.32
12号	札幌市厚別区厚別東4条8丁目	38,117	38,696	3,138	7.7	1.23
12号	岩見沢市上幌町南1条2丁目11	22,859	24,844	2,213	11.5	1.48
12号	美瑛市突已町1192番地	14,550	14,862	1,538	26.0	1.19
12号	旭川市神居町神居古澤	19,600	23,691	2,435	27.0	2.14
36号	北広島市神居	32,010	31,801	2,825	19.9	0.66
36号	千歳市長倉	42,647	40,542	3,495	21.1	1.31
36号	苫小牧市日吉町2丁目1番地5号	33,909	31,001	2,702	13.1	1.13
36号	登別市大和町2丁目34番地1	32,964	28,014	2,815	15.3	1.26
37号	虻田郡虻田町宇入江54-10	14,574	13,598	1,652	15.5	1.17
38号	富良野市字田1区	10,666	10,758	1,460	15.2	0.97
38号	上川郡清水町宇羽帯南2線	9,831	10,316	1,199	23.9	0.87
38号	中川郡帯川町札内	16,607	15,822	1,460	16.5	1.21
38号	釧路市大栄宅	16,614	15,924	1,619	21.4	1.48
39号	上川郡上川町共進	9,578	11,859	1,818	22.1	0.83
39号	北見市三輪町西10号	19,455	16,484	1,721	10.4	0.89
40号	士別市東1条北9丁目	12,368	12,745	1,332	14.7	1.01
40号	中川郡美深町敷島	4,872	5,284	719	20.9	0.69
40号	稚内市ウエナナイ	4,723	3,962	473	25.4	0.25
44号	釧路郡釧路町字別保	14,648	13,949	1,398	15.4	1.56
227号	亀田郡大野町宇ノ渡155	7,257	7,498	888	27.2	0.88
228号	上磯郡木内町太平2	10,007	9,932	1,180	10.7	0.90
229号	岩内郡岩内町敷島内	3,427	4,005	612	26.2	0.48
230号	札幌市南区小金湯	15,381	21,762	2,131	14.9	1.36
230号	虻田郡留寿都村泉川	7,008	9,980	1,345	22.7	0.72
231号	3狩市新沼南2丁目北8線	20,014	18,344	2,431	14.6	0.74
232号	留萌郡小平町宇日谷272	7,498	7,693	1,070	17.0	0.90
233号	留萌市瑞静町4丁目	7,793	8,410	1,221	33.8	0.93
234号	空知郡栗沢町最上448番地	11,143	10,391	1,126	23.0	1.00
234号	勇払郡早来町宇安平	8,688	7,747	943	38.1	0.73
235号	浦河郡浦河町宇絵苗	8,105	7,762	895	14.6	0.59
237号	旭川市神楽町宇神楽	9,762	9,783	1,107	12.5	0.89
238号	紋別市小向	5,744	6,172	847	20.1	0.43
240号	阿寒郡阿寒町旭町	6,913	6,905	761	22.1	0.72
241号	河東郡士幌町宇士幌	6,973	7,415	998	25.5	0.64
243号	川上郡弟子屈町ボント	2,284	3,063	626	19.8	0.28
274号	札幌市厚別区厚別南7丁目25番地	36,344	33,959	3,305	16.4	1.66
274号	勇払郡穂別町宇福里589	5,884	8,363	1,361	26.4	0.77
274号	上川郡清水町石山	6,848	7,790	1,244	37.9	1.24
275号	江別市角山	20,991	18,909	1,744	25.2	0.86
275号	樺戸郡浦臼町宇浦臼内172番地	10,837	12,844	1,576	33.4	1.02
336号	広尾郡広尾町並木通東2丁目	5,585	4,920	657	10.9	0.46
453号	札幌市南区常盤4条1丁目2	8,679	10,071	1,190	14.0	0.87

注) 平成12年度版交通量常時観測調査による。(48地点)

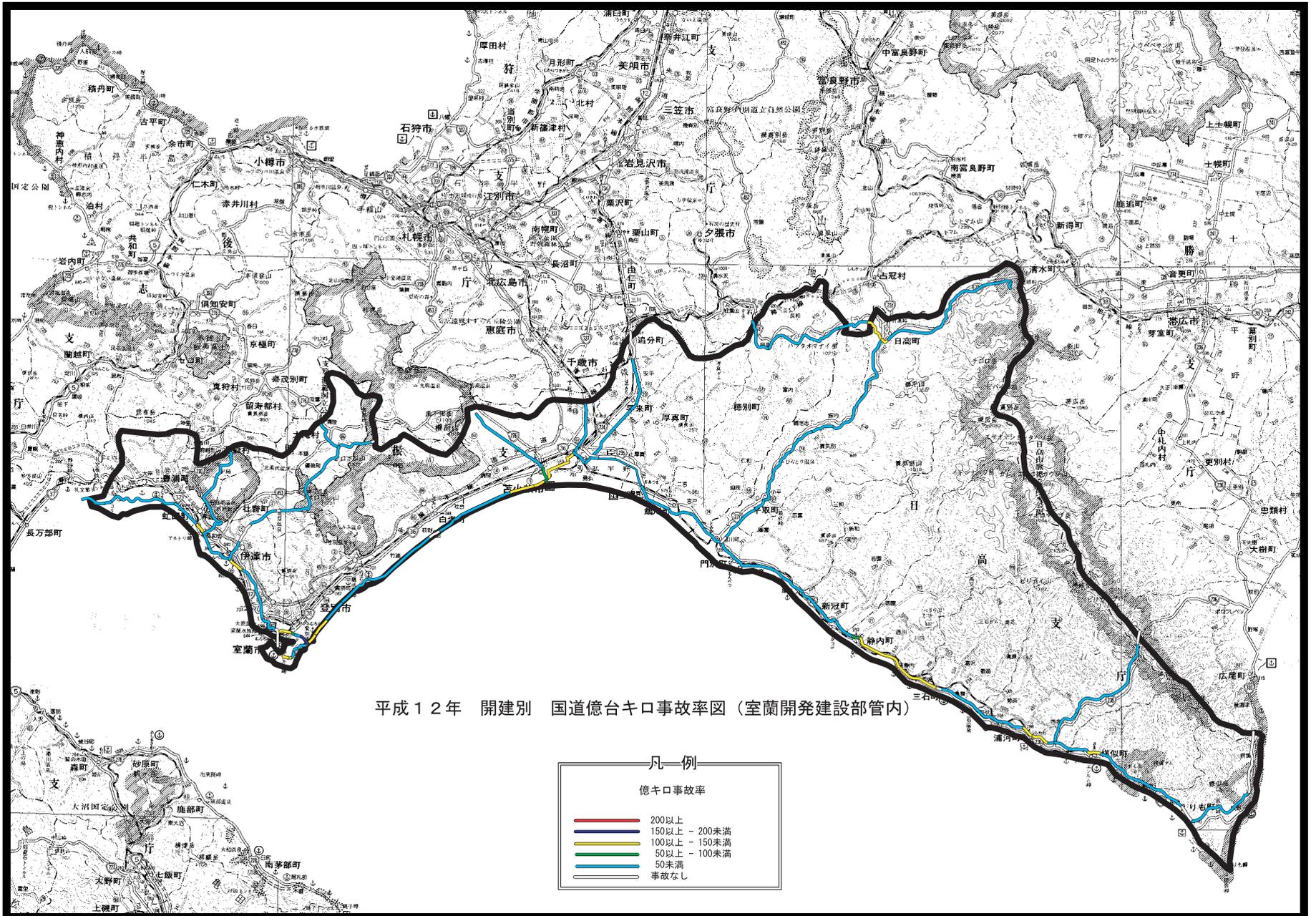
平成12年 開建別 国道億台キロ事故率図（全道）





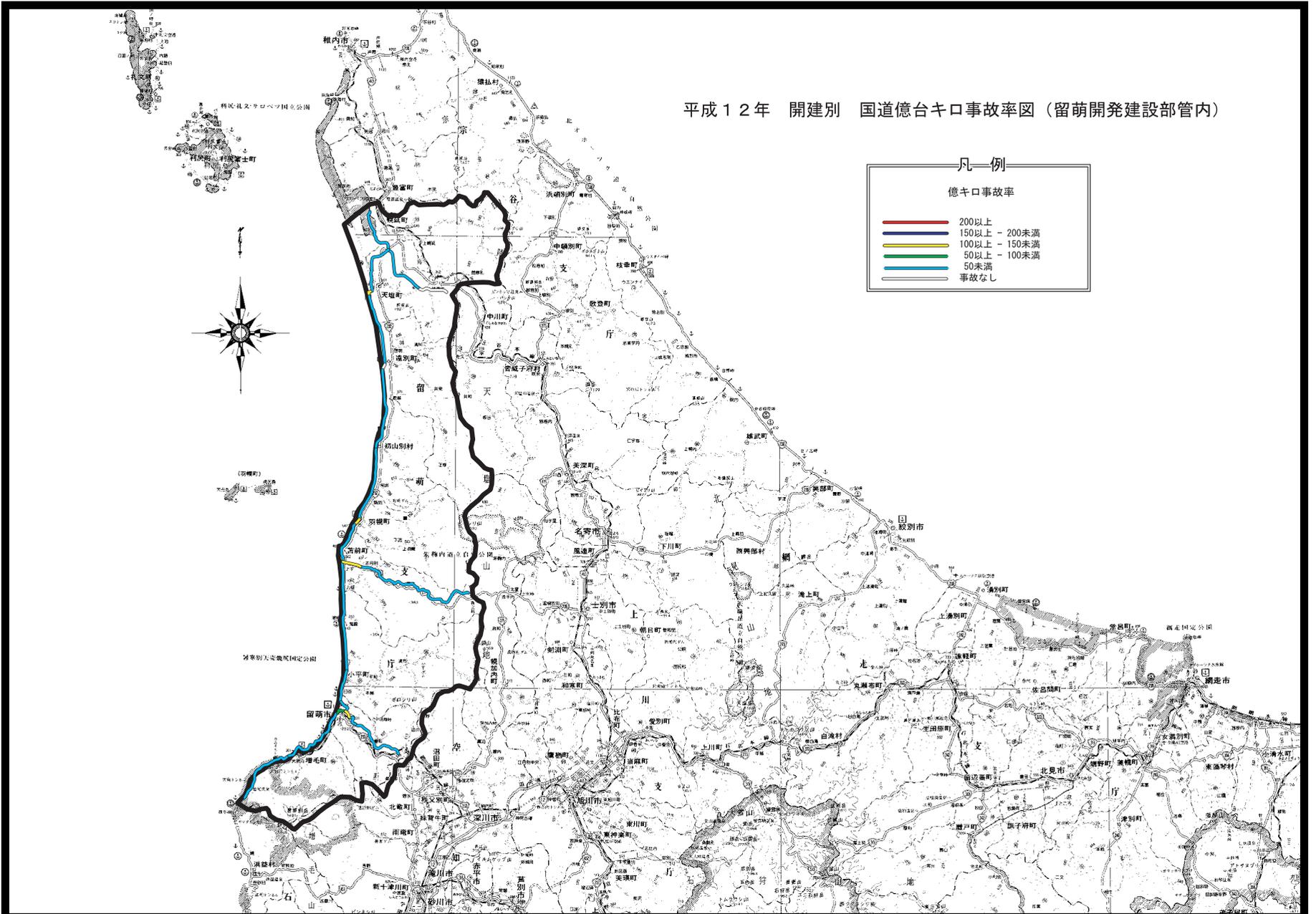
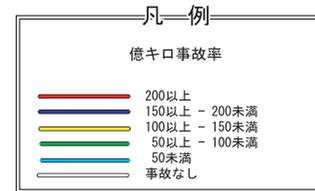




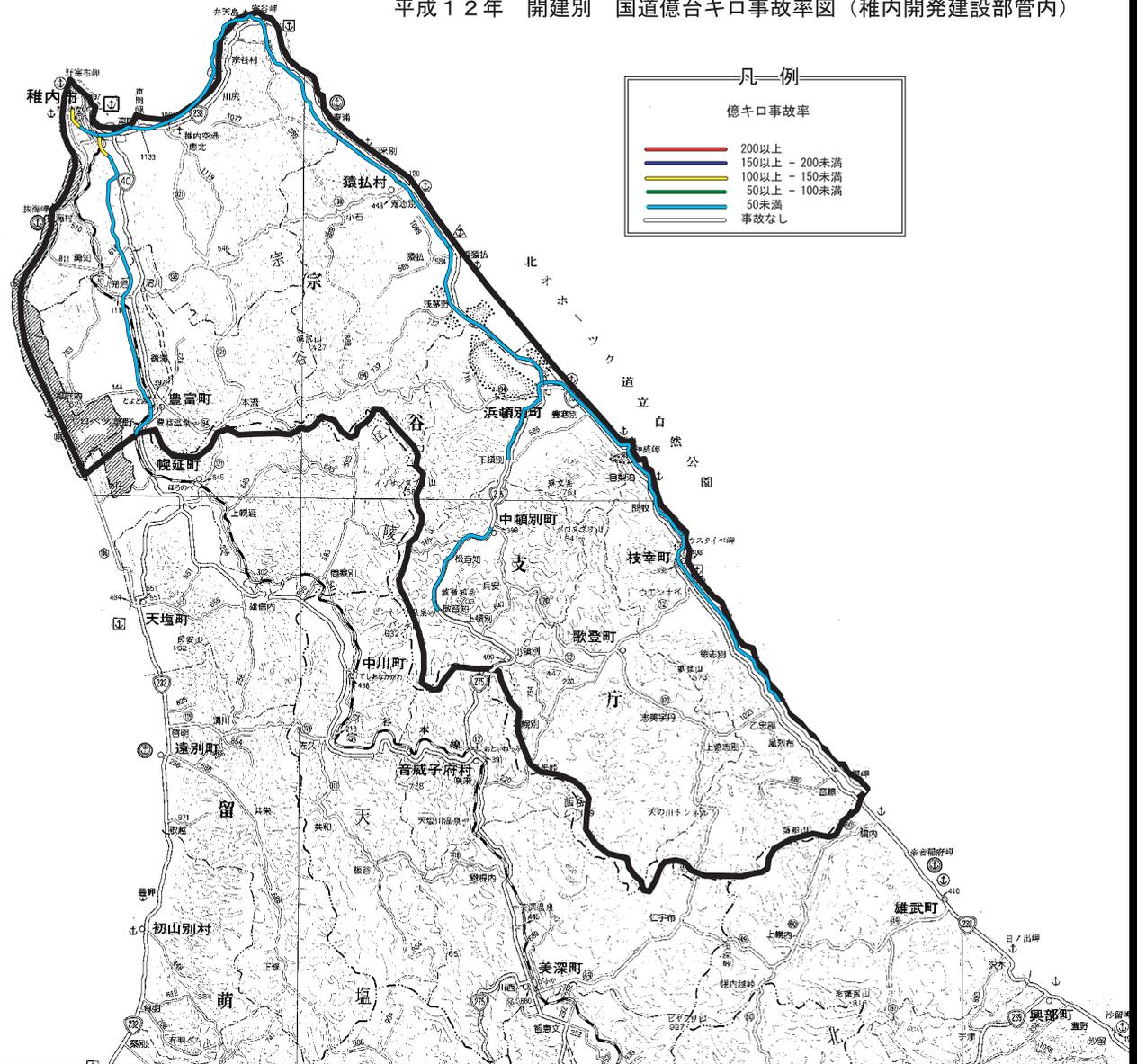
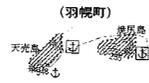
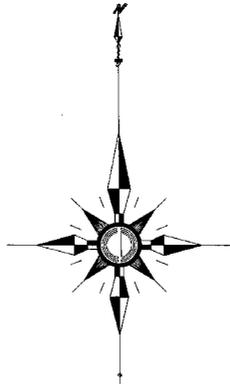
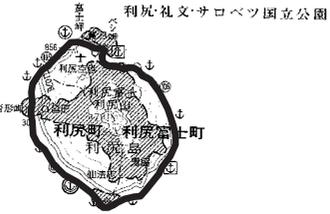
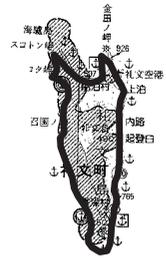




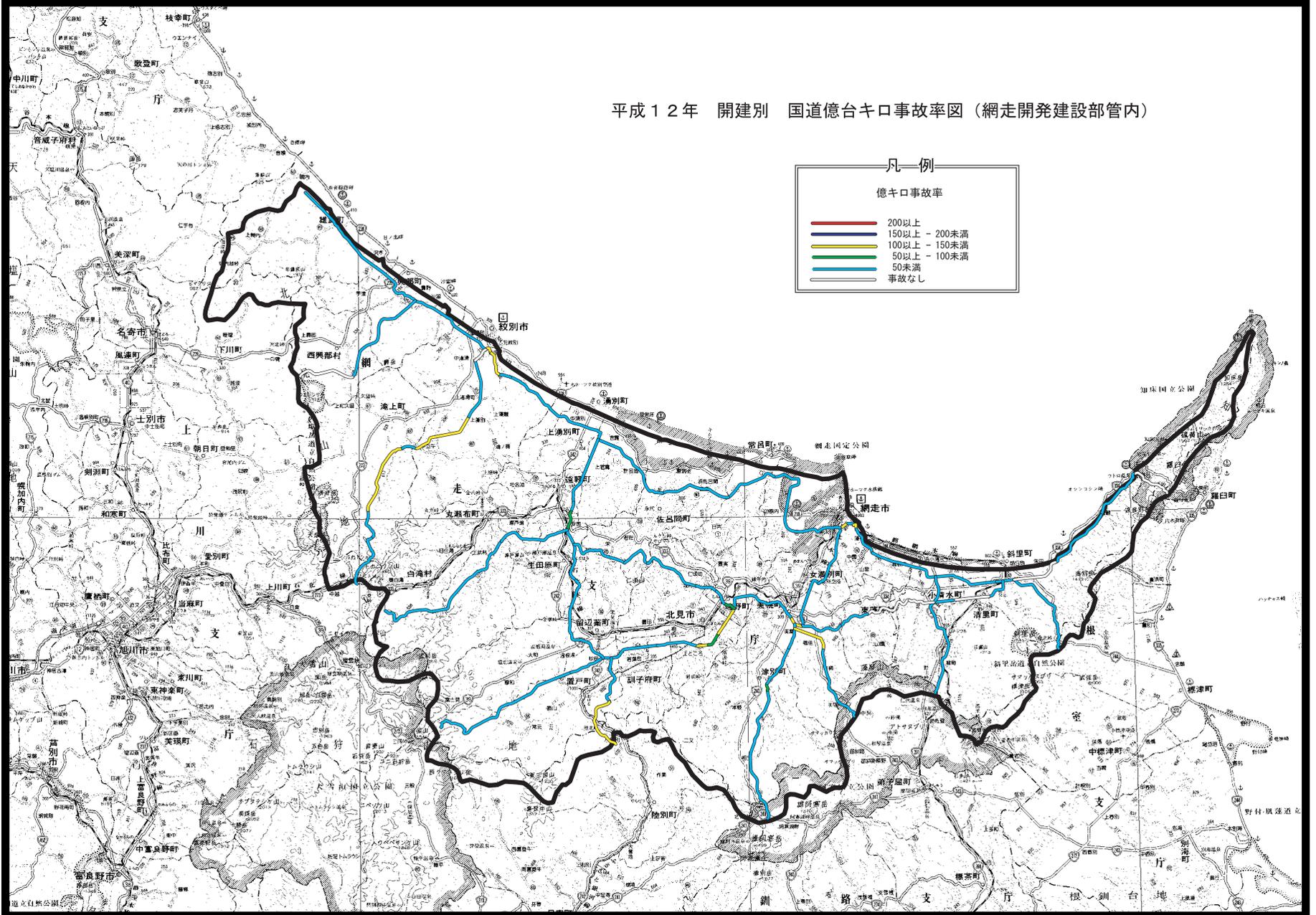
平成12年 開建別 国道億台キロ事故率図（留萌開発建設部管内）



平成12年 開建別 国道億キ口事故率図 (稚内開発建設部管内)



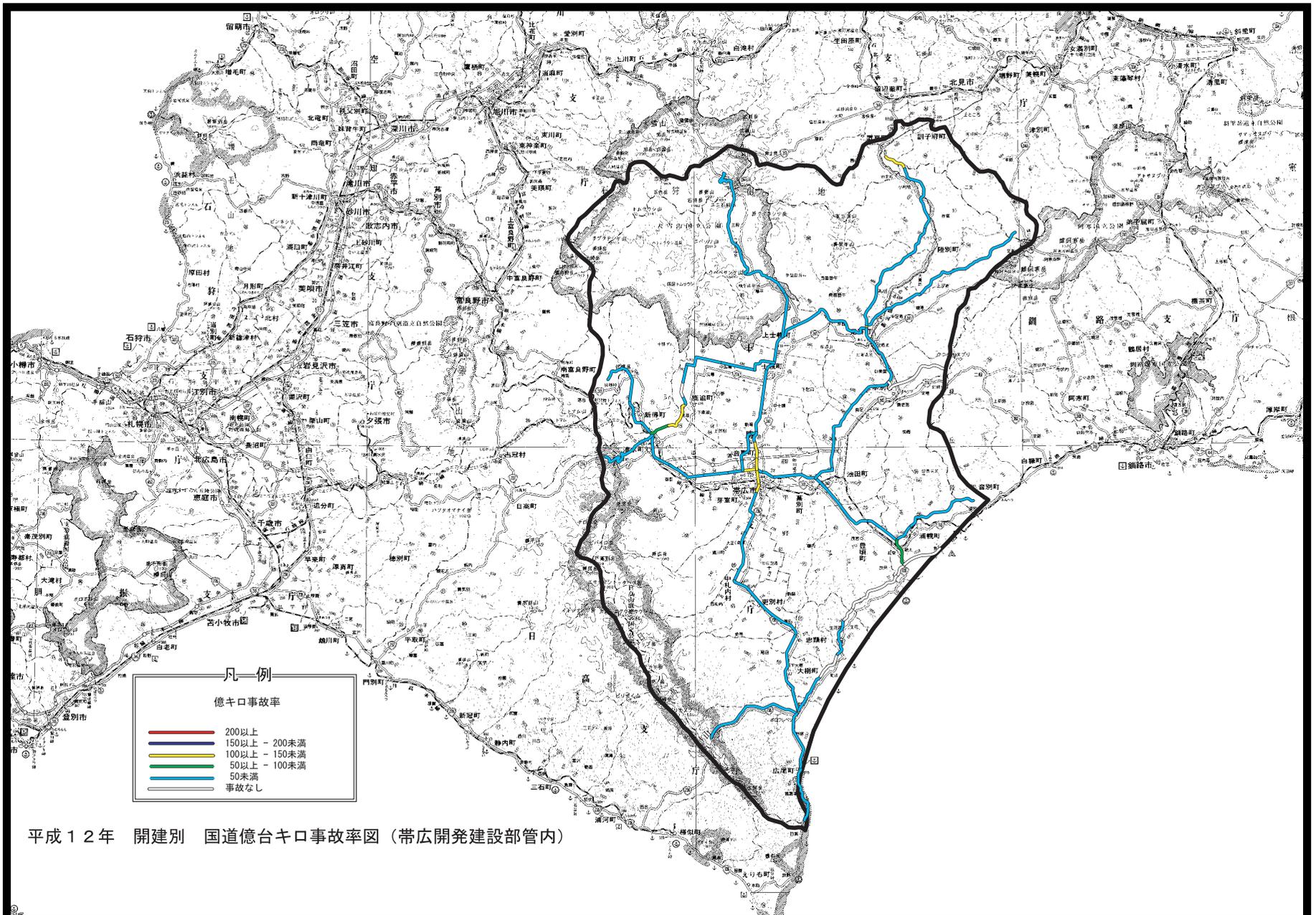
平成12年 開建別 国道億台キ口事故率図（網走開発建設部管内）



凡一例

億キロ事故率

Red line	200以上
Blue line	150以上 - 200未満
Yellow line	100以上 - 150未満
Green line	50以上 - 100未満
Light blue line	50未満
Black line	事故なし



平成12年 開建別 国道徳台キ口事故率図 (帯広開発建設部管内)

平成12年 開建別 国道億台キ口事故率図（釧路開発建設部管内）

